

授業科目名	キャリア教育		
担当者名	橋元 隆、高橋 精一郎、石橋 敏郎、 佐野 幹剛	実務家教員	
授業コード	1200005001	授業形態	講義
学年	2年	開講期	前期
単位数	2単位	履修	卒業・理学療法士、作業療法士 必修
ナンバリング	DP1-2-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	仕事において専門知識・技術を持つことは当然のことながら、その一人ひとりの人格が最も大切な仕事上のベースとなる。個人の人格を主体とし、社会人としての明確な天職の自覚意識形成を不可欠である。専門的な知識・技術及び国家資格の取得と共に、明確な仕事に対する天職としての「務め意識」への信念と使命感について講義形式で教授する。建学の精神に基づく人格教育の部分と、社会人・医療人として働くことの意義・価値を認識する講義内容とする。授業形態は講義である。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	建学の教育理念に基づく行事教育や人格教育、生活指導教育と本学の専門的教科教育・就職支援の取り組みについて理解できる。自らが目指す理学療法士・作業療法士像を探求し、それにむかっの短・中期プランを構築し、キャリアアップを図る。		
授業計画		準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間	
1	キャリアとは何か(橋元)	事前:キャリアとは何か考える (90分) 事後:自らのキャリアを整理する、ノートを作成 (90分)	
2	組織と人間関係について (橋元)	事前:自分が所属する集団・組織について調べる (90分) 事後:教科ノートの作成・整理 (90分)	
3	リハビリテーション学部が目指すキャリア(石橋学部長)	事前:リハ学部のポリシーを確認する(90分) 事後:レポート作成(90分)	
4	理学療法士・作業療法士の現況と就労状況(橋元)	事前:PT・OTの職域について調べる (90分) 事後:教科ノートの整理 (90分)	
5	理学療法士・作業療法士の卒前・卒後教育(橋元)	事前:2020年度に何故、養成施設指定規則が改正されたかについて調べる (90分) 事後:ノートの作成・整理 (90分)	
6	作業療法分野におけるキャリア教育(佐野教務部長)	事前:OT分野の卒後教育について調べる(90分) 事後:レポート作成(90分)	
7	発達分野におけるキャリア教育(佐野教務部長)	事前:発達分野における役割を考える(90分) 事後:レポート作成(90分)	
8	医療職の使命について(橋元)	事前:チーム医療について調べる (90分) 事後:教科ノートの授業内容の整理 (90分)	
9	理学療法士・作業療法士の社会的責務と展望(橋元)	事前:PT・OTの果たすべき本質とは何かを考える(90分) 事後:教科ノートへ授業内容の整理 (90分)	
10	本学における建学の精神(高橋学長補佐) 理学療法士・作業療法士の使命とは	事前:建学の精神を確認する(90分) 事後:レポート作成(90分)	
11	理学療法士・作業療法士に望まれる資質(橋元)	事前:PT・OTとしてのキャリア・アップについて考える (90分) 事後:教科ノートへ授業内容の整理 (90分)	

12	就職活動にあたって(橋元)	事前:就職面接におけるマナーについて調べる(90分) 事後:教科ノートへ授業内容を整理(90分)
13	社会人としてのマナー:書類(手紙を含む)作成(橋元)	事前:ほう・れん・そう、について調べる(90分) 事後:教科ノートへ授業内容の整理(90分)
14	社会人としてのマナー:飲酒・喫煙について(橋元)	事前:飲酒・喫煙の功罪について調べる(90分) 事後:ノートへの作成・整理(90分)
15	「健康生活の番人」とは(橋元)	事前:3Pを確認する(90分) 事後:キャリアプランのレポート作成(90分)

準備学習・事後学習等についての補足説明

教室だけのものだけでなく専門職を目指す自らの将来について夢を描き、それを実現するために日常から友人・教職員と語り合うことが重要です。現在、リハ学部で役職の立場にある教員に自らのキャリアを通して講義していただく。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)

レポート課題	受講姿勢・行事への参加度		
70%	30%		

使用テキスト

書籍名	著者	出版社

参考書又は参考資料等

適時資料を配布する。

その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕

まずは、何故理学療法士・作業療法士になる道を選択したのか考えてみよう。そして、自ら目指すリハビリテーションの専門職として、夢を言葉として表現することから始めよう。

担当教員の連絡先等

教員 E-mail	その他

授業科目名	スタートアップ教育 I		
担当者名	村田 奈保子、四元 孝道、佐野 幹剛、 青山 克実、深町 晃次、吉岡 奈々、 平澤 勉、久保 拓哉	実務家教員	○
授業コード	1200099002	授業形態	演習
学年	1年	開講期	前期
単位数	1単位	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP1-1-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	大学の教育理念および建学の精神、リハ学部の教育目標を実践する場として本科目を位置づける。前期に種蒔祭等など1年次行事の企画や実施への参画、大学生活を円滑に送るために必要な図書館の利用方法や情報リテラシーなど情報処理能力について、演習形式にて修得を目指す。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	1.大学の教育理念および見学の精神について理解できる 2.大学生活の開始に必要な基本的な知識を身に付ける 3.行事やボランティア活動の意義について理解し、参加することができる 4.建学の精神とお掃除について考え実践することができる		
授業計画	準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間		
1	オリエンテーション 建学の精神(村田)	事前:スタートアップ教育 I の内容を確認し、本学の行事の意義を確認する(20分) 事後:学長講話から学んだことについてレポート作成する(25分)	
2	防犯講習・防災講習 (村田・学生部)	事前:警察ウェブサイト等で防犯について予習する(20分) 事後:学んだことを自らの生活に照らし合わせる(25分)	
3	単位履修説明と相談(村田)	事前:学生便覧の該当箇所を通読し確認する(20分) 事後:単位履修計画を作成し、履修登録する(25分)	
4	大学の設備・備品の取り扱い説明(深町)	事前:学生便覧および配布資料の該当箇所を確認する(20分) 事後:大学の設備・備品を実際に確認する(25分)	
5	学習支援のツールとその活用 (青山)	事後:授業を受けて学んだこと (UNIPA、Teams、宅ドリルなど)を活用する(45分)	
6	在校生との親睦(久保・青山)	事前:本学の行事の意義を確認する(20分) 事後:行事を通じて学んだことをレポートにする(25分)	
7	基礎科目の学修方法① (佐野、四元、村田、深町、吉岡、青山、平澤、久保)	事前:事前に配布された課題を行う(20分) 事後:授業を受けて学んだことを実践する(25分)	
8	学生生活の心得・図書館利用説明(四元)	事前:学生便覧の該当箇所を確認する(20分) 事後:授業を受けて学んだことを実践する(25分)	
9	種蒔祭の理解(佐野)	事前:種蒔祭の意義や目的について調べる(20分) 事後:説明から学んだことを書き出しレポート作成(25分)	
10	レポート作成方法(村田)	事前:事前配布資料を通読する(20分) 事後:レポートのサンプルを作成し確認する(25分)	

11	情報処理室の活用と情報リテラシー(平澤)	事前:情報リテラシーについて調べる(20分) 事後:情報処理室のPCを実際に使用してレポート課題を作成する(25分)
12	学生相談の目的と利用方法(吉岡・学生部)	事前:学生生活の不安や困りごとについて整理する(20分) 事後:学習の進捗や学生生活を振り返り、適宜活用する(25分)
13	衛生管理・スタンダードプリコーション(平澤)	事前:衛生管理・標準予防策, 予防接種について調べる(20分) 事後:予防接種ファイルを作成し感染対策を実践する(25分)
14	ボランティアの意義(深町)	事前:ボランティア活動について調べる(20分) 事後:ボランティア活動の活動計画(レポート)を作成する(25分)
15	基礎科目の学修方法② (佐野、四元、村田、深町、吉岡、青山、平澤、久保)	事前:事前に配布された課題を行う(20分) 事後:授業を受けて学んだことを実践する(25分)

準備学習・事後学習等についての補足説明

学生便覧その他の配布資料を事前に確認すること。特に第1回～第4回、8回は、学生便覧の持参は必須である。学生ポータルサイト UNIPA を頻回に確認し、予定変更に対応できるよう備えること。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)

授業への取り組み	レポート		
50%	50%		

使用テキスト

書籍名	著者	出版社

参考書又は参考資料等

適宜資料を配布する

その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕

担当教員の連絡先等

教員 E-mail	その他

授業科目名	スタートアップ教育Ⅱ		
担当者名	村田 奈保子、四元 孝道、佐野 幹剛、 深町 晃次、青山 克実、吉岡 奈々、 平澤 勉、久保 拓哉	実務家教員	○
授業コード	1200100003	授業形態	演習
学年	1年	開講期	後期
単位数	1単位	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP1-1-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	大学の教育理念および建学の精神、リハ学部の教育目標を実践する場として本科目を位置づける。収穫感謝祭などの行事の企画や運営への参画、卒業した高校への近況プレゼンテーション、臨床実習や医療人として身につけておくべきコミュニケーション力などをアクティブラーニングや施設見学を通して演習形式にて学修する。授業形態は演習である。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学の教育理念および建学の精神について理解し行動できる 2. 医療人に必要な基本的な知識を身に付ける 3. 行事の意義について理解し、参加することができる 4. 建学の精神とお掃除について考え実践することができる 		
授業計画	準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間		
1	オリエンテーション、ボランティア体験報告会準備 (深町)	事前:参加したボランティア活動についてまとめる(20分) 事後:参加したボランティア活動の報告レポートを作成する(25分)	
2	ボランティア体験の報告会(深町)	事前:ボランティア活動の報告準備をする(20分) 事後:報告会を通して学んだことを振り返る(25分)	
3	デートDV 予防教室(久保)	事前:デートDVについて調べ学習を行う(20分) 事後:学んだことを振り返る(25分)	
4	収穫感謝祭の理解(佐野)	事前:本学の行事の意義を確認する(20分) 事後:行事を通して学んだことを振り返りレポート作成(25分)	
5	基礎科目の学修方法① (佐野、四元、村田、深町、吉岡、青山、平澤、久保)	事前:事前に配布された課題を行う(20分) 事後:授業を受けて学んだことを実践する(25分)	
6	プロジェクト演習(準備)(村田)	事前:本学の行事の意義を確認する(20分) 事後:演習を通して学んだことを振り返る(25分)	
7	プロジェクト演習(企画の実施)(村田)	事前:本学の行事の意義を確認する(20分) 事後:演習を通して学んだことを振り返る(25分)	
8	プロジェクト演習(企画の実施)(村田)	事前:本学の行事の意義を確認する(20分) 事後:演習を通して学んだことを振り返る(25分)	
9	プロジェクト演習(片付け、振り返り)(青山)	事前:本学の行事の意義を確認する(20分) 事後:行事を通して学んだことについてレポート作成(25分)	
10	4年生から学ぶ今必要な勉強(吉岡)	事前:作業療法士国家試験の概要について調べる(20分) 事後:授業から学んだことを、自己の学習に意味づける(25分)	

11	作業療法の対象と働く場を調べる(身障・その他) (四元)	事前:作業療法士の職域について調べる(20分) 事後:作業療法士の仕事について整理する(25分)
12	作業療法の対象と働く場を調べる(精神・発達) (佐野・青山)	事前:作業療法士の職域について調べる(20分) 事後:作業療法士の仕事について整理する(25分)
13	自身の目標とする作業療法士像を語ろう(平澤)	事前:目標とする作業療法士についてイメージしておく (20分) 事後:自身の目標とする将来像についてレポート作成(25分)
14	建学の精神の理解(針供養)(村田)	事前:本学の行事の意義を確認する(20分) 事後:行事を通して学んだことを振り返りレポート作成 (25分)
15	基礎科目の学修方法② (佐野、四元、村田、深町、吉岡、青山、平澤、久保)	事前:指定した基礎科目の学修方法をまとめる(20分) 事後:授業内容をまとめる(25分)
準備学習・事後学習等についての補足説明		
学生便覧その他の配布資料を事前に確認すること。学生ポータルサイト UNIPA を頻回に確認し、予定変更に対応できるよう備えること。		
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)		
授業への参加度	レポート	
50%	50%	
使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
参考書又は参考資料等		
適宜資料を配布する		
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕		
担当教員の連絡先等		
教員 E-mail	その他	

授業科目名	健康と栄養		
担当者名	渡辺 響子	実務家教員	○
授業コード	1200101001	授業形態	講義
学年	1年	開講期	前期
単位数	2単位	履修	卒業・理学療法士・作業療法士 選択必修
ナンバリング	DP1-1-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	リハビリの効果に影響を与えるものの一つに、対象者の栄養状態の良否がある。そこで、食品や栄養・食生活についての基礎知識を学ぶ。この講義では、行政や病院の管理栄養士としての職務経験を有する教員が、経験談を含めて、栄養・食生活についての基本的な講義を行う。視覚的に分かりやすいスライドや資料を準備し、学生による演習なども行いながら、講義を進めていく。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ul style="list-style-type: none"> ・国民の健康・栄養の現状について理解できる。 ・各栄養素の基本的な役割について理解できる。 ・ライフステージ別の栄養管理の特徴について理解できる。 ・主な生活習慣病の栄養管理について、基本的な内容が理解できる。 		
授業計画	準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間		
1	教科の概要、国民健康・栄養の現状	事前:現代の日本人の食生活の現状について調べておく。(90分) 事後:指定した項目について、ノートにまとめる。(90分)	
2	栄養素の役割1 たんぱく質、脂質、炭水化物	事前:3大栄養素(たんぱく質、脂質、炭水化物)について調べておく。(90分) 事後:指定した項目について、ノートにまとめる。(90分)	
3	栄養素の役割2 ビタミン、ミネラル	事前:ビタミン、ミネラルについて調べておく。(90分) 事後:指定した項目について、ノートにまとめる。(90分)	
4	食品と栄養1 食品の分類と特徴	事前:食品の分類(日本食品成分表による)について調べておく。(90分) 事後:指定した項目について、ノートにまとめる。(90分)	
5	食品と栄養2 栄養成分表示、健康食品 食品衛生	事前:栄養成分表示、健康食品について調べておく。(90分) 事後:指定した項目について、ノートにまとめる。(90分)	
6	健康増進法、健康日本21、食育基本法	事前:健康増進法、健康日本21について調べておく。(90分) 事後:指定した項目について、ノートにまとめる。(90分)	
7	食事計画、食事バランスガイド	事前:食事バランスガイドについて調べておく。(90分) 事後:指定した項目について、ノートにまとめる。(90分)	
8	食生活指針	事前:食生活指針について調べておく。(90分) 事後:指定した項目について、ノートにまとめる。(90分)	
9	ライフステージ別栄養管理1 妊娠期、授乳期	事前:妊娠期、授乳期の栄養について調べておく。(90分) 事後:指定した項目について、ノートにまとめる。(90分)	
10	ライフステージ別栄養管理2 乳幼児期	事前:乳幼児期の栄養について調べておく。(90分) 事後:指定した項目について、ノートにまとめる。(90分)	
11	ライフステージ別栄養管理3 学童期、思春期	事前:学童期・思春期の栄養について調べておく。(90分) 事後:指定した項目について、ノートにまとめる。(90分)	

12	ライフステージ別栄養管理4 成人期、 (メタボリックシンドローム)	事前:成人期の栄養について調べておく。(90分) 事後:指定した項目について、ノートにまとめる。(90分)
13	ライフステージ別栄養管理5 生活習慣病と栄養ケア	事前:生活習慣病と栄養について調べておく。(90分) 事後:指定した項目について、ノートにまとめる。(90分)
14	ライフステージ別栄養管理6 高齢期、 (フレイル、サルコペニア)	事前:高齢期の栄養について調べておく。(90分) 事後:指定した項目について、ノートにまとめる。(90分)
15	医療と栄養、福祉と栄養	事前:医療現場での管理栄養士の業務について調べておく。 (90分) 事後:指定した項目について、ノートにまとめる。(90分)
準備学習・事後学習等についての補足説明		
<ul style="list-style-type: none"> ・事前学習:食事や栄養に関することについて、情報収集を心がける。 ・事後学習:学習内容を整理して記載し、予習、復習を常に行ない、次週の授業に備える。 		
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)		
定期試験	小テスト	授業への積極的取り組み
80%	10%	10%
使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
参考書又は参考資料等		
<ul style="list-style-type: none"> ・講義時に、プリントを配布、参考文献は適宜提示する。 		
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕		
<p>※成績評価について、</p> <p>①講義終了時に、小テストを実施することがある。</p> <p>②学期末に15回の講義日以外の日程で試験を実施する。</p> <p>①②を総合して習熟度を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて教材・資料として、プリントなどを配付するので、各自ファイリングして活用すること。 ・講義中の私語や、居眠り等、不真面目な態度は減点の対象とする。 		
担当教員の連絡先等		
教員 E-mail	その他	

授業科目名	北九州市のノーマライゼーション		
担当者名	宮永 敬市	実務家教員	○
授業コード	1200102001	授業形態	講義
学年	1年	開講期	前期
単位数	2単位	履修	卒業・理学療法士・作業療法士 選択必修
ナンバリング	DP1-1-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	リハビリテーション学部の教育目標として、年齢や障害の有無にかかわらず、住み慣れたところで、心豊かに、安心して暮らせる地域づくりに寄与することが掲げられている。そのため、ノーマライゼーションの実現に向けた北九州市の保健・福祉の取り組みを幅広く学習する。また、健康と福祉の促進について、北九州市の取り組みを現地で学ぶ。授業形態は講義である。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域をとりまく現状から地域共生社会や地域包括ケアに至る経緯や役割を理解する 2. 少子高齢社会の状況及び将来予測を学習し、課題や対応策を考察する 3. 地域活動の事例を通じて、地域において自分らしく暮らし続けるために必要な行動や課題を把握するとともに、地域リハビリテーションにおける役割を理解する 		
授業計画		準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間	
1	人口動態、少子高齢社会の状況やリハビリテーションの動きを理解する	事前:人口動態(全国、県など)、少子高齢社会の状況やその課題、リハビリテーションの動きについて調べ、予備知識を得ておくこと(90分) 事後:配布資料を読み、要点を取りまとめポートフォリオに整理すること(90分)	
2	ノーマライゼーションの基本を理解する ※一部、グループワーク(人の捉え方)	事前:ノーマライゼーションの概念について調べておくこと(90分) 事後:講義を踏まえノーマライゼーションについてレポートを作成すること(90分)	
3	地域共生社会・地域福祉の基本を理解する(1)	事前:地域共生社会・地域福祉の概念について調べておくこと(90分) 事後:講義を踏まえ地域共生社会・地域福祉についてレポートを作成すること(90分)	
4	地域共生社会・地域福祉の基本を理解する(2) ※一部、グループワーク(地域生活マップの作成)	事前:地域生活マップ作成に向けて、地域の社会資源を調べておくこと(90分) 事後:講義を踏まえ、地域生活マップについてレポートを作成すること(90分)	
5	地域包括ケアの基本を理解する(1) ※一部、グループワーク(事例検討)	事前:地域包括ケアの概念について調べておくこと(90分) 事後:講義を踏まえ地域包括ケア及び事例についてレポートを作成すること(90分)	
6	地域包括ケアの基本を理解する(2) ※一部、グループワーク(事例検討)	事前:地域包括ケアの概念について調べておくこと(90分) 事後:講義を踏まえ地域包括ケア及び事例についてレポートを作成すること(90分)	

7	現地学習(講義形式)予定:地域におけるボランティア活動(1)※順番の入れ替わりあり	事前:地域におけるボランティア活動についてあらかじめ調べ、質問などを設定しておくこと(90分) 事後:現地学習を踏まえ地域におけるボランティア活動についてレポートを作成すること(90分)
8	現地学習(講義形式)予定:地域におけるボランティア活動(2)※順番の入れ替わりあり	事前:地域におけるボランティア活動についてあらかじめ調べ、質問などを設定しておくこと(90分) 事後:現地学習を踏まえ地域におけるボランティア活動についてレポートを作成すること(90分)
9	現地学習予定:地域における社会福祉協議会の活動 ※順番の入れ替わりあり	事前:社会福祉協議会についてあらかじめ調べ、質問などを設定しておくこと(90分) 事後:現地学習を踏まえ社会福祉協議会の活動についてレポートを作成すること(90分)
10	現地学習予定:地域における障害者の社会参加活動(1)※順番の入れ替わりあり	事前:障害者の社会参加活動についてあらかじめ調べ、質問などを設定しておくこと(90分) 事後:現地学習を踏まえ障害者の社会参加活動についてレポートを作成すること(90分)
11	現地学習予定:地域における障害者の社会参加活動(1)※順番の入れ替わりあり	事前:障害者の社会参加活動についてあらかじめ調べ、質問などを設定しておくこと(90分) 事後:現地学習を踏まえ障害者の社会参加活動についてレポートを作成すること(90分)
12	現地学習(講義形式)地域リハビリテーションの基本を理解する※順番の入れ替わりあり	事前:地域リハビリテーションについて調べておくこと(90分) 事後:講義を踏まえ地域リハビリテーションについてレポートを作成すること(90分)
13	視覚障害者への生活・社会参加支援 ※順番の入れ替わりあり	事前:視覚障害者への生活・社会参加支援についてあらかじめ調べ、質問などを設定しておくこと(90分) 事後:視覚障害者への生活・社会参加支援についてレポートを作成すること(90分)
14	グループワーク:地域共生社会の実現に向けてリハ職の関わり	事前:グループ発表に向けて調査した項目について整理すること(90分) 事後:グループ発表に向けてプレゼンテーションの準備を行うこと(90分)
15	課題に関するプレゼンテーション及びディベート講評・地域共生社会のまとめ	事前:プレゼンテーションに向けて発表内容及びプレゼン資料を調整すること(90分) 事後:プレゼンテーションの内容について良かった点、反省すべき点、他グループへの感想などを整理し、レポートを作成すること(90分)

準備学習・事後学習等についての補足説明

テーマごとに課題を整理し、プレゼンテーションの実施及びレポートの提出を課するので、事前学習及び復習並びにグループワークが必要となる。地域活動やノーマライゼーション及び共生社会の実際の状況を確認することとなるため、事前に学習し、質問、意見等をまとめておくこと。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段：評価項目、下段：割合(%)			
レポート	ポートフォリオ		
50%	50%		
使用テキスト			
書籍名	著者	出版社	
参考書又は参考資料等			
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕			
配布資料は随時作成。事前、事後学習を行った資料を取りまとめポートフォリオとして提出。			
担当教員の連絡先等			
教員 E-mail	その他		

授業科目名	食と農園		
担当者名	佐野 幹剛、室井 由起子	実務家教員	
授業コード	1200093001	授業形態	演習
学年	1年	開講期	通年
単位数	1単位	履修	選択・園芸療法士必修
ナンバリング	DP1-1-C		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	人の健康生活の基盤となる「食と運動」を連動的にとらえるために、学生は土づくりから始め、畑を耕し、種をまき、草をとり、肥料を与えるといった実学教育の中で、植物の生命力、仲間とのふれあい、自然の恵みに対する感謝、作物に関する知恵を学ぶ。また、学生は、畑で収穫した野菜の栄養成分や栄養価について学ぶ。授業形態は演習である。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ul style="list-style-type: none"> ・農園作業を体験し、作物の成長までの過程を理解することができる。 ・作業に伴う身体的精神的特性を理解することができる。 ・畑で収穫した野菜の栄養成分や栄養価について理解することができる。 		
授業計画	準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間		
1	前期コースオリエンテーション、農園実習について	事前:学内農園を見ておくこと(20分) 事後:農園手帳の準備と前期スケジュールの記載(25分)	
2	夏野菜を育てよう①土づくりと苗床作りの基本	事前:土づくりについてweb等で調べておくこと(20分) 事後:農園手帳に作業内容・気づいた点などを記載(25分)	
3	夏野菜を育てよう② 種蒔作業	事前:さつま芋について調べておくこと(20分) 事後:農園手帳に作業内容・気づいた点などを記載(25分)	
4	夏野菜を育てよう③ さつま芋畑づくり	事前:さつま芋について調べておくこと(20分) 事後:農園手帳に作業内容・気づいた点などを記載(25分)	
5	夏野菜を育てよう④ 苗の管理と除草作業	事前:トマト、キュウリの管理方法について調べる(20分) 事後:農園手帳に作業内容・気づいた点などを記載(25分)	
6	夏野菜を育てよう⑤ 追肥と害虫忌避・駆除作業	事前:追肥の種類と害虫忌避の方法について調べる(20分) 事後:農園手帳に作業内容・気づいた点などを記載(25分)	
7	夏野菜を育てよう⑥ 夏野菜の収穫と栄養価	事前:トマト、キュウリ、オクラの栄養価について調べる(20分) 事後:農園手帳に作業内容・気づいた点などを記載(25分)	
8	夏野菜のメンテナンスと除草作業、前期のまとめ	事前:野菜のメンテナンスについて調べておくこと(20分) 事後:農園手帳に作業内容・気づいた点などを記載(25分)	
9	後期コースオリエンテーション	事前:秋・冬野菜の種類について調べる(20分) 事後:農園手帳に作業内容・気づいた点などを記載(25分)	
10	秋・冬野菜を育てよう① 土づくりと苗床作り	事前:農業用マルチシートの使用目的、方法について調べる(20分) 事後:農園手帳に作業内容・気づいた点などを記載(25分)	
11	秋・冬野菜を育てよう② 種蒔作業	事前:ダイコン、カブの種蒔方法について調べる(20分) 事後:農園手帳に作業内容・気づいた点などを記載(25分)	
12	秋・冬野菜を育てよう③ さつま芋収穫準備作業	事前:さつま芋のつる返しについて目的と方法を調べておく(20分) 事後:農園手帳に作業内容・気づいた点などを記載(25分)	

13	秋・冬野菜を育てよう④ 追肥と間引き作業	事前:ダイコン、カブの間引き作業の目的と方法を調べておく(20分) 事後:農園手帳に作業内容・気づいた点などを記載(25分)
14	秋・冬野菜を育てよう⑤ 冬野菜の収穫と栄養価	事前:ダイコン、カブ、オクラの栄養価について調べる(20分) 事後:農園手帳に作業内容・気づいた点などを記載(25分)
15	さつまいもの収穫作業	事前:さつまいもの利用方法について調べる(20分) 事後:農園手帳に作業内容・気づいた点などを記載(25分)
準備学習・事後学習等についての補足説明		
農園手帳はその日の講義で体験できたことや野菜などの成長を記録してください。半期ごとに回収しチェックします。最終講義の後1週間以内に提出してください。		
成績評価の方法[評価項目と割合]※上段:評価項目、下段:割合(%)		
農園手帳記載内容の完成度	課題レポートの完成度	授業への取り組み
40%	40%	20%
使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
使用しない(都度資料を配布)		
参考書又は参考資料等		
九州栄養福祉大学研究紀要第12号「学内実習農園の開設と行事・教科教育としての実践」p65-74		
その他[受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて]		
前期は8回、後期は7回の開講予定。年間を通して、野菜等の成長観察と収穫が体験できるようにスケジュールを調整します。課題レポートについては、「野菜の収穫と精神作用について」、「野菜の持つ栄養成分と栄養化について」を作成してください。レポートはフィードバック資料として返却します。事後学習の参考にして下さい。授業への取り組みは、「水やり」「作業への取り組み」について判断します。作業ができる服装で参加してください。特に、靴は汚れますので長靴を各自用意してください。また、軍手、タオル、水分なども用意しておくとう便利です。受講生が多い場合は、抽選となる場合があります。		
担当教員の連絡先等		
教員 E-mail	その他	

授業科目名	医療人のための教育学 I		
担当者名	脇田 哲郎	実務家教員	○
授業コード	1200103001	授業形態	講義
学年	1年	開講期	前期
単位数	2単位	履修	卒業・理学療法士・作業療法士 必修
ナンバリング	DP1-1-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	将来、理学療法士、作業療法士を目指す学生が、現場で出会うことが予想される患者としての子供やその保護者、患者に提供するリハビリテーションをチームで行うために医師や看護師、同僚の療法士などによりよい人間関係を築くための具体的方途を体験的に学ぶ。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	1.理学療法士(以下、PT)、作業療法士(以下、OT)として人と関わるために大切なことを理解する。 2.患者として出会うことが予想される子供の特性について理解する。 3.PT、OTとしてのキャリア発達のために必要なスキルを身に付ける。		
授業計画		準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間	
1	PT、OTに求められる人間性について、現場で出会うことが予想される人との関係から考察する。	ポートフォリオに学習の振り返りをする。	
2	こども理解(発達障害について)	ポートフォリオに学習の振り返りをする。	
3	こども理解(発達障害について)	ポートフォリオに学習の振り返りをする。	
4	こども理解(子ども基本法)	ポートフォリオに学習の振り返りをする。	
5	こども理解(人を思う心について)	ポートフォリオに学習の振り返りをする。	
6	基本的生活習慣(時間を大切に)	ポートフォリオに学習の振り返りをする。	
7	基本的生活習慣(お金を大切に)	ポートフォリオに学習の振り返りをする。	
8	初対面の人への挨拶	ポートフォリオに学習の振り返りをする。	
9	自己・他者への気付き(上手な聴き方)	ポートフォリオに学習の振り返りをする。	
10	自分の長所・短所	ポートフォリオに学習の振り返りをする。	
11	自分の考え方の特徴	ポートフォリオに学習の振り返りをする。	
12	別の面への気付き	ポートフォリオに学習の振り返りをする。	
13	気持ちの伝え方	ポートフォリオに学習の振り返りをする。	
14	顔の見えないコミュニケーション	ポートフォリオに学習の振り返りをする。	
15	学修を振り返り、PT、OTに必要な能力や態度についてまとめる。	振り返りのレポートを書く。	
準備学習・事後学習等についての補足説明			
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)			
理学療法士(以下、PT)、作業療法士(以下、OT)に求められる人間性について自分なりの考えを持つことができたか。	患者として出会うことが予想される子供の特性について理解することができたか。	PT、OTとしてのキャリア発達のために必要なスキルを身に付けることができたか。	
振り返りのレポート(70%)	ポートフォリオ(20%)	授業への参加状況(10%)	

使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
参考書又は参考資料等		
高校生のための社会性と情動の学習(SEL-8S)		
その他[受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて]		
担当教員の連絡先等		
教員 E-mail	その他	
	オフィスアワー(メールで相談してください。翌週の授業後に回答します。)	

授業科目名	社会福祉と地域ケア		
担当者名	竹並 正宏	実務家教員	○
授業コード	1200013001	授業形態	講義
学年	1年	開講期	前期
単位数	2単位	履修	卒業・理学療法士・作業療法士 必修
ナンバリング	DP3-1-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>リハビリテーションの概念は、年老いても障害を持ちながらも、住み慣れたところで安心して自分らしく暮らせることを具現化することであり、理学療法士・作業療法士は心豊かに暮らしていける地域づくりに寄与していかなければならない。そのためには、社会福祉の基本知識を習得したうえで、地域ケアシステム構築への理解が求められる。本講義は、高齢者や障害児・者、児童、経済的困窮者などの抱える福祉課題や現状、社会福祉の制度や様々な専門職やボランティアによる活動について取り上げ、社会福祉に関する基礎的な知識を習得するとともに生活者としてのクライアントを見る視点を形成することをテーマに講義を実施する。</p>		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会における社会福祉の意義及び制度について、歴史的経緯を踏まえつつ理解し、説明できる。 2. 高齢者の地域包括ケアシステムや障害者総合支援制度における地域ケアの考え方を習得し、これに参画するための行動目標を示すことができる。 3. 社会福祉に関する基礎的な知識を習得して生活者としてクライアントを見る視点が身に付いている。 		
授業計画	準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間		
1	社会福祉の考え方 本講義の概要、オリエンテーション	事前:UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。(90分) 事後:キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(90分)	
2	福祉の意味と対象	事前:UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。(90分) 事後:キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(90分)	
3	私たちの暮らしと社会保障	事前:UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。(90分) 事後:キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(90分)	
4	児童と家庭の福祉	事前:UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。(90分) 事後:キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(90分)	
5	高齢者福祉	事前:UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。(90分) 事後:キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(90分)	
6	障害者福祉	事前:UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。(90分) 事後:キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(90分)	
7	地域ケアについて(KJ 法によるグループワーク)	事前:地域ケアの意味を調べる。(90分) 事後:グループワークやディベートを取り入れ考察する。(90分)	
8	地域ケアについて(KJ 法によるグループワーク)	事前:テキストの指定範囲を通読しておくこと(90分) 事後:指定した用語の意味を調べ、キーワードノートに記載すること(90分)	

9	地域ケアについて(KJ 法によるグループワーク)	事前:地域ケアの意味を調べる。(90 分) 事後:グループワークやディベートを取り入れ考察する。(90 分)
10	地域ケアについて(KJ 法によるグループワーク)	事前:テキストの指定範囲を通読しておくこと(90 分) 事後:指定した用語の意味を調べ、キーワードノートに記載すること(90 分)
11	ひとり親家庭の福祉・女性福祉	事前:UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。(90 分) 事後:キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(90 分)
12	社会福祉援助技術	事前:UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。(90 分) 事後:キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(90 分)
13	地域福祉	事前:UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。(90 分) 事後:キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(90 分)
14	医療福祉	事前:UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。(90 分) 事後:キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(90 分)
15	社会福祉の担い手及び全体のまとめ	事前:UNIPA で通知したキーワードの意味を調べる。(90 分) 事後:キーワードを用いて理解した内容をアイデアノートにまとめる。(90 分)

準備学習・事後学習等についての補足説明

使用テキストのまとめのプリントを配布し重要点を記入し参考資料としていく。
視聴覚教育やKJ法を使いながら、より具体的にわかりやすく進めていく。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)

定期試験	レポート	授業への取組み姿勢	
50%	30%	20%	

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
福祉・栄養・看護のための改訂社会福祉論	赤木正典・平松政臣編著	建帛社

参考書又は参考資料等

毎回、使用テキストのまとめのプリントを配布し重要点を記入し参考資料としていく。

その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕

・社会福祉を通して、地域社会や地域住民の健康生活と福祉の向上に貢献することを要望する。

担当教員の連絡先等

教員 E-mail	その他

授業科目名	医学倫理学		
担当者名	石橋 敏郎	実務家教員	
授業コード	1200012001	授業形態	講義
学年	1年	開講期	前期
単位数	2単位	履修	卒業・理学療法士・作業療法士 必修
ナンバリング	DP1-1-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	保健医療福祉の分野で求められているチーム医療では、異なる職種が協力して有効な保健医療サービスを提供することが求められている。そのためには職種間の対話と理解が不可欠であり、確かな知識や方法を共有しておくべきである。医学倫理学の基礎を理解・修得できるように、総論と各論に分けて15講に区切り、レビュー(基礎的な情報)とケーススタディ(架空事例などの提示)の2つの部分を参考にして講義を進めていく。受講する前にテキストを必ず読み、事前と事後の学習を自ら進んで取り組むように努力してください。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	①医学倫理の歴史について、重要事例を通してその内容を理解できる。 ②医学倫理を理解する方法について、その手順(原則論・物語論・手順論)を含めて視点を理解できる。 ③医学倫理の各論では、重要な倫理的問題について、架空事例を通して具体的にその捉え方を理解できる。		
授業計画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1	医療倫理の歴史①(古代から近代の医療倫理の変遷)	事前:受講内容の確認(テキストを読み、サブノートに必要事項を記入する)(90分) 事後:振り返りシートの内容を理解して暗記する(90分)	
2	医療倫理の歴史②(現代:患者の権利の時代へ)	事前:受講内容の確認(テキストを読み、サブノートに必要事項を記入する)(90分) 事後:振り返りシートの内容を理解して暗記する(90分)	
3	医療倫理学の方法①(基本的な概念と構造)	事前:受講内容の確認(テキストを読み、サブノートに必要事項を記入する)(90分) 事後:振り返りシートの内容を理解して暗記する(90分)	
4	医療倫理学の方法②(原則論と物語論)	事前:受講内容の確認(テキストを読み、サブノートに必要事項を記入する)(90分) 事後:振り返りシートの内容を理解して暗記する(90分)	
5	医療倫理学の方法③(手順論)	事前:受講内容の確認(テキストを読み、サブノートに必要事項を記入する)(90分) 事後:振り返りシートの内容を理解して暗記する(90分)	
6	死と喪失についてのレビュー	事前:受講内容の確認(テキストを読み、サブノートに必要事項を記入する)(90分) 事後:振り返りシートの内容を理解して暗記する(90分)	
7	告知:深刻な診断を知る、それを伝えるということ	事前:受講内容の確認(テキストを読み、サブノートに必要事項を記入する)(90分) 事後:振り返りシートの内容を理解して暗記する(90分)	

8	尊厳死:最後まで生きる、その人にかかわるということ	事前:受講内容の確認(テキストを読み、サブノートに必要事項を記入する)(90分) 事後:振り返りシートの内容を理解して暗記する(90分)
9	性(セクシャリティ)について	事前:受講内容の確認(テキストを読み、サブノートに必要事項を記入する)(90分) 事後:振り返りシートの内容を理解して暗記する(90分)
10	生殖について	事前:受講内容の確認(テキストを読み、サブノートに必要事項を記入する)(90分) 事後:振り返りシートの内容を理解して暗記する(90分)
11	障害児の出生を「防ぐ」ということ	事前:受講内容の確認(テキストを読み、サブノートに必要事項を記入する)(90分) 事後:振り返りシートの内容を理解して暗記する(90分)
12	患者の権利と公共の福祉①(患者と第三者の利害の対立)	事前:受講内容の確認(テキストを読み、サブノートに必要事項を記入する)(90分) 事後:振り返りシートの内容を理解して暗記する(90分)
13	患者の権利と公共の福祉②(自己危害と他者危害)	事前:受講内容の確認(テキストを読み、サブノートに必要事項を記入する)(90分) 事後:振り返りシートの内容を理解して暗記する(90分)
14	医学研究と医療資源①(生体と医療資源)	事前:受講内容の確認(テキストを読み、サブノートに必要事項を記入する)(90分) 事後:振り返りシートの内容を理解して暗記する(90分)
15	医学研究と医療資源②(医療資源の配分と医療情報)	事前:受講内容の確認(テキストを読み、サブノートに必要事項を記入する)(90分) 事後:振り返りシートの内容を理解して暗記する(90分)

準備学習・事後学習等についての補足説明

受講前にテキストを読んでその内容を確認したうえでサブノートに必要事項を記入しておくこと。講義終了時に実施するサブノートに記入して授業内容を振り返ること。疑問点については積極的に質問してください。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)

定期試験	課題(ケーススタディ) <4回>の提出と国家試験演習問題<2回>の取り組み		
70%	30%		

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
医療倫理学の方法(原則・ナラティブ・手順)第3版	宮坂道夫	医学書院

参考書又は参考資料等

授業内容に沿ったプリント(サブノート)を事前に配布します(事前に予習を行っておくこと)。

その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕

医学倫理に関する新しい情報については、メディア(新聞、HPなど)等を通して関心を常に持つように努める事。

担当教員の連絡先等

教員 E-mail	その他

授業科目名	基礎心理学		
担当者名	秋田 寛子、下満 由貴	実務家教員	
授業コード	1200104001	授業形態	講義
学年	1年	開講期	前期
単位数	2単位	履修	卒業・理学療法士・作業療法士 選択必修
ナンバリング	DP1-1-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	心理学は心と行動を科学的な方法で探求する学問であり、様々な研究手法を用いて認知や行動の客観的観察、主観的体験の把握が試みられてきた。本講義では心理学の主要分野における基礎的な概念と理論を学んでいくと共に、グループワークを通して日常の現象や心の動きを心理学的視点から考察し理解を深めていく。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	1) 理学・作業療法士に必要な心理学の基礎知識を説明することができる 2) 心理学の基礎知識を基に、自分の意見を述べるができる		
授業計画		準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間	
1	オリエンテーション【秋田】	事後:配布資料を再読の上関心事項は自ら調べる(60分)	
2	心理学とは【秋田】	事前:事前に提示した資料を確認する(60分) 事後:配布資料を再読の上関心事項は自ら調べる(60分)	
3	感覚・知覚(1)【秋田】	事前:事前に提示した資料を確認する(60分) 事後:配布資料を再読の上関心事項は自ら調べる(60分)	
4	感覚・知覚(2)【秋田】	事前:事前に提示した資料を確認する(60分) 事後:配布資料を再読の上関心事項は自ら調べる(60分)	
5	社会的認知【秋田】	事前:事前に提示した資料を確認する(60分) 事後:配布資料を再読の上関心事項は自ら調べる(60分)	
6	社会的影響【秋田】	事前:事前に提示した資料を確認する(60分) 事後:配布資料を再読の上関心事項は自ら調べる(60分)	
7	ライフイベントと心の健康【秋田】	事前:事前に提示した資料を確認する(60分) 事後:配布資料を再読の上関心事項は自ら調べる(60分)	
8	学習【下満】	事前:事前に提示した資料を確認する(60分) 事後:配布資料を再読の上関心事項は自ら調べる(60分)	
9	感情・動機づけ【下満】	事前:事前に提示した資料を確認する(60分) 事後:配布資料を再読の上関心事項は自ら調べる(60分)	
10	記憶と認知【下満】	事前:事前に提示した資料を確認する(60分) 事後:配布資料を再読の上関心事項は自ら調べる(60分)	
11	発達1(乳児期～学童期)【下満】	事前:事前に提示した資料を確認する(60分) 事後:配布資料を再読の上関心事項は自ら調べる(60分)	
12	発達2(青年期～老年期)【下満】	事前:事前に提示した資料を確認する(60分) 事後:配布資料を再読の上関心事項は自ら調べる(60分)	
13	パーソナリティ・後半のまとめ【下満】	事前:事前に提示した資料を確認する(60分) 事後:配布資料を再読の上関心事項は自ら調べる(60分)	
14	ストレスと心の健康(ストレスマネジメント)【下満】	事前:事前に提示した資料を確認する(60分) 事後:配布資料を再読の上関心事項は自ら調べる(60分)	

15	臨床心理学【秋田・下満】	事前:事前に提示した資料を確認する(60分) 事後:配布資料を再読の上関心事項は自ら調べる(60分)	
準備学習・事後学習等についての補足説明			
毎回の授業でミニレポートを課します。授業によっては事前に資料を提示します。			
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)			
定期試験	ミニレポート		
70%	30%		
使用テキスト			
書籍名	著者	出版社	
特になし			
参考書又は参考資料等			
講義の進度に応じて適宜参考図書を紹介します			
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕			
担当教員の連絡先等			
教員 E-mail	その他		
非公開とする	講義後、非常勤講師室でしばらく待ちます		

授業科目名	医療人のための教育学Ⅱ		
担当者名	脇田 哲郎、四元 孝道、井元 淳、 吉田 遊子、廣滋 恵一、平澤 勉	実務家教員	○
授業コード	1200105001	授業形態	講義
学年	1年	開講期	後期
単位数	2単位	履修	卒業・理学療法士・作業療法士 選択必修
ナンバリング	DP1-1-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	将来、理学療法士、作業療法士を目指す学生が、現場で出会うことが予想される患者としての子供やその保護者、患者に提供するリハビリテーションをチームで行うために医師や看護師、同僚の療法士などと豊かな関わりを築くための具体的方途を体験的に学ぶ。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	1.理学療法士(以下、PT)、作業療法士(以下、OT)として人とのかかわり方を理解する。 2.PT、OTに求められる人間性や社会性について考察する。 3.PT、OTとしてのキャリア発達のために必要なスキルを身に付ける。		
授業計画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1	あいさつの意義について	ポートフォリオに学習の振り返りをする。	
2	自己理解について	ポートフォリオに学習の振り返りをする。	
3	他者理解について	ポートフォリオに学習の振り返りをする。	
4	気持ちの伝え方について	ポートフォリオに学習の振り返りをする。	
5	関係開始について	ポートフォリオに学習の振り返りをする。	
6	問題解決について	ポートフォリオに学習の振り返りをする。	
7	説明や指示の伝え方について	ポートフォリオに学習の振り返りをする。	
8	ストレスへの対処その1	ポートフォリオに学習の振り返りをする。	
9	ストレスへの対処その2	ポートフォリオに学習の振り返りをする。	
10	これまでの学修を振り返る最終課題	これまでの学修を課題用紙にまとめる	
11	臨床実習の概要(廣滋恵一)	事前・実習について自分の考えをまとめておく。(90分) 事後・講義ノートをまとめレポートを作成する。(90分)	
12	臨床実習 各論(教育原理・コーチング理論)(四元孝道)	事前・講義テーマについて調べておく。(90分) 事後・講義ノートをまとめレポートを作成する。(90分)	
13	臨床実習 各論(ハラスメント)(吉田遊子)	事前・講義テーマについて調べておく。(90分) 事後・講義ノートをまとめレポートを作成する。(90分)	
14	臨床実習 各論(実習プログラム立案)(井元淳)	事前・講義テーマについて調べておく。(90分) 事後・講義ノートをまとめレポートを作成する。(90分)	
15	臨床実習 各論(実習における評価)(平澤勉)	事前・講義テーマについて調べておく。(90分) 事後・講義ノートをまとめる。(90分)	
準備学習・事後学習等についての補足説明			

成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)			
理学療法士(以下、PT)、作業療法士(以下、OT)として人とのかかわり方を理解することができたか。	PT、OT に求められる人間性や社会性についてじぶんなりのかんがえをもつことができたか。	PT、OT としてのキャリア発達のために必要なスキルを身に付けることができたか。	
振り返りのレポート(70%)	ポートフォリオ(20%)	授業への参加状況(10%)	
使用テキスト			
書籍名	著者	出版社	
参考書又は参考資料等			
教師のための社会性と情動の学習(SEL-8C)			
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕			
担当教員の連絡先等			
教員 E-mail	その他		
	オフィスアワーとしてメールで相談して下さい。翌週の授業後に回答します。		

授業科目名	医療人のための哲学		
担当者名	吉田 正史	実務家教員	
授業コード	1200106001	授業形態	講義
学年	1年	開講期	後期
単位数	2単位	履修	卒業・理学療法士、作業療法士 選択必修
ナンバリング	DP1-1-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	本講では、生物学をはじめ、広く生命科学の与える知見を視野に入れ自らの哲学を構築したベルクソン(仏、1859～1941)を主たる拠り所として、生命をめぐる諸問題について考察を加えたい。またジェイムス(米、1842～1910)に即し、広く確認される、人間生命の持つ宗教性についても理解を深めていきたい。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	生命をめぐる諸問題に対する哲学的視点について理解を深め、自ら諸生命概念を評価していく力を養うこと。また人間生命の持つ宗教性について理解を深めること。		
授業計画		準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間	
1	はじめに 哲学とは何か	事前: 哲学という学問について多少調べておくこと(90分) 事後: 講義を振り返り、理解の不十分な点を熟考すること(90分)	
2	ベルクソンの哲学 ベルクソンの生涯と業績	事前: 次回用資料の通読もしくは次回予告内容をめぐっての下調べ(90分) 事後: 講義を振り返り、理解の不十分な点を熟考すること(90分)	
3	ベルクソンの哲学 意識と持続	事前: 次回用資料の通読もしくは次回予告内容をめぐっての下調べ(90分) 事後: 講義を振り返り、理解の不十分な点を熟考すること(90分)	
4	ベルクソンの哲学 意識と生命	事前: 次回用資料の通読もしくは次回予告内容をめぐっての下調べ(90分) 事後: 講義を振り返り、理解の不十分な点を熟考すること(90分)	
5	ベルクソンの哲学 生命と物質	事事前: 次回用資料の通読もしくは次回予告内容をめぐっての下調べ(90分) 事後: 講義を振り返り、理解の不十分な点を熟考すること(90分)	
6	ベルクソンの哲学 「生の躍動」と創造的進化(1) 進化と生物種	事前: 次回用資料の通読もしくは次回予告内容をめぐっての下調べ(90分) 事後: 講義を振り返り、理解の不十分な点を熟考すること(90分)	
7	ベルクソンの哲学 「生の躍動」と創造的進化(2) 人間種と自己創造	事前: 次回用資料の通読もしくは次回予告内容をめぐっての下調べ(90分) 事後: 講義を振り返り、理解の不十分な点を熟考すること(90分)	

8	ベルクソンの哲学 「生の躍動」と創造的進化(3) 自己創造の射程	事前:次回用資料の通読もしくは次回予告内容をめぐって の下調べ(90分) 事後:講義を振り返り、理解の不十分な点を熟考すること (90分)
9	ベルクソンの哲学 道德の源泉としての「愛の躍動」	事前:次回用資料の通読もしくは次回予告内容をめぐって の下調べ(90分) 事後:講義を振り返り、理解の不十分な点を熟考すること (90分)
10	ベルクソンの哲学 「閉じた道德」と「開いた道德」	事前:次回用資料の通読もしくは次回予告内容をめぐって の下調べ(90分) 事後:講義を振り返り、理解の不十分な点を熟考すること (90分)
11	ジェイムズの哲学 ジェイムズの生涯と業績 (前半は第10回までの講義内容をめぐっての討論)	事前:次回用資料の通読もしくは次回予告内容をめぐって の下調べ、また、討論に向けての自分の考えの整理 (90分) 事後:講義、討論を振り返り、理解の不十分な点を熟考す ること(90分)
12	ジェイムズの哲学 信仰とその正当性	事前:次回用資料の通読もしくは次回予告内容をめぐって の下調べ(90分) 事後:講義を振り返り、理解の不十分な点を熟考すること (90分)
13	ジェイムズの哲学 神の摂理と自由意志	事前:次回用資料の通読もしくは次回予告内容をめぐって の下調べ(90分) 事後:講義を振り返り、理解の不十分な点を熟考すること (90分)
14	エマソンの哲学 自己信頼	事前:次回用資料の通読もしくは次回予告内容をめぐって の下調べ(90分) 事後:講義を振り返り、理解の不十分な点を熟考すること (90分)
15	まとめ 授業全体の重要事項の再確認 (前半は第11回から第14回までの講義内容をめぐっ ての討論)	事前:次回用資料の通読もしくは次回予告内容をめぐって の下調べ、また、討論に向けての自分の考えの整理 (90分) 事後:講義、討論を振り返り、理解の不十分な点を熟考す ること(90分)

準備学習・事後学習等についての補足説明

上記の事前・事後学習のほか、講義時に指示した参考図書を読むことが望ましい。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)

定期試験			
100%			

使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
教科書は使用しないが、適宜資料等を配付する。		
参考書又は参考資料等		
澤瀉久敬『アンリ・ベルクソン』(中公文庫、昭和 62 年)。その他参考図書は講義中に適宜指示する。		
その他[受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて]		
世にアクティヴ・ラーニングが喧しいが、勉学の外面的形式ではなく、頭の中をアクティヴにすることこそ望ましい。そのためには、まずはしっかりと講義を聴くことである。また、討論中の講師の発言がフィードバックであると心得られたい。		
担当教員の連絡先等		
教員 E-mail	その他	
	講義終了後、非常勤講師控室にて質問に対応可能。	

授業科目名	医療人のための法学		
担当者名	中野 次吉	実務家教員	
授業コード	1200094001	授業形態	講義
学年	1年	開講期	後期
単位数	2単位	履修	選択
ナンバリング	DP1-1-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	人生 100 年時代が現実になりつつあるいま、個人の生き方として病気や障がいの向き合い方が重要度を増している。これに伴い、職業として様々な障がいと向き合う理学療法士や作業療法士に求められる役割もますます重要かつ多様化している。今後、理学療法士や作業療法士として職責に添えていくには、資格取得に必要な専門知識だけでなく、社会情勢や法制度など多様な知識が求められるだろう。本講義では、理学療法士・作業療法士が職務を遂行する上で知っておくべき社会の仕組みやいくつかの基礎的法制度を学修する。これらの学修を通して、今後求められる理学療法士・作業療法士像について受講者とともに考えたい。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> 1. 理学療法士・作業療法士について日本国憲法はじめ関連法規における位置づけを理解できる。 2. 理学療法士・作業療法士として勤務する上で必要な法規の基礎的部分を理解できる。 3. 目指したい理学療法士・作業療法士像を自分の言葉で説明できる。 		
授業計画	準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間		
1	オリエンテーション :何かを自分でやるとは?	事前:なし 事後:当該回の復習、指示された内容の調査(180分)	
2	日本国憲法と法律 :憲法と法律の関係	事前:なし 事後:当該回の復習、指示された内容の調査(180分)	
3	国家と健康 :福祉国家について	事前:なし 事後:当該回の復習、指示された内容の調査(180分)	
4	理学療法士と作業療法士と憲法:国家資格である意味	事前:なし 事後:当該回の復習、指示された内容の調査(180分)	
5	理学療法士・作業療法士法①:両資格の法律上の位置づけ	事前:なし 事後:当該回の復習、指示された内容の調査(180分)	
6	理学療法士・作業療法士法②:演習 法の原文を自分で調べてみる	事前:なし 事後:当該回の復習、指示された内容の調査(180分)	
7	理学療法士・作業療法士法③:演習 国家試験過去問を解く	事前:なし 事後:当該回の復習、指示された内容の調査(180分)	
8	介護保険法① :社会保障の考え方	事前:なし 事後:当該回の復習、指示された内容の調査(180分)	
9	介護保険法② :介護サービスの種類	事前:なし 事後:当該回の復習、指示された内容の調査(180分)	
10	介護保険法③ :介護サービスの手続き	事前:なし 事後:当該回の復習、指示された内容の調査(180分)	
11	介護保険法④ :演習 原文を読み国家試験過去問を解く	事前:なし 事後:当該回の復習、指示された内容の調査(180分)	
12	身体障害者福祉法 :福祉とは (付)高齢者の医療の確保に関する法律	事前:なし 事後:当該回の復習、指示された内容の調査(180分)	

13	障害者基本法と障害者総合支援法:障がいに対する支援 老人福祉法、医療法、健康増進法ほか	事前:なし 事後:当該回の復習、指示された内容の調査(180分)
14	演習:学修内容を基に国試問題を作成してみる	事前:なし 事後:当該回の復習、指示された内容の調査(180分)
15	演習:これからの福祉と障がい支援を考える	事前:なし 事後:当該回の復習、指示された内容の調査(180分)
準備学習・事後学習等についての補足説明		
テキストを使用しないため、事前学習は求めません。評価はレポートで行う予定です。 このため、指示した内容について事後学修を十分に行ってください。		
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)		
レポート	振り返りシート	
70%	30%	
使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
使用しない(適宜資料配布)。		
参考書又は参考資料等		
適宜指示します。		
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕		
本授業は「自分で資料を収集し、考え、解を導く」思考力の養成に重点を置きます。 講義形式ですが、受け身の姿勢にならないよう努めてください。 また、授業は板書を中心に行いますので、かならずノートを持参してください。		
担当教員の連絡先等		
教員 E-mail	その他	

授業科目名	基礎生物学		
担当者名	松崎 英章	実務家教員	○
授業コード	1000006001	授業形態	講義
学年	1年	開講期	前期
単位数	2単位	履修	卒業・理学療法士・作業療法士 選択必修
ナンバリング	DP2-1-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>理学療法士および作業療法士の国家資格を取得して臨床で従事する際には、社会レベル(人間)や個体レベル(人)に加えて生物レベル(ヒト)で対象者の状態を生物学的に理解する必要がある。さらに、近年はコロナウイルスの流行によって世界的にも感染症対策への関心が高まり、リハビリテーション専門職にもヒトを対象とする生物学と生体防御学の知識を臨床で求められる。本講義では、リハビリテーション専門職の視点に特化して構成されたテキストを活用することによって、リハビリテーション専門職が生物学(生体防御学を含む)を学ぶことの必要性和意義に対する理解を深めていく。そのために、医療機関での実務経験を有する教員が、実際の臨床場面に則した事例や知識の活用場面の紹介を交えながら進める。また、本講義では、原則、すべての回において①事前学習(テキスト内キーワードの予習)、②講義(座学とグループワークを通じた成果物としてワークシート〔国家試験過去問題の回答を含む〕を作成する)、③事後学習(テキスト内キーワードの復習)で構成される。</p>		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<p>1)リハビリテーション専門職が生物学を学ぶことに対する必要性和意義を理解して、他者へ説明できる。 2)リハビリテーション専門職に必要な生物学のキーワードとその意味を理解して、他者へ説明できる。</p>		
授業計画	準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間		
1	オリエンテーション・導入	事前学習(本講義を選択した理由と目標設定):120分 事後学習(本講義15回を通じた目標設定):120分	
2	リハビリテーションに活かす生物学	事前学習(キーワードの整理):120分 事後学習(キーワードの復習):120分	
3	細胞・染色体・遺伝子	事前学習(キーワードの整理):120分 事後学習(キーワードの復習):120分	
4	細胞の発生と死	事前学習(キーワードの整理):120分 事後学習(キーワードの復習):120分	
5	胚葉の発生組織と器官	事前学習(キーワードの整理):120分 事後学習(キーワードの復習):120分	
6	神経系・消化・代謝	事前学習(キーワードの整理):120分 事後学習(キーワードの復習):120分	
7	血液	事前学習(キーワードの整理):120分 事後学習(キーワードの復習):120分	
8	内分泌	事前学習(キーワードの整理):120分 事後学習(キーワードの復習):120分	
9	ウイルスと細菌	事前学習(キーワードの整理):120分 事後学習(キーワードの復習):120分	
10	生体防御と炎症	事前学習(キーワードの整理):120分 事後学習(キーワードの復習):120分	

11	免疫	事前学習(キーワードの整理):120分 事後学習(キーワードの復習):120分	
12	アレルギーと免疫異常	事前学習(キーワードの整理):120分 事後学習(キーワードの復習):120分	
13	個体の老化	事前学習(キーワードの整理):120分 事後学習(キーワードの復習):120分	
14	感染症	事前学習(キーワードの整理):120分 事後学習(キーワードの復習):120分	
15	感染対策とリハビリテーション	事前学習(キーワードの整理):120分 事後学習(キーワードの復習):120分	
準備学習・事後学習等についての補足説明			
事前学習:テキスト内で設定されている次回の単元部分のキーワードについて配布されるシートに整理する。 事後学習:事前学習で整理したキーワードについて講義で学んだ内容をシートに補足する。			
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)			
事前・事後学習の提出	講義の成果物提出	定期試験	
20%	20%	60%	
使用テキスト			
書籍名	著者	出版社	
リハベーシック 生物学・生体防御学	内山靖、他	医歯薬出版株式会社	
参考書又は参考資料等			
基本的には上記のテキストを参考としますが、單元ごとに必要があれば補足資料を配布します。			
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕			
<ul style="list-style-type: none"> ・事前・事後学習用に配布されたシートを用いて自己学習を進め、指定された期日までに提出してください。 ・毎回の講義では、ワークシートを配布するため、受講後に提出してください。 			
担当教員の連絡先等			
教員 E-mail	その他		
	講義時間以外であっても、担当教員指定の時間帯に質問を受け付けます。		

授業科目名	基礎物理学		
担当者名	石橋 敏郎	実務家教員	
授業コード	1200004001	授業形態	講義
学年	1年	開講期	前期
単位数	2単位	履修	卒業・理学療法士・作業療法士 選択必修
ナンバリング	DP2-1-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	理学療法や作業療法には科学的根拠が必要とされています。これらを学び臨床現場で業務を行っていく中で、物理学の基礎的知識は必要となります。生活の中で起こっていたり、利用されたりしている“物理的事象”に着目しながら、講義を進めていきます。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	理学療法、作業療法を行うにあたって必要な物理学(力、運動、電気、磁力、熱、音、波など)の基礎的な内容について理解する。		
授業計画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1	物理学で学習すること(序章)	テキストの「はじめに(本書の目的と特長、本書の構成、本書の使い方)」と第1章を読んでおくこと(180分)	
2	物理量とその表し方	テキストの第2章を読んで、サブノートの空欄に適切な語句を記入しておくこと(180分)	
3	物理学で使うグラフと関数	テキストの第3章を読んで、サブノートの空欄に適切な語句を記入しておくこと(180分)	
4	いろいろな運動	テキストの第4章を読んで、サブノートの空欄に適切な語句を記入しておくこと(180分)	
5	さまざまな力	テキストの第5章を読んで、サブノートの空欄に適切な語句を記入しておくこと(180分)	
6	力のつり合いと運動の法則	テキストの第6章を読んで、サブノートの空欄に適切な語句を記入しておくこと(180分)	
7	物体の重心と回転運動	テキストの第7章を読んで、サブノートの空欄に適切な語句を記入しておくこと(180分)	
8	運動量、仕事とエネルギー	テキストの第8章を読んで、サブノートの空欄に適切な語句を記入しておくこと(180分)	
9	温度と熱	テキストの第9章を読んで、サブノートの空欄に適切な語句を記入しておくこと(180分)	
10	波の運動	テキストの第10章を読んで、サブノートの空欄に適切な語句を記入しておくこと(180分)	
11	音と光	テキストの第11章を読んで、サブノートの空欄に適切な語句を記入しておくこと(180分)	
12	電気と力	テキストの第12章を読んで、サブノートの空欄に適切な語句を記入しておくこと(180分)	
13	電流と抵抗	テキストの第13章を読んで、サブノートの空欄に適切な語句を記入しておくこと(180分)	
14	磁気と電流	テキストの第14章を読んで、サブノートの空欄に適切な語句を記入しておくこと(180分)	

15	原子の構造と放射線	テキストの第 15 章を読んで、サブノートの空欄に適切な語句を記入しておくこと(180 分)	
準備学習・事後学習等についての補足説明			
講義で使用したサブノート(プリント)のファイリングをしておくこと。			
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)			
定期試験	演習問題への取り組み		
70%	30%		
使用テキスト			
書籍名	著者	出版社	
PT・OT ゼロからの物理学	望月 久、棚橋信雄	羊土社	
参考書又は参考資料等			
PT・OT 臨床につながる物理学(望月 久、棚橋信雄) 羊土社			
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕			
テキストに沿って、講義を進めていきます。テキストや配布資料等を忘れた場合には、事前に担当教員に報告すること。			
担当教員の連絡先等			
教員 E-mail	その他		

授業科目名	基礎化学		
担当者名	坂尻 徹也	実務家教員	
授業コード	1000007001	授業形態	講義
学年	1年	開講期	前期
単位数	2単位	履修	卒業・理学療法士・作業療法士 選択必修
ナンバリング	DP2-1-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	化学は自然現象を理解するために必須の知識である。本講義では、大学における化学を学ぶ上で土台となる、基礎的な知識を理解し身につけることを目標とする。物質の構成粒子と粒子の結合について深く学ぶため、グループワークを行う。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	大学での化学を学ぶために必要な、基礎的な概念を理解する。自然現象を化学として説明するための、化学式、反応式、計算を独力であらわせるようになる。		
授業計画		準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間	
1	第2章 物質の構成粒子①	事前:テキスト指定範囲(掲示又は UNIPA にて通知)を通読しておくこと(90分) 事後:指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する(90分)	
2	第2章 物質の構成粒子②	事前:テキスト指定範囲(掲示又は UNIPA にて通知)を通読しておくこと(90分) 事後:指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する(90分)	
3	第2章 物質の構成粒子③	事前:テキスト指定範囲(掲示又は UNIPA にて通知)を通読しておくこと(90分) 事後:指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する(90分)	
4	第3章 粒子の結合①	事前:テキスト指定範囲(掲示又は UNIPA にて通知)を通読しておくこと(90分) 事後:指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する(90分)	
5	第3章 粒子の結合②	事前:テキスト指定範囲(掲示又は UNIPA にて通知)を通読しておくこと(90分) 事後:指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する(90分)	
6	第3章 粒子の結合③ *第1回~6回の内容にて小グループのグループワークを行う	事前:テキスト指定範囲(掲示又は UNIPA にて通知)を通読しておくこと(90分) 事後:指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する(90分)	
7	第4章 物質と化学反応式①	事前:テキスト指定範囲(掲示又は UNIPA にて通知)を通読しておくこと(90分) 事後:指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する(90分)	

8	第4章 物質と化学反応式②	事前:テキスト指定範囲(掲示又は UNIPA にて通知)を通読しておくこと(90分) 事後:指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する(90分)
9	第4章 物質と化学反応式③	事前:テキスト指定範囲(掲示又は UNIPA にて通知)を通読しておくこと(90分) 事後:指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する(90分)
10	第5章 酸と塩基の反応①	事前:テキスト指定範囲(掲示又は UNIPA にて通知)を通読しておくこと(90分) 事後:指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する(90分)
11	第5章 酸と塩基の反応②	事前:テキスト指定範囲(掲示又は UNIPA にて通知)を通読しておくこと(90分) 事後:指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する(90分)
12	第5章 酸と塩基の反応③	事前:テキスト指定範囲(掲示又は UNIPA にて通知)を通読しておくこと(90分) 事後:指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する(90分)
13	第6章 酸化還元反応①	事前:テキスト指定範囲(掲示又は UNIPA にて通知)を通読しておくこと(90分) 事後:指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する(90分)
14	第6章 酸化還元反応②	事前:テキスト指定範囲(掲示又は UNIPA にて通知)を通読しておくこと(90分) 事後:指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する(90分)
15	第6章 酸化還元反応③	事前:テキスト指定範囲(掲示又は UNIPA にて通知)を通読しておくこと(90分) 事後:指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する(90分)

準備学習・事後学習等についての補足説明

- ・事前に教科書の講義内容の部分を一読しておくこと。
- ・講義の度に課題として問題を出すので、自力で解けるよう復習すること。各自で問題集の自習をすること。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)

定期試験	授業への取組み	小テスト	
50%	30%	20%	

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
改定版リード Light ノート化学基礎	教研出版編集部	教研出版

参考書又は参考資料等	
講義中に適宜資料を配布する。	
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕	
・特に高等学校で化学を履修していない学生は、講義の内容を習得する積極的な姿勢が望まれる。	
担当教員の連絡先等	
教員 E-mail	その他

授業科目名	医療人のための科学		
担当者名	村田 奈保子、平澤 勉、松崎 英章	実務家教員	○
授業コード	1200107001	授業形態	講義
学年	1年	開講期	後期
単位数	2単位	履修	卒業・理学療法士・作業療法士 選択必修
ナンバリング	DP3-1-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	科学的判断をめぐる様々な事例を通じて、科学とは何かを考える。 また、科学的思考方法について講義する。授業形態は講義である。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	科学技術(特に社会とのかかわりの強い側面)についてきちんと考えるためのスキルや知識を身につける。科学的にものを考えることの習慣や科学的センスを、(日常に接している身近なところから)養うコツをつかむ。		
授業計画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1	オリエンテーション・スマホについて考える(村田)	事前 本授業を学ぶ意義について考える(90分) 事後 講義内容を振り返り、理解を深める(90分)	
2	スマホの歴史・現在・原材料について調べる(村田)	事前 日常におけるスマホの使い方や関係について考えてくる(90分) 事後 講義内容を振り返り、理解を深める(90分)	
3	スマホの生産や流通に関する問題(村田)	事前 事前に示された動画を視聴しておく(90分) 事後 講義内容を振り返り、課題に対して自分の考えをまとめる(90分)	
4	スマホの生産や流通に関する問題についてディスカッション(村田)	事前 メンバーとディスカッションを行うための準備をする(90分) 事後 メンバーとのディスカッションを振り返り、まとめる(90分)	
5	話し合った内容をプレゼンする(村田)	事前 プレゼンの準備をする(90分) 事後 質疑を含めてプレゼンを振り返り、理解を深める(90分)	
6	高齢化について考える(松崎)	事前 事前配布資料を確認して課題を整理する(120分) 事後 学習した内容を整理して理解を深める(120分)	
7	地域における介護予防の意義について考える(松崎)	事前 事前配布資料を確認して課題を整理する(120分) 事後 学習した内容を整理して理解を深める(120分)	
8	地域における介護予防の実践方法について考える(松崎)	事前 事前配布資料を確認して課題を整理する(120分) 事後 学習した内容を整理して理解を深める(120分)	
9	地域における介護予防の実践によって期待される効果について考える(松崎)	事前 事前配布資料を確認して課題を整理する(120分) 事後 学習した内容を整理して理解を深める(120分)	
10	地域における介護予防の実践計画に関するプレゼンテーションとグループディスカッション(松崎)	事前 事前配布資料を確認して課題を整理する(120分) 事後 学習した内容を整理して理解を深める(120分)	
11	医学的な証明の限界とバイアスの排除(平澤)	事前 日常における疑問を考えてくる(90分) 事後 講義内容を振り返り、理解を深める(90分)	

12	科学的・批判的に考える 食と健康(平澤)	事前 日常における疑問を考えてくる(90分) 事後 講義内容を振り返り、理解を深める(90分)
13	食と健康について プレゼンテーションとディスカッション(平澤)	事前 発表準備(90分) 事後 講義内容を振り返り、理解を深める(90分)
14	科学的・批判的に考える 予防と健康(平澤)	事前 日常における疑問を考えてくる(90分) 事後 講義内容を振り返り、理解を深める(90分)
15	予防と健康について プレゼンテーションとディスカッション(平澤)	事前 発表準備(90分) 事後 講義内容を振り返り、理解を深める(90分)
準備学習・事後学習等についての補足説明		
ディスカッションやプレゼンのための事前学習は、怠ると講義の進行に影響しますので、課題遂行状況として評価します。		
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)		
プレゼンテーション	日常の受講状況	課題の遂行状況
30%	40%	30%
使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
特になし		
参考書又は参考資料等		
講義の進行によって、適宜紹介します。		
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕		
・提出を求められた資料は期日までに提出してください。(松崎)		
担当教員の連絡先等		
教員 E-mail	その他	
	講義時間以外であっても、担当教員指定の時間帯に質問を受け付けます (松崎)	

授業科目名	情報処理演習 I		
担当者名	趙 華安	実務家教員	
授業コード	1200007001	授業形態	演習
学年	1 年	開講期	前期
単位数	1 単位	履修	卒業・理学療法士・作業療法士 必修
ナンバリング	DP4-1-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	情報処理演習 I では、コンピュータの基本操作・基礎知識について学ぶ。マイクロソフト社が提供する Office ソフト(主に Word(図表を含む文章作成)、Excel(表計算とグラフなど)、PowerPoint(プレゼンテーション))の基本操作を学習すると共に、インターネットを利用した情報収集について学び、実践的な情報処理技術を身に着ける。Office はビジネスや日常のオフィス業務に必要な不可欠なソフトである。授業は講義と演習の融合方式である。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータを自由自在に使えこなせる。 ・Word で文書を作成することができ、Excel でデータの計算や表とグラフを作成することができる。 ・PowerPoint でプレゼンテーションの発表資料を作成することができる。 ・インターネットを利用する際に、情報倫理・ネットの基本理念を把握できる。 		
授業計画	準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間		
1	ガイダンス:情報処理を学ぶ意義、パソコンの基本操作、MS Office の紹介	事前 情報処理を学ぶ意義、パソコンの構成(50 分) 事後 Office の機能、キーボードのキー配列の調査(30 分)	
2	学内メールアドレスとユニパの使用についての説明	事前 教科書の内容を予習してくる(45 分) 事後 パソコンを使って授業内容を復習しておく(30 分)	
3	オンラインタイピング練習	事前 キーボードの配置を予習してくる(30 分) 事後 オンラインでタイピング練習、50 字/分を目指す(60 分)	
4	Word(1) (起動、終了、保存などの基本操作)	事前 教科書の内容を予習してくる(45 分) 事後 レポート課題に取り組む(30 分)	
5	Word(2) (文書の作成と編集の方法)	事前 教科書の内容を予習してくる(30 分) 事後 レポート課題に取り組む(30 分)	
6	Word(3) (文書のデザイン)	事前 教科書の内容を予習してくる(45 分) 事後 レポート課題に取り組む(30 分)	
7	Word(4) (表、画像や写真の作成・挿入、文書校正)	事前 教科書の内容を予習してくる(45 分) 事後 レポート課題に取り組む(30 分)	
8	Excel(1) (起動、終了、保存などの基本操作)	事前 教科書の内容を予習してくる(45 分) 事後 レポート課題に取り組む(30 分)	
9	Excel(2) (データの入力・編集)	事前 教科書の内容を予習してくる(45 分) 事後 レポート課題に取り組む(30 分)	
10	Excel(3) (表計算とグラフの作成)	事前 教科書の内容を予習してくる(45 分) 事後 レポート課題に取り組む(30 分)	
11	Excel(4) (データの並べ替えと抽出)	事前 教科書の内容を予習してくる(45 分) 事後 レポート課題に取り組む(30 分)	

12	PowerPoint (1) (PowerPoint でできること・基本操作)	事前 教科書の内容を予習してくる(45分) 事後 レポート課題に取り組む(30分)
13	PowerPoint (2) (文字入力・編集、図形と画像配置、効果的なプレゼン資料の作り方とスライドショー)	事前 教科書の内容を予習してくる(45分) 事後 レポート課題に取り組む(30分)
14	情報倫理とネチケット	事前 情報社会における危険、脅威を調査(45分) 事後 レポート課題に取り組む(30分)
15	まとめ	事前 教科書を確認し、これまで学んだことを整理する(60分) 事後 これまで学んだことをどのように大学生生活に活用するのかを考える(30分)

準備学習・事後学習等についての補足説明

Office ソフトの内容は非常に豊富で多様化になっており、講義だけでは説明しきれないです。自分で興味をもって継続に実習と練習する必要があります。よって、授業以外でパソコンを使って、できる限り練習するようにしてください。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)

日常の受講状況	情報処理に関するレポートの内容		
30%	70%		

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
ワード・エクセル・パワーポイント超入門 Office 2021/Microsoft 365 対応	早田絵里・大石賢治	SB クリエイティブ ISBN-13 978-4815616168

参考書又は参考資料等

Word、Excel と PowerPoint の参考書が多くあり、いろいろな参考書を読んでください。

その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕

講義内容が理解できないときに、遠慮なく、担当教員に聞いてください。無断欠席しないでください。レポートの提出は時間厳守すること。レポートは返却しません。

担当教員の連絡先等

教員 E-mail	その他
	講義の方式、進め方などに関する提案がありましたら、担当教員へ。

授業科目名	情報処理演習Ⅱ		
担当者名	久保 昂大	実務家教員	
授業コード	1200008001	授業形態	演習
学年	カリキュラムにより異なります。	開講期	後期
単位数	1 単位	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP4-1-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	情報処理演習ⅠとⅡから構成されている。情報処理演習Ⅱでは、表計算ソフトの活用方法、データ分析の基礎を学ぶ。また、データサイエンスについて触れ、大学のみならずビジネス社会で必要不可欠なコンピュータリテラシーをトータルで身につける。授業形態は演習である。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ul style="list-style-type: none"> ・人を対象に、調査を実施することができる。 ・得られたデータを分析することができる。 ・分析したデータが示す発見や意味を読み取ることができる。 ・自身の調査内容・分析内容 ・結果の解釈を発信することができる(Web ページやプレゼン) 		
授業計画		準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間	
1	オリエンテーション	事前 前期の授業内容を振り返ってくる(30分) 事後 講義内容を振り返り、理解を深める(30分)	
2	アンケート調査実施方法	事前 身近なアンケート調査にはどのようなものがあるかを調べてくる(30分) 事後 講義内容を振り返り、理解を深める(30分)	
3	実際に調査票を作成してみよう	事前 質問項目を考えてくる(30分) 事後 ワードを使用して調査票を作成する(45分)	
4	データとは？1	事前 事前に提示する予習内容を調べてくる(30分) 事後 講義内容を振り返り、理解を深める(30分)	
5	データとは？2	事前 事前に提示する予習内容を調べてくる(30分) 事後 講義内容を振り返り、理解を深める(30分)	
6	代表値・分散・グラフ	事前 事前に提示する予習内容を調べてくる(30分) 事後 講義内容を振り返り、理解を深める(30分)	
7	共分散・相関係数	事前 調査のテーマ案を考えてくる(30分) 事後 グループ活動で決めた調査と分析を実施(90分)	
8	グループ活動(調査の内容・アンケートの内容・分析手法などの決定)	事前 調査テーマを考えてくる(30分) 事後 PowerPoint で発表資料を作る(45分)	
9	RとRstudioの使い方	事前 事前に提示する資料を確認してくる(30分) 事後 授業で行なった演習を実践する(45分)	
10	Rでグラフを作ってみよう1	事前 事前に提示する資料を確認してくる(30分) 事後 授業で行なった演習を実践する(45分)	
11	グループ活動(分析内容をまとめる)	事前 調査データをまとめてくる 事後 分析結果をもとに発表スライドを作成	
12	Rでグラフを作ってみよう2	事前 事前に提示する資料を確認してくる(30分) 事後 授業で行なった演習を実践する(45分)	

13	Rmarkdown を使って再現可能なレポートを書いてみよう1	事前 事前に提示する資料を確認してくる(30分) 事後 授業で行なった演習を実践する(45分)
14	Rmarkdown を使って再現可能なレポートを書いてみよう2	事前 発表準備をしてくる(30分) 事後 授業で行なった演習を実践する(30分)
15	発表・まとめ	事前 保存データの整理(60分) 事後 保存データの整理・応用実践(90分)
準備学習・事後学習等についての補足説明		
後半の授業では、グループで調査を実施し、その結果を分析して発表してもらいます。発表準備の進捗によっては、授業外の時間に準備をしてもらう可能性があります。		
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)		
提出物など日常の受講状況	グループ活動	
50	50	
使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
参考書又は参考資料等		
資料を必要に応じて配布いたします。		
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕		
学習計画は予定であり、学生の皆さんの理解度に合わせて変更する可能性があります		
担当教員の連絡先等		
教員 E-mail	その他	
	学習計画は予定であり、学生の皆さんの理解度に合わせて変更する可能性があります	

授業科目名	健康スポーツ科学		
担当者名	久保 昂大	実務家教員	
授業コード	1200086001	授業形態	演習
学年	1年	開講期	後期
単位数	1単位	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP1-1-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	個に応じた全面的な体づくりを行うとともにそれぞれの生活の中で計画的に実践していくことができる資質や能力を育成する。そこでは疲労回復、体調維持、健康の保持増進、基礎的体力(筋力、持久力、瞬発力、柔軟性、調整力)の向上をねらい、そしてスポーツ種目における基礎的運動能力の向上という観点から、様々な運動やトレーニング、レクリエーションスポーツなどを取りあげ実践していく。本授業では、生涯にわたってスポーツに親しんで楽しく実践できるよう様々なスポーツを体験し他人との協力や思いやり、協調性をはぐくむことを目的とする。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ul style="list-style-type: none"> ・自身の健康の維持・増進に役立つ知識について説明できるようになる。 ・自身の健康の維持・増進に必要なライフスキルを獲得する。 		
授業計画		準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間	
1	ガイダンス	事前 健康やスポーツについて学ぶ意義について考えてくる(45分) 事後 授業内容を整理する(45分)	
2	身体測定 1	事前 測定方法について予習してくる(45分) 事後 授業で実施した測定方法について復習する(45分)	
3	身体測定 2	事前 測定方法について予習してくる(45分) 事後 授業で実施した測定方法について復習する(45分)	
4	目標設定トレーニング1	事前 先週までの身体測定の結果を整理してくる(45分) 事後 授業の内容をもとに目標を設定する(45分)	
5	目標設定トレーニング 2	事前 あらかじめ提示した内容を予習してくる(45分) 事後 授業の内容を整理する(45分)	
6	リーダーシップスキルトレーニング 1	事前 あらかじめ提示した資料を予習してくる(45分) 事後 授業の内容を整理する(45分)	
7	リーダーシップスキルトレーニング 2	事前 あらかじめ提示した資料を予習してくる(45分) 事後 授業の内容を整理する(45分)	
8	ベースボール型競技	事前 ベースボール 5 のルールを予習してくる(45分) 事後 チーム活動での反省点をまとめる(45分)	
9	ベースボール型競技	事前 キックベースのルールを予習してくる(45分) 事後 チーム活動での反省点をまとめる(45分)	
10	ゴール型競技	事前 ネットボールのルールを予習してくる(45分) 事後 チーム活動での反省点をまとめる(45分)	
11	ゴール型競技	事前 スポーツ鬼ごっこのルールを予習してくる(45分) 事後 チーム活動での反省点をまとめる(45分)	
12	レクリエーションスポーツ	事前 モルックのルールを予習してくる(45分) 事後 チーム活動での反省点をまとめる(45分)	

13	レクリエーションスポーツ	事前 ボッチャのルールを予習してくる(45分) 事後 チーム活動での反省点をまとめてくる(45分)
14	ネット型競技	事前 ソフトバレーボールのルールを予習してくる(45分) 事後 チーム活動での反省点をまとめてくる(45分)
15	まとめ	事前 これまでの授業内容をまとめてくる(45分) 事後 本授業で学んだことをこれからの生活にどのように活かしていくかをまとめる(45分)
準備学習・事後学習等についての補足説明		
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)		
レポート	授業態度・参加姿勢	
60%	40%	
使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
教科書は使用しない		
参考書又は参考資料等		
テキストに基づいて講義を進めるが、別に適時資料を配布する。		
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕		
担当教員の連絡先等		
教員 E-mail	その他	

授業科目名	実用英語の基礎 I		
担当者名	梅崎 義雄	実務家教員	○
授業コード	1000008001	授業形態	演習
学年	1 年	開講期	前期
単位数	1 単位	履修	卒業・理学療法士・作業療法士 必修
ナンバリング	DP1-1-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>グローバル化の進む日本社会は、英語の基礎的なコミュニケーション能力をもつリハビリテーションのスペシャリストを求めている。この講義では、多様化する現代の医療とリハビリテーションをテーマにして、受講者の英語脳を育てていく。英語の一区切りの文は、基本的には、わずか3つの品詞(名詞、動詞、形容詞)を使った5種類の文で構成されている。複雑に見える文も、これらに副詞や前置詞句を足す事によってできている。英語のコミュニケーションで大切なのは、動詞によって決まるこれら5つの文型を順序よく、正しい発音で発話し、文章化するスキルである。本講義では、海外での職務経験を有する教員が、日本語にはない英語独特の音を口の形と舌の位置で正しく発音することにより自然とリスニング力も高まることを体験する。また、英語の音とスペル(つづり)の関係性を学び、1つの基本単語から派生する単語を学び、語彙力もあげていく。</p>		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語独特の音を出せるようになり、その音に対するリスニング力をあげる。 2. 英語の音とスペル(つづり)の関係性を学ぶ。 3. 基本単語とその派生語の関係性を学ぶ。 4. 動詞によって決まる5つの文型を書き、発話できるようになる。 5. 5つの文型を更に、副詞や前置詞句を使って発展させる。 		
授業計画		準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間	
1	Orientation and Get to Know Each Other 文法、発音、会話	<p>事前:UNIPA で配布したプリントで、文型及び音とつづりの関係を考える。(45分)</p> <p>事後:講義で理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)</p>	
2	Where You Have Pain 文法、発音、会話	<p>事前:UNIPA で配布したプリント内の知らない単語の意味を調べる。(45分)</p> <p>事後:講義で理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)</p>	
3	Higher Brain Dysfunction 語彙強化、読解、聴解	<p>事前:UNIPA で配布したプリント内の知らない単語の意味を調べる。(45分)</p> <p>事後:講義で理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)</p>	
4	Describe One's Pain Part1 文法、発音、会話	<p>事前:UNIPA で配布したプリント内の知らない単語の意味を調べる。(45分)</p> <p>事後:講義で理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)</p>	

5	Describe One's Pain Part2 文法、発音、会話	事前:UNIPA で配布したプリント内の知らない単語の意味を調べる。(45分) 事後:講義で理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)
6	Parkinson's Disease Part1 語彙強化、読解、聴解	事前:UNIPA で配布したプリント内の知らない単語の意味を調べる。(45分) 事後:講義で理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)
7	Parkinson's Disease Part2 語彙強化、読解、聴解	事前:UNIPA で配布したプリント内の知らない単語の意味を調べる。(45分) 事後:講義で理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)
8	Development of Pain 文法、発音、会話	事前:UNIPA で配布したプリント内の知らない単語の意味を調べる。(45分) 事後:講義で理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)
9	Osteoporosis Part1 語彙強化、読解、聴解	事前:UNIPA で配布したプリント内の知らない単語の意味を調べる。(45分) 事後:講義で理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)
10	Osteoporosis Part2 語彙強化、読解、聴解	事前:UNIPA で配布したプリント内の知らない単語の意味を調べる。(45分) 事後:講義で理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)
11	Giving Directions for Bodily Positions Part1 文法、発音、会話	事前:UNIPA で配布したプリント内の知らない単語の意味を調べる。(45分) 事後:講義で理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)
12	Cerebral Apoplexy Part1 語彙強化、読解、聴解	事前:UNIPA で配布したプリント内の知らない単語の意味を調べる。(45分) 事後:講義で理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)
13	Cerebral Apoplexy Part2 語彙強化、読解、聴解	事前:UNIPA で配布したプリント内の知らない単語の意味を調べる。(45分) 事後:講義で理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)
14	Giving Directions for Bodily Positions Part2 文法、発音、会話	事前:UNIPA で配布したプリント内の知らない単語の意味を調べる。(45分) 事後:講義で理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)

15	Giving Directions for Bodily Positions Part3 文法、発音、会話	事前:UNIPA で配布したプリント内の知らない単語の意味を調べる。(45分) 事後:講義で理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)	
準備学習・事後学習等についての補足説明			
「アイデアノート」用 A4 ノートを準備してください。PC で作成しても構いません。半期終了時、提出してもらいます。			
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)			
定期試験	授業への取組み姿勢	アイデアノート	
55%	20%	25%	
使用テキスト			
書籍名	著者	出版社	
使用しない(都度資料を配布)			
参考書又は参考資料等			
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕			
アイデアノートの作成を課します。クリエイティビティ(図表やイラストなど)や独創性も評価します。			
担当教員の連絡先等			
教員 E-mail	その他		

授業科目名	英会話 I		
担当者名	ロバートサムナー	実務家教員	
授業コード	1200108003	授業形態	演習
学年	1年	開講期	前期
単位数	1単位	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP-1-1-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	この授業では、日常生活や医療現場において、英語でコミュニケーションを取ることができるようになることを目的に、ボキャブラリや文法はもちろん、スピーキングに力を入れて授業を進めていきます。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ul style="list-style-type: none"> ・英語に興味を持ち、基本的な日常会話や医療の場で英語が使えるようになる。 ・英語を使うことに自信を持つ。 		
授業計画	準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間		
1	自己紹介・あいさつ・よくある質問の答え方	復習(180分) 授業で使用した英語表現や単語等をノートにまとめ、音読練習を行う。	
2	現在形・習慣について話そう	予習(60分) 前回のノートの英語表現や単語を確認する。 復習(120分) 授業で使用した英語表現や単語等をノートにまとめ、音読練習を行う。	
3	過去形・医学的状況で使う動詞、説明	予習(60分) 前回のノートの英語表現や単語を確認する。 復習(120分) 授業で使用した英語表現や単語等をノートにまとめ、音読練習を行う。	
4	for や since を使った現在完了・病気や怪我について(1)	予習(60分) 前回のノートの英語表現や単語を確認する。 復習(120分) 授業で使用した英語表現や単語等をノートにまとめ、音読練習を行う。	
5	計画や予定(will や going to を使った未来形)・病気や怪我について(2)	予習(60分) 前回のノートの英語表現や単語を確認する。 復習(120分) 授業で使用した英語表現や単語等をノートにまとめ、音読練習を行う。	
6	量や数(How much, How many)・医学句動詞	予習(60分) 前回のノートの英語表現や単語を確認する。 復習(120分) 授業で使用した英語表現や単語等をノートにまとめ、音読練習を行う。	
7	仮定法(可能性の高い)・Has got(病気や怪我の時に使う)	予習(60分) 前回のノートの英語表現や単語を確認する。 復習(120分) 授業で使用した英語表現や単語等をノートにまとめ、音読練習を行う。	
8	仮定法(可能性の低い)・Should(医学的状況でのアドバイス時に使う)	予習(60分) 前回のノートの英語表現や単語を確認する。 復習(120分) 授業で使用した英語表現や単語等をノートにまとめ、音読練習を行う。	
9	助動詞(未来の可能性)・健康についての複合名詞	予習(60分) 前回のノートの英語表現や単語を確認する。 復習(120分) 授業で使用した英語表現や単語等をノートにまとめ、音読練習を行う。	
10	助動詞(必要性や義務)・医学形容詞	予習(60分) 前回のノートの英語表現や単語を確認する。 復習(120分) 授業で使用した英語表現や単語等をノートにまとめ、音読練習を行う。	

11	丁寧に尋ねる・よくある症状	予習(60分)前回のノートの英語表現や単語を確認する。 復習(120分)授業で使用した英語表現や単語等をノートにまとめ、音読練習を行う。
12	比較級と最上級・医療器具	予習(60分)前回のノートの英語表現や単語を確認する。 復習(120分)授業で使用した英語表現や単語等をノートにまとめ、音読練習を行う。
13	直接話法と間接話法・病歴やライフスタイル	予習(60分)前回のノートの英語表現や単語を確認する。 復習(120分)授業で使用した英語表現や単語等をノートにまとめ、音読練習を行う。
14	動詞+ingと動詞+不定詞・一般的な病気や疾患(1)	予習(60分)前回のノートの英語表現や単語を確認する。 復習(120分)授業で使用した英語表現や単語等をノートにまとめ、音読練習を行う。
15	可算名詞と不可算名詞・一般的な病気や疾患(2)	予習(60分)前回のノートの英語表現や単語を確認する。 復習(120分)授業で使用した英語表現や単語等をノートにまとめ、音読練習を行う。
準備学習・事後学習等についての補足説明		
授業中に予習・復習について指示します。		
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)		
筆記	授業態度	
50%	50%	
使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
毎回プリントを配布します。		
参考書又は参考資料等		
必要に応じてプリントを配布します。		
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕		
担当教員の連絡先等		
教員 E-mail	その他	

授業科目名	実用英語の基礎Ⅱ		
担当者名	梅崎 義雄	実務家教員	○
授業コード	1000009001	授業形態	演習
学年	1年	開講期	後期
単位数	1単位	履修	卒業・理学療法士・作業療法士 選択必修
ナンバリング	DP1-1-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>実用英語の基礎Ⅰに引き続き、海外での職務経験を有する教員が、多様化する現代のリハビリテーションについて、テーマを変えて、受講者の英語脳をさらに育てていく。この講義では、英語のコミュニケーションに幅や奥深さをつけるために必要な品詞について学ぶ。これらの品詞は、それぞれに役割があり、文型や他の品詞との関係で置く場所が決まる。これは、会話や文を書く際に、大切である。前期でマスターした5つの文型にこの知識を加えることにより、英語力の幅や奥深さが育つ。さらに、発話の際のリズムやアクセントを学ぶことにより、より自然な会話が楽しめるようになる。本講義では、実用英語の基礎Ⅰでカバーできなかった英語独特の音の数を増やして、さらに学ぶ。</p>		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語独特の音を出せるようになり、その音に対するリスニング力をあげる。 2. 英語の音とスペル(つづり)の関係性を学ぶ。 3. 基本単語とその派生語の関係性を学ぶ。 4. 動詞によって決まる5つの文型を書き、発話できるようになる。 5. 5つの文型を更に、副詞や前置詞句を使って発展させる。 6. 文中の単語の位置や句の中でのその位置から単語の品詞を判定できるようになる。 		
授業計画		準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間	
1	<p>文中の品詞判定の鉄則を学ぼう</p> <p>Cardiovascular Disease Part1 語彙強化、読解、聴解</p>	<p>事前:UNIPA で配布したプリントで、文中の品詞判定の鉄則を考える。(45分)</p> <p>事後:講義で理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)</p>	
2	<p>Cardiovascular Disease Part2 語彙強化、読解、聴解</p>	<p>事前:UNIPA で配布したプリント内の知らない単語の意味を調べる。(45分)</p> <p>事後:講義で理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)</p>	
3	<p>Cardiovascular Disease Part3 語彙強化、読解、聴解</p>	<p>事前:UNIPA で配布したプリント内の知らない単語の意味を調べる。(45分)</p> <p>事後:講義で理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)</p>	
4	<p>Health Condition Part1 文法、発音、会話</p>	<p>事前:UNIPA で配布したプリント内の知らない単語の意味を調べる。(45分)</p> <p>事後:講義で理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)</p>	

5	Health Condition Part2 文法、発音、会話	事前:UNIPA で配布したプリント内の知らない単語の意味を調べる。(45分) 事後:講義で理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)
6	Diabetes Mellitus Part1 語彙強化、読解、聴解	事前:UNIPA で配布したプリント内の知らない単語の意味を調べる。(45分) 事後:講義で理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)
7	Diabetes Mellitus Part2 語彙強化、読解、聴解	事前:UNIPA で配布したプリント内の知らない単語の意味を調べる。(45分) 事後:講義で理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)
8	Diabetes Mellitus Part3 語彙強化、読解、聴解	事前:UNIPA で配布したプリント内の知らない単語の意味を調べる。(45分) 事後:講義で理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)
9	Diabetes Mellitus Part4 語彙強化、読解、聴解	事前:UNIPA で配布したプリント内の知らない単語の意味を調べる。(45分) 事後:講義で理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)
10	Flexibility Part1 文法、発音、会話	事前:UNIPA で配布したプリント内の知らない単語の意味を調べる。(45分) 事後:講義で理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)
11	Flexibility Part2 文法、発音、会話	事前:UNIPA で配布したプリント内の知らない単語の意味を調べる。(45分) 事後:講義で理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)
12	Flexibility Part3 文法、発音、会話	事前:UNIPA で配布したプリント内の知らない単語の意味を調べる。(45分) 事後:講義で理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)
13	Respiratory Disease Part1 語彙強化、読解、聴解	事前:UNIPA で配布したプリント内の知らない単語の意味を調べる。(45分) 事後:講義で理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)
14	Respiratory Disease Part2 語彙強化、読解、聴	事前:UNIPA で配布したプリント内の知らない単語の意味を調べる。(45分) 事後:講義で理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)

15	Respiratory Disease Part3 語彙強化、読解、聴解	事前:UNIPA で配布したプリント内の知らない単語の意味を調べる。(45分) 事後:講義で理解した内容をアイデアノートにまとめる。(45分)	
準備学習・事後学習等についての補足説明			
「アイデアノート」用 A4 ノートを準備してください。PC で作成しても構いません。半期終了時、提出してもらいます。			
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)			
定期試験	授業への取組み姿勢	アイデアノート	
55%	20%	25%	
使用テキスト			
書籍名	著者	出版社	
使用しない(都度資料を配布)			
参考書又は参考資料等			
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕			
アイデアノートの作成を課します。クリエイティビティ(図表やイラストなど)や独創性も評価します。			
担当教員の連絡先等			
教員 E-mail	その他		

授業科目名	英会話Ⅱ		
担当者名	神崎 淳子	実務家教員	○
授業コード	1200112001	授業形態	演習
学年	1年	開講期	後期
単位数	1単位	履修	卒業・理学療法士・作業療法士 選択必修
ナンバリング	DP1-1-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	前期の授業で習熟したリスニング、スピーキングスキルをさらに高め、身近な医療関連のトピックについて読んで理解できるようにする。さらに、自分の意見を書くことができるようにする。以上により、理学療法士あるいは作業療法士として、現場での基礎的なライティングスキルを含めた英語コミュニケーション能力を養う。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	① 医療関連の英単語を発音し聞き取れる。 ② 会話時に必要なフレーズや自分の意思や意見を表現する簡単なフレーズが発話できるようになる。 ③ 様々な医療に関する英文を読んだり、書いたりするための基礎文法をマスターする。		
授業計画		準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間	
1	Lesson 12 筋力を測定してみよう	事後学習:Unit12 の会話をダウンロードし、シャドーイング・ディクテーション練習をする (45分)	
2	Lesson 13 触覚検査をしてみよう	事後学習:Unit13 の会話をダウンロードし、シャドーイング・ディクテーション練習をする (45分)	
3	Lesson 14 バランスを検査してみよう	事後学習:Unit14 の会話をダウンロードし、シャドーイング・ディクテーション練習をする (45分)	
4	Lesson 15 歩行評価をしてみよう	事後学習:Unit15 の会話をダウンロードし、シャドーイング・ディクテーション練習をする (45分)	
5	Lesson 16 ホームエクササイズを指導してみよう	事後学習:Unit16 の会話をダウンロードし、シャドーイング・ディクテーション練習をする (45分)	
6	Lesson 17 RICE 処置を指導してみよう	事後学習:Unit17 の会話をダウンロードし、シャドーイング・ディクテーション練習をする (45分)	
7	Lesson12-Lesson17 のまとめ Presentaiton の準備	事前学習:プレゼンテーションの準備を行う (45分)	
8	Presentation ペアで会話の発表	事前学習:プレゼンテーションの反省および Unit12-17 の復習を行う(45分)	
9	Lesson 18 移乗動作の練習をしてみよう	事後学習:Unit18 の会話をダウンロードし、シャドーイング・ディクテーション練習をする (45分)	
10	Lesson 19 食事の評価と指導をしてみよう	事後学習:Unit19 の会話をダウンロードし、シャドーイング・ディクテーション練習をする (45分)	
11	Lesson 20 適切な歩行補助具を選択してみよう	事後学習:Unit20 の会話をダウンロードし、シャドーイング・ディクテーション練習をする (45分)	
12	Lesson 21 自宅のトイレを改修してみよう	事後学習:Unit21 の会話をダウンロードし、シャドーイング・ディクテーション練習をする (45分)	
13	Lesson 22 退院後の生活指導をしてみよう	事後学習:Unit22 の会話をダウンロードし、シャドーイング・ディクテーション練習をする (45分)	
14	Lesson18-Lesson22 のまとめ Presentaiton の準備	事前学習:プレゼンテーションの準備を行う (45分)	

15	Presentation ペアで会話の発表 Review Lesson 12-2 2	事後学習:プレゼンテーションの反省および Unit18-22 の復習を行い、試験に備える (45 分)		
準備学習・事後学習等についての補足説明				
<ul style="list-style-type: none"> ・授業 2 回目以降は、毎回英単語の小テストを行います。 ・ダウンロードした音源を使ってシャドーイング・ディクテーションの練習を行い、スピーキングおよびライティングのスキルを伸ばします。 				
成績評価の方法[評価項目と割合] ※上段:評価項目、下段:割合(%)				
定期試験	英語プレゼンテーション	小テスト	提出物	
50%	30%	10%	10%	
使用テキスト				
書籍名	著者	出版社		
PT・OT が書いたリハビリテーション英会話	三木貴弘など	メジカルビュー社		
参考書又は参考資料等				
breaking news english、cnn など				
その他[受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて]				
<ul style="list-style-type: none"> ・辞書は紙辞書でも電子辞書でもいいので必ず持参してください。 ・携帯電話やスマートフォンの電源は授業前に必ず切ってください。 				
担当教員の連絡先等				
教員 E-mail	その他			

授業科目名	フランス語の基礎		
担当者名	Comont Thierry	実務家教員	
授業コード	1200109001	授業形態	演習
学年	2年	開講期	前期
単位数	1単位	履修	卒業・理学療法士・作業療法士 選択必修
ナンバリング	DP1-2-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	対話形式で行う。ABC(ア、ベ、セーと発音する)から始めて、より複雑な構文の知識までを体系的に学習していくが、あわせて仏文和訳、和文仏訳および基本的なフランス語によるコミュニケーションの練習を行う。また、フランスという国の現状やフランス人の生活など文化的な特徴にも触れる。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	平易な文章を読みこなせるようになる。基本的な聴き取り能力や会話能力を身に付ける。生きたフランス語の世界に触れ、同時にフランスの豊かな文化や歴史、そしてフランスの社会の現在の姿を知る。具体的には:1. フランス語の発音がきちんとできるようになる。2. 簡単なコミュニケーションができるようになる。		
授業計画	準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間		
1	初対面/自己紹介(やり方)	事後:自己紹介の会話を3回書く。(45分)	
2	自己紹介(実践)/子音と母音/子音の役割/音節とは	事前:自己紹介を復習する。子音と母音の違いを調べる(定義)。(45分)	
3	フランス語の成り立ち/アルファベット/"w"と"y"	事前:フランス語の成り立ちを調べる(15分) 事後:フランス語でアルファベットの発音練習をする。(30分)	
4	アルファベットの書き方/フランス語の母音	事後:フランス語の母音の発音を練習する。(45分)	
5	挨拶/フランスという国/数字:0~20	事前:インターネットのWikipedia等で、フランスの基本情報を読んでおく。(15分) 事後:フランス語の挨拶と20までの数字を言えるまで練習する。(30分)	
6	フランス語の子音/名詞の性/文章の基本構成	事後:ノートを活用し、今まで習った事を復習する。(45分)	
7	プリント(動詞/単語)/ETRE/指示形容詞/所有形容詞[単数]	事後:1)ETREの現在形を復習する。(30分) 2)宿題:ETRE動詞を使って、文章を5個作成する。(30分)	
8	AVOIR/IL Y A~/ALLER/~から~まで	事後:1)AVOIRとALLERの現在形を復習する。(20分) 2)宿題:AVOIRとALLER動詞を使って、文章を3個ずつ作成する。(40分)	
9	VENIR/ここ、そこ、あそこ/否定形	事後:1)VENIRの現在形を復習する。(30分) 2)宿題:VENIR動詞を使って、文章を3個(肯定文と否定文)作成する。(40分)	
10	中間テスト(20分)/FAIRE/天気の実現	事前:今まで習った事を復習する。(15分) 事後:宿題:FAIRE動詞を使って、文章を5個作成する。(30分)	

11	形容詞:位置と変化/SAVOIR/CONNAITRE	事後:1)SAVOIRとCONNAITREの現在形を復習する。 (15分) 2)宿題:SAVOIRとCONNAITRE動詞を使って、文章を3個ずつ作成する。(30分)
12	COMPRENDRE/とても/たくさん	事後:1)COMPRENDREの現在形を復習する。(20分) 2)宿題:COMPRENDRE動詞を使って、文章を5個作成する。(25分)
13	冠詞(不定/定/部分)/VOULOIR/POUVOIR	事後:1)VOULOIRとPOUVOIRの現在形を復習する。 (20分) 2)宿題:VOULOIRとPOUVOIR動詞を使って、文章を3個ずつ作成する。(25分)
14	ETREとIL Y A/数字:21以上/所有形容詞[複数]	事前:ETREとAVOIRと20までの数字を復習する。 (15分) 事後:今まで習った事を復習する。(30分)
15	現在形(-er動詞[基本的な活用])/前期のまとめ	事前:ノートやプリントを読みなおし、最後の授業で質問するため、疑問点をリストにする。(45分) 事後:ノートやプリントを活用し、講義全体を復習する。 (90分)

準備学習・事後学習等についての補足説明

1. 予習は特に必要ないが、復習は必ず行うこと。
2. 文章作成の宿題を提出すること。添削後返却するので、活用すること。

成績評価の方法[評価項目と割合]※上段:評価項目、下段:割合(%)

宿題提出	中間テスト	定期試験	
10%	20%	70%	

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
使用しない(プリントを配布する)		

参考書又は参考資料等

最初の授業の時に紹介する

その他[受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて]

言葉は実戦で身に付けるものなので、習った事を使ったり、分からない時は質問をしたりして、授業中は積極的に取り組んでほしい。

担当教員の連絡先等

教員 E-mail	その他
	講義終了後の質問等対応可

授業科目名	中国語の基礎		
担当者名	鳥丸 知子	実務家教員	
授業コード	1200110001	授業形態	演習
学年	2年	開講期	前期
単位数	1単位	履修	卒業・理学療法士・作業療法士 選択必修
ナンバリング	DP1-2-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	中国語の発音・文法の基礎を習得する。簡単な日常会話に身につきレベルまで到達することを目標とする。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	簡単な日常会話で話せ、聴き取れるレベルまで到達する。同時に、中国の文化を知り、異文化に対する理解を深め、異文化コミュニケーション能力を身につける。		
授業計画		準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間	
1	オリエンテーション:この講義の目的と講義内容の紹介及び学習方法についての説明。中国語概説:中国語について。	事前:「中国語」とは何か、について調べておくこと(30分) 事後:講義内容の復習(30分)	
2	発音(1)声調、単母音、複母音、無気音と有気音、そり舌音	事前:テキスト指定範囲(授業時に通知)を通読すること(30分) 事後:授業内容の復習(30分)	
3	発音(2)鼻音を伴う母音、声調の変化、軽声	事前:テキスト指定範囲(授業時に通知)を通読すること(30分) 事後:授業内容の復習(30分)	
4	第1課:初対面の挨拶を学ぶ。断定動詞「是」、「不是」、「也是」、人称代名詞等。	事前:テキスト指定範囲(授業時に通知)を通読すること(30分) 事後:授業内容の復習(30分)	
5	引き続き第1課。初対面の挨拶ができるように繰り返しの朗読及び復唱する。	事前:テキスト指定範囲(授業時に通知)を通読すること(30分) 事後:授業内容の復習(30分)	
6	第2課:尋ね方と答え方を学ぶ。これ、それ、あれの言い方。日常的によく使う呼称について説明する。	事前:テキスト指定範囲(授業時に通知)を通読すること(30分) 事後:授業内容の復習(30分)	
7	引き続き第2課。尋ね方と答え方を復習する一方、よく使う呼称を使って挨拶の練習をする。	事前:テキスト指定範囲(授業時に通知)を通読すること(30分) 事後:授業内容の復習(30分)	
8	第3課:形容詞の学習。形容詞の肯定形、否定形及び比較について説明し、基本文型を使って、形容詞の基本を覚える。	事前:テキスト指定範囲(授業時に通知)を通読すること(30分) 事後:授業内容の復習(30分)	
9	引き続き第3課。前回習った内容を復習しながら、基本文型を使って覚える。	事前:テキスト指定範囲(授業時に通知)を通読すること(30分) 事後:授業内容の復習(30分)	

10	第 4 課:数の数え方(指で中国式)月、日、曜日、時刻の言い方を学ぶ。	事前:テキスト指定範囲(授業時に通知)を通読すること(30分) 事後:授業内容の復習(30分)
11	引き続き第 4 課。特に曜日の言い方について、日本との比較を重点的に説明する。	事前:テキスト指定範囲(授業時に通知)を通読すること(30分) 事後:授業内容の復習(30分)
12	第 5 課:一般動詞を学ぶ。	事前:テキスト指定範囲(授業時に通知)を通読すること(30分) 事後:授業内容の復習(30分)
13	引き続き第 5 課。一般動詞の現在進行形の表現法。	事前:テキスト指定範囲(授業時に通知)を通読すること(30分) 事後:授業内容の復習(30分)
14	第 6 課:有る、在るの表現法。	事前:テキスト指定範囲(授業時に通知)を通読すること(30分) 事後:授業内容の復習(30分)
15	引き続き第 6 課。有る、在るについて復習する。	事前:テキスト指定範囲(授業時に通知)を通読すること(30分) 事後:授業内容の復習(30分)

準備学習・事後学習等についての補足説明

単語帳を作成し、簡体字表記や発音の練習及び意味の理解に努めること。

成績評価の方法[評価項目と割合]※上段:評価項目、下段:割合(%)

授業への取り組み	定期試験		
60%	40%		

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
《新板》中国語 10 課	方如偉・王智新・鐙屋 一	白水社

参考書又は参考資料等

「どんと来い中国語」 <https://dokochina.com/ime.htm>

その他[受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて]

発言時間を多く設け、会話練習を中心に授業を進める。

担当教員の連絡先等

教員 E-mail	その他
非公開とする。	授業終了後 10 分間は、教室にて待機。

授業科目名	韓国語の基礎		
担当者名	元 慶臣	実務家教員	
授業コード	1200111001	授業形態	演習
学年	2年	開講期	前期
単位数	1単位	履修	卒業・理学療法士、作業療法士 選択必修
ナンバリング	DP1-2-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	未習者を対象とした基礎から始める授業である。自然な発音が身に付けられるよう繰り返し発音練習をすることが本授業の主な内容である。さらにハングルの仕組みを覚え、特に日本語にはない音節に関しては、発音方法を理解した後、集中的に何度も聞き、また発音することにより、本学期中に韓国語の発音を体系的にマスターすることを目指す。簡単な文型や、日常的に使用されるあいさつフレーズを学習した後は、ペアワークやロールプレイなどの方式を用いて、実践形式の練習を行なう。また韓国の社会事情や文化なども学習し、韓国に対する理解を深めながら、韓国語の基礎的な能力の定着を図る。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	①ハングルを体系的にマスターする。(韓国語で基本的な読み書きが出来る) ②簡単なあいさつフレーズを発せられるようにする。 ③単語やフレーズについて、自然な発音ができるようにする。		
授業計画		準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間	
1	ガイダンス、1 授業の説明と朝鮮語概説、ハングル文字、子音14文字と基本母音10文字を覚える。	事前:テキスト指定範囲(掲示又は UNIPA にて通知)を通読しておくこと(30分) 事後:指定した用語を調べ解釈を加えたノートを作成(30分)	
2	ハングル文字の書き順を覚え、発生の聞き取りを練習する。	事前:テキスト指定範囲(掲示又は UNIPA にて通知)を通読しておくこと(30分) 事後:指定した用語を調べ解釈を加えたノートを作成(30分)	
3	平音・激音・濃音などの音の違いを学び、発音を練習する。	事前:テキスト指定範囲(掲示又は UNIPA にて通知)を通読しておくこと(30分) 事後:指定した用語を調べ解釈を加えたノートを作成(30分)	
4	パッチム1(終音子音)がつくハングル文字の発声を練習する。	事前:テキスト指定範囲(掲示又は UNIPA にて通知)を通読しておくこと(30分) 事後:指定した用語を調べ解釈を加えたノートを作成(30分)	
5	パッチム2(終音子音)がつくハングル文字の発声を練習する。	事前:テキスト指定範囲(掲示又は UNIPA にて通知)を通読しておくこと(30分) 事後:指定した用語を調べ解釈を加えたノートを作成(30分)	
6	音の変化、日常のあいさつ、数字	事前:テキスト指定範囲(掲示又は UNIPA にて通知)を通読しておくこと(30分) 事後:指定した用語を調べ解釈を加えたノートを作成(30分)	

7	小テスト、韓国映画、ドラマ鑑賞映画を鑑賞し、韓国語及び韓国人の生活を理解する。	事前:テキスト指定範囲(掲示又は UNIPA にて通知)を通読しておくこと(30分) 事後:指定した用語を調べ解釈を加えたノートを作成(30分)
8	教科書 第1課「こんにちは」	事前:テキスト指定範囲(掲示又は UNIPA にて通知)を通読しておくこと(30分) 事後:指定した用語を調べ解釈を加えたノートを作成(30分)
9	教科書 第2課「この人は誰ですか」	事前:テキスト指定範囲(掲示又は UNIPA にて通知)を通読しておくこと(30分) 事後:指定した用語を調べ解釈を加えたノートを作成(30分)
10	教科書 第3課「これは何ですか」	事前:テキスト指定範囲(掲示又は UNIPA にて通知)を通読しておくこと(30分) 事後:指定した用語を調べ解釈を加えたノートを作成(30分)
11	小テスト、韓国映画、ドラマ鑑賞映画を鑑賞し、韓国語及び韓国人の生活を理解する。	事前:テキスト指定範囲(掲示又は UNIPA にて通知)を通読しておくこと(30分) 事後:指定した用語を調べ解釈を加えたノートを作成(30分)
12	教科書 第4課「今どこに行きますか」	事前:テキスト指定範囲(掲示又は UNIPA にて通知)を通読しておくこと(30分) 事後:指定した用語を調べ解釈を加えたノートを作成(30分)
13	教科書 第5課「趣味は何ですか」	事前:テキスト指定範囲(掲示又は UNIPA にて通知)を通読しておくこと(30分) 事後:指定した用語を調べ解釈を加えたノートを作成(30分)
14	教科書 第6課「運動靴を買いたいです」	事前:テキスト指定範囲(掲示又は UNIPA にて通知)を通読しておくこと(30分) 事後:指定した用語を調べ解釈を加えたノートを作成(30分)
15	教科書 第7課「韓国料理は好きですか」	事前:テキスト指定範囲(掲示又は UNIPA にて通知)を通読しておくこと(30分) 事後:指定した用語を調べ解釈を加えたノートを作成(30分)

準備学習・事後学習等についての補足説明

語学の見、書く、聞く、話すを基本とした学習をするために沢山練習ノートに書いたり、自分の声を録音して聞き比べる。回数を重ねることに文字の奇麗さや発音の上達さを確かめる。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)

定期試験	レポート・発表	キーワードノートの完成度	授業への取り組み
50%	20%	20%	10%

使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
いよいよ韓国語	金菊熙	朝日出版社
参考書又は参考資料等		
日韓電子辞書(スマートフォン)		
その他[受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて]		
<p>沢山書いて覚える観点から講義ノート以外に専用練習ノートを作ります。毎回提出(成績評価対象)また自分が興味がある物について韓国語でPPTを作成し発表。やり方は授業中で説明します。(成績評価対象)授業についていけない学生には個別に別途の課題を出します。</p>		
担当教員の連絡先等		
教員 E-mail	その他	
	講義の前後 10 分間は非常勤講師控室で質疑等対応可。	

授業科目名	解剖学 I		
担当者名	片岡 真司	実務家教員	
授業コード	1200073001	授業形態	講義
学年	1年	開講期	前期
単位数	2単位	履修	卒業・理学療法士・作業療法士 必修
ナンバリング	DP2-1-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	医療職を目指す者にとって、解剖学は最も基礎的な学問で、人の体のことを学ぶ為の入り口である。人体各部の正常な構造ならびに形態を理解する。細胞、組織、器官および器官系など、人体を構成する基本的構造がいかに巧みに統合され機能しているかを理解する。以下、系統解剖学的観点から学習する。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	1)細胞・組織・器官:人体を構成する細胞・組織・器官の多様性への理解を深め、客観的に説明できるようになる。 2)骨格系:身体の運動や姿勢を支持する骨・靭帯の構造と機能への理解を深め、客観的に説明できるようになる。		
授業計画		準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間	
1	解剖学総論:解剖学とは、人体の概要と解剖学用語	事前:(教科書 p3-8)を通読しておくこと(90分) 事後:学習した解剖学用語の復習(90分)	
2	人体の構成:細胞	事前:(教科書 p9-12)を通読しておくこと(90分) 事後:学習した解剖学用語の復習(90分)	
3	人体の構成:組織、器官、器官系	事前:(教科書 p13-20)を通読しておくこと(90分) 事後:学習した解剖学用語の復習(90分)	
4	人体の発生:胚子の発生、器官系の発生、胎児の発生	事前:(教科書p21-36)を通読しておくこと(90分) 事前: 学習した解剖学用語の復習(90分)	
5	骨学総論:骨の形態、骨の構造、骨の血管と神経、骨の機能、骨の発生、骨のリモデリング	事前:(教科書 p37-45)を通読しておくこと(90分) 事後:学習した解剖学用語の復習(90分)	
6	骨学各論:頭蓋	事前:(教科書 p46-57)を通読しておくこと(90分) 事後:学習した解剖学用語の復習(90分)	
7	骨学各論:脊柱、胸郭とその連結	事前:(教科書 p58-67)を通読しておくこと(90分) 事後:学習した解剖学用語の復習(90分)	
8	骨学各論:上肢帯、上腕骨	事前:(教科書 p68-72)を通読しておくこと(90分) 事後:学習した解剖学用語の復習(90分)	
9	骨学各論:前腕骨、手	事前:(教科書 p72-77)を通読しておくこと(90分) 事後:学習した解剖学用語の復習(90分)	
10	骨学各論:下肢帯、骨盤	事前:(教科書 p78-82)を通読しておくこと(90分) 事後:学習した解剖学用語の復習(90分)	
11	骨学各論:自由下肢骨	事前:(教科書 p82-92)を通読しておくこと(90分) 事後:学習した解剖学用語の復習(90分)	
12	関節靭帯総論:骨の連結、関節の構造と機能	事前:(教科書 p97-104)を通読しておくこと(90分) 事後:学習した解剖学用語の復習(90分)	
13	関節靭帯各論:頭蓋の連結、脊柱、胸郭	事前:(教科書 p113-122)を通読しておくこと(90分) 事後:学習した解剖学用語の復習(90分)	

14	関節靭帯各論: 上肢の連結	事前: (教科書 p123-137)を通読しておくこと(90分) 事後: 学習した解剖学用語の復習(90分)	
15	関節靭帯各論: 下肢の連結	事前: (教科書 p137-154)を通読しておくこと(90分) 事後: 学習した解剖学用語の復習(90分)	
準備学習・事後学習等についての補足説明			
教科書、参考書、配布資料などを用いた準備学修・事後学修			
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段: 評価項目、下段: 割合(%)			
定期試験			
100%			
使用テキスト			
書籍名	著者	出版社	
標準理学療法学・作業療法学 解剖学 第5版	編集 野村 嗟	医学書院	
参考書又は参考資料等			
人体解剖カラーアトラス(南江堂)、分担解剖学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(金原書店)			
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕			
授業ではプリントに色を塗るなどの指示をすることがあるので、色鉛筆などの準備が望ましい。 人体解剖カラーアトラス(南江堂)、分担解剖学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(金原書店)の関連項目を学修する。			
担当教員の連絡先等			
教員 E-mail	その他		

授業科目名	解剖学Ⅱ		
担当者名	片岡 真司	実務家教員	
授業コード	1200074001	授業形態	講義
学年	1年	開講期	後期
単位数	2単位	履修	卒業・理学療法士・作業療法士 必修
ナンバリング	DP2-1-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	医療職を目指す者にとって、解剖学は最も基礎的な学問で、人の体のことを学ぶ為の入り口である。人体各部の正常な構造ならびに形態を理解する。細胞、組織、器官および器官系など、人体を構成する基本的構造がいかに巧妙に統合され機能しているかを理解する。以下、系統解剖学的観点から学習する。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	1) 筋肉系: 身体の運動や姿勢を支持する筋肉の構造と機能への理解を深め、客観的に説明できるようになる。 2) 神経系: 脳・脊髄およびこれに出入りする末梢神経系の構造と機能への理解を深め、客観的に説明できるようになる。		
授業計画		準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間	
1	筋学総論: 筋組織の種類と特徴、骨格筋の構造、骨格筋の作用	事前: (教科書 p161-176)を通読しておくこと(90分) 事後: 学習した解剖学用語の復習(90分)	
2	筋学各論 1: 上肢帯の筋、上腕の筋	事前: (教科書 p196-199)を通読しておくこと(90分) 事後: 学習した解剖学用語の復習(90分)	
3	筋学各論 2: 前腕の筋、手の筋	事前: (教科書 p199-210)を通読しておくこと(90分) 事後: 学習した解剖学用語の復習(90分)	
4	筋学各論 3: 下肢帯の筋、大腿の筋	事前: (教科書 p211-217)を通読しておくこと(90分) 事後: 学習した解剖学用語の復習(90分)	
5	筋学各論 4: 下腿の筋、足の筋	事前: (教科書 p217-227)を通読しておくこと(90分) 事後: 学習した解剖学用語の復習(90分)	
6	筋学各論 5: 頭部の筋、頸部の筋	事前: (教科書 p178-184)を通読しておくこと(90分) 事後: 学習した解剖学用語の復習(90分)	
7	筋学各論 6: 胸部の筋、腹部の筋、背部の筋	事前: (教科書 p184-196)を通読しておくこと(90分) 事後: 学習した解剖学用語の復習(90分)	
8	神経学総論 1: 神経系の区分、神経系の構成	事前: (教科書 p229-235)を通読しておくこと(90分) 事後: 学習した解剖学用語の復習(90分)	
9	神経学総論 2: 髄膜と脳室系、神経系の発生	事前: (教科書 p235-240)を通読しておくこと(90分) 事後: 学習した解剖学用語の復習(90分)	
10	中枢神経系 1: 脊髄、脳幹、小脳	事前: (教科書 p241-255)を通読しておくこと(90分) 事後: 学習した解剖学用語の復習(90分)	
11	中枢神経系 2: 大脳	事前: (教科書 p256-267)を通読しておくこと(90分) 事後: 学習した解剖学用語の復習(90分)	
12	中枢神経系 3: 神経路	事前: (教科書 p268-277)を通読しておくこと(90分) 事後: 学習した解剖学用語の復習(90分)	
13	末梢神経系 1: 脊髄神経	事前: (教科書 p278-300)を通読しておくこと(90分) 事後: 学習した解剖学用語の復習(90分)	

14	末梢神経系 2:脳神経	事前:(教科書 p300-311)を通読しておくこと(90分) 事後:学習した解剖学用語の復習(90分)	
15	末梢神経系 3:自律神経	事前:(教科書 p311-314)を通読しておくこと(90分) 事後:学習した解剖学用語の復習(90分)	
準備学習・事後学習等についての補足説明			
教科書、参考書、配布資料などを用いた準備学修・事後学修			
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)			
中間試験	定期試験		
50%	50%		
使用テキスト			
書籍名	著者	出版社	
標準理学療法学・作業療法学 解剖学 第5版	編集 野村 嗟	医学書院	
参考書又は参考資料等			
人体解剖カラーアトラス(南江堂)、分担解剖学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(金原書店)			
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕			
授業では配布資料に色を塗るなどの指示をすることがあるので、色鉛筆などの準備が望ましい。 人体解剖カラーアトラス(南江堂)、分担解剖学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(金原書店)の関連項目を学修する。			
担当教員の連絡先等			
教員 E-mail	その他		

授業科目名	生理学 I		
担当者名	太田 一樹	実務家教員	
授業コード	1200075001	授業形態	講義
学年	1 年	開講期	前期
単位数	2 単位	履修	卒業・理学療法士・作業療法士必修
ナンバリング	DP2-1-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>私たちの身体は非常に多くの細胞からできている。それぞれの細胞が集まってある特定の機能を持った器官を形成し、それらの器官が統合されて一人の身体を構成している。生理学は、細胞の機能から個体の行動に至るまでの正常な機能を理解する学問である。生理学 I では、生命単位である細胞を構成する細胞内小器官、細胞が生きていくのに必要な栄養を摂取する消化器系、酸素や二酸化炭素の運搬、凝固・線溶系などに関与している血液系、代謝に必要な酸素を摂取する呼吸器系、栄養素・酸素・老廃物などを運搬する循環器系、不必要な物質を排泄する腎・尿路系について学ぶ。生理学 I と生理学 II を通じて、私たち一人ひとりの人間の生命がどのように維持されているかについて具体的に理解する。</p>		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<p>学生は下記の到達目標を達成できる。</p> <p>(1)私たちの身体を構成する各臓器の働きについて説明できる。</p> <p>(2)細胞内小器官について、その役割を説明できる。</p> <p>(3)生体を構成している系の中でも、消化器系、血液系、呼吸器系、循環器系、腎・尿路系について、その機能を説明できる。</p> <p>(4)私たちの身体が如何に巧妙に協調して機能しているかを理解し、生命の貴重さを説明できる。</p>		
授業計画	準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間		
1	オリエンテーション、細胞内小器官	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
2	消化器系①(上部消化管)	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
3	消化器系②(下部消化管)	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
4	消化器系③(肝臓、胆嚢、膵臓)	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
5	血液系①(赤血球、白血球)	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
6	血液系②(血小板、血液凝固・線溶系)	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
7	循環器系①(心臓)	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
8	循環器系②(刺激伝導系)	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
9	循環器系③(血圧調節)	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
10	呼吸器系①(外呼吸・内呼吸)	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	

11	呼吸器系②(呼吸運動)	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
12	腎・尿路系①(腎臓、尿管、膀胱)	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
13	腎・尿路系②(尿の生成と体液調節)	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
14	酸塩基平衡	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
15	生理学 I のまとめ(生理学 I で学んだ臓器間の統合)	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
準備学習・事後学習等についての補足説明			
講義の前に授業のテーマについて、テキストを読み、質問事項を整理しておく。			
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)			
定期試験	授業への取組み		
70%	30%		
使用テキスト			
書籍名	著者	出版社	
標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 生理学 第5版	岡田隆夫 他2名	医学書院	
参考書又は参考資料等			
1. 標準生理学 第9版 本間研一監修 医学書院(2020年)			
2. 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学 人体の構造と機能 第3版 志村二三夫他編 羊土社(2020年)			
3. カラー図解 人体の正常構造と機能 改訂第4版 坂井建雄他編 日本医事新報社(2021年)			
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕			
講義中の私語は厳禁とします。他の受講生への影響を鑑みて退室を申し渡す場合もあります。			
担当教員の連絡先等			
教員 E-mail	その他		

授業科目名	生理学Ⅱ		
担当者名	太田 一樹	実務家教員	
授業コード	1200076001	授業形態	講義
学年	1年	開講期	後期
単位数	2単位	履修	卒業・理学療法士・作業療法士必修
ナンバリング	DP2-1-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>私たちの身体は非常に多くの細胞からできている。それぞれの細胞が集まってある特定の機能を持った器官を形成し、それらの器官が統合されて一人の身体を構成している。生理学は、細胞の機能から個体の行動に至るまでの正常な機能を理解する学問である。生理学Ⅱでは、生理学Ⅰで学んだ諸器官を統合する神経系や内分泌系、その指令で動く骨・筋肉系、種を維持するための生殖器系、感染などから私たちの身体を守る免疫系について学ぶ。生理学Ⅰと生理学Ⅱを通じて、私たち一人ひとりの人間の生命がどのように維持されているかについて具体的に理解する。</p>		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<p>学生は下記の到達目標を達成できる。</p> <p>(1)私たちの身体を構成する各臓器の働きについて説明できる。</p> <p>(2)生体を構成している系の中でも、骨・筋肉系、内分泌系、生殖器系、免疫系、神経系について、その機能を説明できる。</p> <p>(3)各臓器がどのように統合して生体の内部環境を維持しているのかを説明できる。</p> <p>(4)私たちの身体が如何に巧妙に協調して機能しているかを理解し、生命の貴重さを説明できる。</p>		
授業計画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1	骨系	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
2	筋肉系	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
3	骨代謝回転とカルシウム代謝	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
4	内分泌系①(視床下部・下垂体ホルモン)	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
5	内分泌系②(甲状腺、副腎)	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
6	内分泌系③(その他のホルモン)、生殖器系	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
7	免疫系	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
8	神経系①(中枢神経)	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
9	神経系②(神経系を構成する細胞、神経系の興奮)	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
10	神経系③(神経系の伝導、シナプス伝達)	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
11	神経系④(自律神経)	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	

12	神経系⑤(脳神経)	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
13	感覚器系	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
14	栄養、代謝、体温調節	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
15	生理学Ⅱのまとめ(生理学Ⅱで学んだ臓器間の統合)	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
準備学習・事後学習等についての補足説明			
講義の前に授業のテーマについて、テキストを読み、質問事項を整理しておく。			
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)			
定期試験	授業への取組み		
70%	30%		
使用テキスト			
書籍名	著者	出版社	
標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 生理学 第5版	岡田隆夫 他2名	医学書院	
参考書又は参考資料等			
1. 標準生理学 第9版 本間研一監修 医学書院(2020年)			
2. 栄養科学イラストレイテッド 解剖生理学 人体の構造と機能 第3版 志村二三夫他編 羊土社(2020年)			
3. カラー図解 人体の正常構造と機能 改訂第4版 坂井建雄他編 日本医事新報社(2021年)			
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕			
講義中の私語は厳禁とします。他の受講生への影響を鑑みて退室を申し渡す場合もあります。			
担当教員の連絡先等			
教員 E-mail	その他		

授業科目名	解剖生理学総合実習		
担当者名	太田 一樹、片岡 真司	実務家教員	
授業コード	1200077001	授業形態	実習
学年	2年	開講期	前期
単位数	1単位	履修	卒業・理学療法士・作業療法士必修
ナンバリング	DP-2-2-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>【太田】1年次の生理学Ⅰ・Ⅱで学修した内容をより深く理解するために、生命現象の基礎として、基本的な生理機能を観察する。教科書・参考書に記載されている内容や生理学Ⅰ・Ⅱで学んだ知識を基礎にして、自分自身で実際に実験することにより、科学的なものの考え方、事象のとらえ方について理解を深める。</p> <p>【片岡】解剖学および運動解剖学特論の講義で履修した内容を、実際に自分の眼と手で確かめ、より理解を深めることを目的とする。脳脊髄標本、人体解剖体の観察ならびにスケッチを行う。同時に人の生命に対する神秘、尊厳について教授する。</p>		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<p>【太田】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 実験の目的を明確に理解し、説明できる。 2) 実習で得られたデータを科学的に把握するとともに、生体内の現象を理解できるようになる。 3) 生体からの情報を正確に測定し、そのデータの意義を説明できるようになる。 4) 実習で用いる機器の測定原理を説明でき、正しく使用できるようになる。 5) 生体の各システム(系)が統合して生体を維持・調節していることを説明できるようになる。 <p>【片岡】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 胸部・腹部内臓の有機的な位置関係を説明することができる。 2) 心臓の構造、動・静脈、神経の走行、分布を確認し、臓器との関係を説明できる。 3) 筋の起始・停止を確認し、支配神経、作用について説明できる。 4) 関節の解剖を行い、その形態との関連性を説明できる。 5) 人体解剖実習を通して生命の神秘、生命の尊厳を自ら学び、倫理観の育成に努める。 		
授業計画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1	オリエンテーション(生理学分野)(実習の進め方、課題提出、評価について)、盲点の測定【太田】	事前:シラバスで実習内容の全体を把握する(15分) 事後:配布資料で実習内容を理解する(30分)	
2	バイタルサインの測定【太田】	事前:バイタルサインとはなにかを考える。配布資料で第2-3回の内容を予習する(15分) 事後:血圧計の使用方法を復習する(30分)	
3	運動負荷によるバイタルサインの変動【太田】 ※第1回レポート提出課題	事後:グループごとに協力してレポートを作成する(45分)	
4	心電図(定規を各自持参すること)【太田】	事前:配布資料で実習内容を予習する(15分) 事後:心電図の正常波形の成り立ちを復習する(30分)	
5	感覚(二点弁別閾、棒反応時間)【太田】	事前:配布資料で実習内容を予習する(15分) 事後:課題を復習する(30分)	
6	酸素負債【太田】※第2回レポート提出課題	事後:グループごとに協力してレポートを作成する(45分)	
7	組織実習バーチャルスライドで骨格筋組織・骨組織・軟骨組織の微細構造を観察(色鉛筆を各自準備すること)【太田】	事前:各組織の微細構造を予習する(25分) 事後:各組織の微細構造とその機能を復習する(20分)	

8	重量感覚【太田】	事前:配布資料で実習内容を予習する(15分) 事後:課題を復習する(30分)
9	9~23回は集中講義骨学実習1:脊柱、胸郭、骨盤、上肢、下肢【九州歯科大学 片岡】	事前:(60分)実習内容の範囲を復習しておくこと 事後:(60分)実際の観察に基づくスケッチを資料で確認する
10	骨学実習2:頭蓋【九州歯科大学 片岡】	事前:(60分)実習内容の範囲を復習しておくこと 事後:(60分)実際の観察に基づくスケッチを資料で確認
11	解剖学実習の目的。献体とは。体の区分、胸部・腹部の筋。胸部・腹部臓器の位置関係、腹膜後器官の確認【九州歯科大学 片岡】	事前:(60分)実習内容の範囲を復習しておくこと 事後:(60分)実際の観察に基づくスケッチを資料で確認する
12	消化器系、呼吸器系、泌尿器系、生殖器系臓器ならびに相互関係の確認。心臓ならびに循環器系(大循環、小循環ならびにリンパ系)特に腹部循環器系の確認【九州歯科大学 片岡】	事前:(120分)実習内容の範囲を復習しておくこと 事後:(120分)実際の観察に基づくスケッチを資料で確認する
13	胸神経と肋間動静脈の解剖。頸ならびに腕神経叢、腰仙骨神経叢の解剖。交感神経幹、大・小内臓神経の解剖【九州歯科大学 片岡】	事前:(60分)実習内容の範囲を復習しておくこと 事後:(60分)実際の観察に基づくスケッチを資料で確認する
14	上肢屈筋群、下肢前面の筋の解剖。腹腔神経叢、腸間膜動脈神経叢、骨盤神経叢の解剖。【九州歯科大学 片岡】	事前:(60分)実習内容の範囲を復習しておくこと 事後:(60分)実際の観察に基づくスケッチを資料で確認する
15	体幹背部の筋の解剖。上肢帯背側、上肢の伸筋群ならびに手背の解剖。殿部の筋、大腿後面、膝窩の解剖。【九州歯科大学 片岡】	事前:(60分)実習内容の範囲を復習しておくこと 事後:(60分)実際の観察に基づくスケッチを資料で確認する
16	上肢帯の筋、上肢の伸筋群、手掌の解剖。下腿後面、足底の解剖。【九州歯科大学 片岡】	事前:(60分)実習内容の範囲を復習しておくこと 事後:(60分)実際の観察に基づくスケッチを資料で確認する
17	肩関節の解剖。膝関節の解剖。【九州歯科大学 片岡】	事前:(60分)実習内容の範囲を復習しておくこと 事後:(60分)実際の観察に基づくスケッチを資料で確認する
18	肘関節の解剖。股関節の解剖。【九州歯科大学 片岡】	事前:(60分)実習内容の範囲を復習しておくこと 事後:(60分)実際の観察に基づくスケッチを資料で確認する
19	実習 1-10 までの解剖学的構造の相互関係【九州歯科大学 片岡】	事前:(120分)実習 1-10 までの内容を復習しておくこと 事後:(120分)実際の観察に基づくスケッチを資料で確認する
20	脳解剖の予習【九州歯科大学 片岡】	事前:(120分)実習内容の範囲を復習しておくこと 事後:(120分)脳構造の主要な構造について確認資料を作成する
21	手の関節と靭帯の解剖。足の関節と靭帯の解剖。【九州歯科大学 片岡】	事前:(120分)実習内容の範囲を復習しておくこと 事後:(120分)実際の観察に基づくスケッチを資料で確認する

22	脳・脊髄の解剖【九州歯科大学 片岡】	事前:(120分)実習内容の範囲を復習しておくこと 事後:(120分)実際の観察に基づくスケッチを資料で確認する
23	骨実習、脳実習、人体解剖実習のまとめ【九州歯科大学 片岡】	事前:(120分)実習 12-14 までの実習内容の範囲を復習しておくこと 事後:(120分)実際の観察に基づくスケッチを資料で確認する。人体の複雑な解剖学的構造、その相互関係、生命の神秘、生命の尊厳、解剖学実習についてレポートを作成する。
準備学習・事後学習等についての補足説明		
片岡:毎回、リハ実習書ならびに教科書の予習をしてくること。		
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)		
実習態度(太田)	レポート(太田)	その他(片岡)
授業態度(片岡)	レポート(片岡)	
30%(太田)	70%(太田)	50%[スケッチ 30%、感想文
20%(片岡)	30%(片岡)	20%](片岡)
使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
【太田】標準理学療法・作業療法 生理学 第5版(1年生の生理学で使用した教科書と同じものです)	岡田隆夫 他2名	医学書院
【片岡】 準理学療法学・作業療法学解剖学(第5版) 分担解剖学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ人体解剖カラーアトラス 原著第8版実習書(配布プリント)	野村 嗟小川 鼎三ら佐藤達夫	医学書院金原書店南江堂
参考書又は参考資料等		
【太田】生理学実習 NAVI 第2版 医歯薬出版管理栄養士を目指す学生のための解剖生理学実験ノート 帝塚山大学出版会標準生理学第9版 本間 研一(監修)医学書院 【片岡】できるわかる人体解剖実習、哲学堂出版 骨学実習アトラス:日本医事新報社、解剖実習のてびき:南山堂		

その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕

成績評価は解剖学分野 50%と生理学分野 50%の総合でおこなう。

【太田】

- ①開講日が不規則であるので注意すること。詳細な日程は第1回目のオリエンテーションで通知する。
- ②体調不良や忌引きによる欠席の取り扱いについては、第1回目のオリエンテーションで通知する。

【片岡】

ご遺体は自分の死後、医学医療の発展のために無条件無報酬で自ら解剖されることを申し出られ献体された方々です。この篤志献体者の志を忘れてはならない。また、献体を用いた実習が成就できるのはご家族、病院、社会福祉関係者など多くの方々のご協力があって初めて可能なことであることも忘れてはならない。

心得:

- ①ご遺体に常に感謝の念を持つ。
- ②ご遺体に礼を失してはならない。
- ③ご遺体のご意思を考える。
- ④ご遺体に報いることを考える。

担当教員の連絡先等

教員 E-mail	その他

授業科目名	運動学 I		
担当者名	石橋 敏郎	実務家教員	○
授業コード	1200113001	授業形態	講義
学年	1 年	開講期	後期
単位数	2 単位	履修	卒業・理学療法士・作業療法士 必修
ナンバリング	DP2-1-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	運動学(kinesiology)とは、ヒトの身体運動のしくみを追求する学問であり、解剖学、生理学及び生体力学を基盤として身体運動を分析する応用化学と言われている。講義は、労災病院での臨床経験を有する教員が、テキストに沿って項目ごとにプリントに記入してサブノートを作成して、内容を十分理解しながら進めていく。授業形態は講義である。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	前半では、生体力学の基礎知識、運動器の構造と機能(特に関節の構造や筋の働き)及び「てこ」や「ベクトル」などの基本的な計算ができるようになる。 後半では、上肢帯と上肢の正常な関節運動のしくみを理解したうえで、異常な関節運動が起こる原因とそのメカニズムを自ら考察することができるようになる。		
授業計画		準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間	
1	運動学の領域について、生体力学の基礎 ① (身体運動と力学、身体運動の面と軸)	事後:学習した範囲のテキストを見直し、サブノートを見直したうえで、振り返りシートに記入して理解した後に暗記する(180分)	
2	生体力学の基礎 ② (運動の観測、並進・回転運動、筋力と重力、モーメント、重心と姿勢について)	事前:指定された範囲のテキストを読んで、サブノートに記入して学習する内容を把握しておく(90分) 事後:学習した範囲のテキストを見直したうえで、サブノートを振り返り、振り返りシートに記入して理解した後に暗記する(90分)	
3	生体力学の基礎 ③ (運動法則、身体運動とてこ、てこの種類)、 国家試験問題演習	事前:指定された範囲のテキストを読んで、サブノートに記入して学習する内容を把握しておく(90分) 事後:学習した範囲のテキストを見直したうえで、サブノートを振り返り、振り返りシートに記入して理解した後に暗記する(90分)	
4	運動器の構造と機能 ① (運動器について、骨と関節の構造と機能)	事前:指定された範囲のテキストを読んで、サブノートに記入して学習する内容を把握しておく(90分) 事後:学習した範囲のテキストを見直したうえで、サブノートを振り返り、振り返りシートに記入して理解した後に暗記する(90分)	
5	運動器の構造と機能 ② (腱、靭帯、骨格筋の構造と機能)、国家試験問題演習	事前:指定された範囲のテキストを読んで、サブノートに記入して学習する内容を把握しておく(90分) 事後:学習した範囲のテキストを見直したうえで、サブノートを振り返り、振り返りシートに記入して理解した後に暗記する(90分)	

6	上肢帯と肩関節の運動 ① (機能解剖、関節の構造と機能、関節唇、靭帯の構造と機能)	事前:指定された範囲のテキストを読んで、サブノートに記入して学習する内容を把握しておく(90分) 事後:学習した範囲のテキストを見直したうえで、サブノートを振り返り、振り返りシートに記入して理解した後に暗記する(90分)
7	上肢帯と肩関節の運動 ② (筋作用と運動の特徴、腱板の構造と機能、肩甲骨の位置と運動)	事前:指定された範囲のテキストを読んで、サブノートに記入して学習する内容を把握しておく(90分) 事後:学習した範囲のテキストを見直したうえで、サブノートを振り返り、振り返りシートに記入して理解した後に暗記する(90分)
8	上肢帯と肩関節の運動 ③ (肩関節の動きの特徴、上肢帯の筋)	事前:指定された範囲のテキストを読んで、サブノートに記入して学習する内容を把握しておく(90分) 事後:学習した範囲のテキストを見直したうえで、サブノートを振り返り、振り返りシートに記入して理解した後に暗記する(90分)
9	上肢帯と肩関節の運動 ④ (肩関節に関与する筋群)、国家試験問題演習	事前:指定された範囲のテキストを読んで、サブノートに記入して学習する内容を把握しておく(90分) 事後:学習した範囲のテキストを見直したうえで、サブノートを振り返り、振り返りシートに記入して理解した後に暗記する(90分)
10	肘関節と前腕の運動 ① (機能解剖、肘関節の役割、肘関節の靭帯の構造と機能)	事前:指定された範囲のテキストを読んで、サブノートに記入して学習する内容を把握しておく(90分) 事後:学習した範囲のテキストを見直したうえで、サブノートを振り返り、振り返りシートに記入して理解した後に暗記する(90分)
11	肘関節と前腕の運動 ② (肘関節の回転軸、肘関節の運動、肘関節の運動に関与する筋①)	事前:指定された範囲のテキストを読んで、サブノートに記入して学習する内容を把握しておく(90分) 事後:学習した範囲のテキストを見直したうえで、サブノートを振り返り、振り返りシートに記入して理解した後に暗記する(90分)
12	肘関節と前腕の運動 ③ (肘関節に関与する筋②)、国家試験問題演習	事前:指定された範囲のテキストを読んで、サブノートに記入して学習する内容を把握しておく(90分) 事後:学習した範囲のテキストを見直したうえで、サブノートを振り返り、振り返りシートに記入して理解した後に暗記する(90分)
13	手関節と手の運動 ① (機能解剖、手関節の構造と機能、手根中手関節について)	事前:指定された範囲のテキストを読んで、サブノートに記入して学習する内容を把握しておく(90分) 事後:学習した範囲のテキストを見直したうえで、サブノートを振り返り、振り返りシートに記入して理解した後に暗記する(90分)

14	手関節と手の運動 ② (中手指節関節、指節間関節、腱鞘、指背腱膜について)	事前:指定された範囲のテキストを読んで、サブノートに記入して学習する内容を把握しておく(90分) 事後:学習した範囲のテキストを見直したうえで、サブノートを振り返り、振り返りシートに記入して理解した後に暗記する(90分)
15	手関節と手の運動 ③ (指伸筋腱、骨間筋腱、虫様筋腱、手関節と手の筋、手指の屈筋腱など)	事前:指定された範囲のテキストを読んで、サブノートに記入して学習する内容を把握しておく(90分) 事後:学習した範囲のテキストを見直したうえで、サブノートを振り返り、振り返りシートに記入して理解した後に暗記する(90分)

準備学習・事後学習等についての補足説明

準備学習は、指定された範囲のテキストを必ず読んでサブノートに記入して、学習する内容をあらかじめ確認しておく。
事後学習は、学習した内容を再度見直したうえで、振り返りシートに記入して、内容を理解したうえで正確に暗記する。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)

定期試験結果	国家試験問題演習		
80%	20%		

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
基礎運動学(第6版 補訂)	中村隆一・他	医歯薬出版株式会社

参考書又は参考資料等

筋骨格系のキネシオロジー(医歯薬出版株式会社)

その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕

講義に対して前向きに臨み、理解できない部分はそのままとせずに教員に積極的に質問してください。
また、図書館やインターネット等を積極的に活用して、運動学に関する文献や本に触れる習慣をつけてください。

担当教員の連絡先等

教員 E-mail	その他

授業科目名	運動学Ⅱ		
担当者名	石橋 敏郎	実務家教員	○
授業コード	1200114001	授業形態	講義
学年	2年	開講期	前期
単位数	2単位	履修	卒業・理学療法士・作業療法士 必修
ナンバリング	DP2-2-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	身体各部の主要関節における身体運動の特徴を捉えるために、局所的な機能解剖に基づいた各関節の運動学的・運動力学的機能を理解する。さらに、正常な機能を把握した上で、疾病などにより異常な状態になった場合の正確な捉え方と改善方法について講義する。授業形態は講義である。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	人間の主要な関節の機能解剖を復習しつつ、靭帯と骨格筋等の運動器の構造と機能を確実に理解して覚えること。また、その知識を基に国家試験演習問題を独力で解くことができるようになることや専門領域の評価と治療に役立つ基本的な知識を身に付けること。		
授業計画		準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間	
1	下肢帯と股関節の構造と機能①(機能解剖、骨性の指標、靭帯の特徴など)	事後:学習した範囲のテキストを読んでサブノートをまとめ、配布された振り返りシートを記入して、理解したうえで暗記する(180分)	
2	下肢帯と股関節の構造と機能②(股関節運動の特徴及び運動制限の見極め方、股関節の各運動方向の特徴)	事前:指定された範囲のテキストを読んでサブノートに記入して学習内容を事前に把握する(90分) 事後:配布された振り返りシートに記入して、理解したうえで暗記する(90分)	
3	下肢帯と股関節の構造と機能③(股関節周囲筋の特徴など)	事前:指定された範囲のテキストを読んでサブノートに記入して学習内容を事前に把握する(90分) 事後:配布された振り返りシートに記入して、理解したうえで暗記する(90分)	
4	下肢帯と股関節に関する国家試験問題演習、膝関節の運動学①(機能解剖、膝関節の構造面の特徴、内側・外側半月、)	事前:指定された範囲のテキストを読んでサブノートに記入して学習内容を事前に把握する(90分) 事後:配布された振り返りシートに記入して、理解したうえで暗記する(90分)	
5	膝関節の構造と機能②(関節運動の特徴及び膝蓋骨の役割など)	事前:指定された範囲のテキストを読んでサブノートに記入して学習内容を事前に把握する(90分) 事後:配布された振り返りシートに記入して、理解したうえで暗記する(90分)	
6	膝関節の構造と機能③(膝周囲筋の特徴など)	事前:指定された範囲のテキストを読んでサブノートに記入して学習内容を事前に把握する(90分) 事後:配布された振り返りシートに記入して、理解したうえで暗記する(90分)	

7	膝関節に関する国家試験問題演習、足関節の運動学①(機能解剖等)	事前:指定された範囲のテキストを読んでサブノートに記入して学習内容を事前に把握する(90分) 事後:配布された振り返りシートに記入して、理解したうえで暗記する(90分)
8	足関節と足部の構造と機能 ②(足関節運動の特徴、下腿筋と足筋の特徴、足のアーチと足部の変形)	事前:指定された範囲のテキストを読んでサブノートに記入して学習内容を事前に把握する(90分) 事後:配布された振り返りシートに記入して、理解したうえで暗記する(90分)
9	足関節に関する国家試験問題演習、体幹の運動学①(機能解剖、脊柱弯曲の発達過程と意義、椎間円板の特徴)	事前:指定された範囲のテキストを読んでサブノートに記入して学習内容を事前に把握する(90分) 事後:配布された振り返りシートに記入して、理解したうえで暗記する(90分)
10	体幹の運動学②(椎間関節面の形状と運動、各椎骨レベルにおける運動の特徴、脊柱に作用する筋の役割)	事前:指定された範囲のテキストを読んでサブノートに記入して学習内容を事前に把握する(90分) 事後:配布された振り返りシートに記入して、理解したうえで暗記する(90分)
11	体幹に関する国家試験問題演習、立位姿勢の運動学①(咀嚼筋について、安静立位姿勢と筋活動、立位姿勢の重心動揺と安定性限界など)	事前:指定された範囲のテキストを読んでサブノートに記入して学習内容を事前に把握する(90分) 事後:配布された振り返りシートに記入して、理解したうえで暗記する(90分)
12	立位姿勢の運動学②(防御反応と姿勢戦略、立位姿勢の分析、バランス安定性の検査、異常姿勢について)	事前:指定された範囲のテキストを読んでサブノートに記入して学習内容を事前に把握する(90分) 事後:配布された振り返りシートに記入して、理解したうえで暗記する(90分)
13	立位姿勢に関する国家試験問題演習、歩行の運動学①(歩行と運動学、歩行周期について)	事前:指定された範囲のテキストを読んでサブノートに記入して学習内容を事前に把握する(90分) 事後:配布された振り返りシートに記入して、理解したうえで暗記する(90分)
14	歩行の運動学②(歩行の運動学的分析と運動力学的分析について)	事前:指定された範囲のテキストを読んでサブノートに記入して学習内容を事前に把握する(90分) 事後:配布された振り返りシートに記入して、理解したうえで暗記する(90分)
15	歩行の運動学③(歩行時の筋活動、高齢者の歩行について)、歩行に関する国家試験問題演習	全ての振り返りシートの内容を復習、理解と暗記をして定期試験に備える(180分)

準備学習・事後学習等についての補足説明

準備学習に使用するサブノートは単元毎に事前に配布し、講義終了時に次の講義で進む範囲を知らせるので、その範囲をテキストを見てできる範囲で実施しておく。事後学習に使用する振り返りシートは講義終了時に実施して答え合わせを行う。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)

定期試験	国家試験問題演習の結果		
80%	20%		

使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
基礎運動学(第6版 補訂)	中村隆一・他	医歯薬出版株式会社
参考書又は参考資料等		
筋骨格系のキネシオロジー(医歯薬出版株式会社)		
その他[受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて]		
講義の事前学習と事後学習は必ず実施してください。講義の中で理解できない部分はそのまにせず、積極的に質問してください。また、図書館やインターネット等を多に活用して、運動学に関する文献や本に触れる習慣をつけてください。		
担当教員の連絡先等		
教員 E-mail	その他	
	サブノート、振り返りシートなどを忘れた場合には、講義開始前に担当教員に必ず報告に来ること。	

授業科目名	人間発達学		
担当者名	佐野 幹剛	実務家教員	○
授業コード	1200022001	授業形態	講義
学年	1年	開講期	後期
単位数	2単位	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP2-1-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	この講義は母子保健事業において乳幼児の2次健診に携わっている教員が教授する。乳児期から老年期までの発達過程全般について概説するとともに、障害児・者や高齢者に対する発達学的評価および治療ができる知識とスキルの習得を図れるよう講義する。授業形態は講義である。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の基本的な発達過程を理解することができるようになる。 ・障害や老化に伴う心理的・身体的影響を発達学的に捉えることができるようになる。 		
授業計画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1	リハビリテーションにおける発達学視点と意義	事前:教科書①の第1章を通読する(90分) 事後:ワークノートのポイント整理を行う(90分)	
2	乳児期の発達課題と身体発達	事前:教科書①の第2章を通読する(90分) 事後:ワークノートのポイント整理を行う(90分)	
3	反射・反応について	事前:教科書②の第1部を通読する(90分) 事後:ワークノートのポイントの整理を行う(90分)	
4	乳児期における粗大運動の発達と臨床的応用(事例検討)	事前:教科書①の第3章を通読する(90分) 事後:ワークノートのポイントの整理を行う(90分)	
5	乳児期における手の運動発達と臨床的応用	事前:教科書①の第3章(微細運動)を通読する(90分) 事後:ワークノートのポイントの整理を行う(90分)	
6	発達障害を持つ子どもの理解(事例検討)	事前:脳性麻痺についてweb等で調べておく(90分) 事後:ワークノートのポイントの整理を行う(90分)	
7	乳幼児期の知覚・認知機能の発達と臨床的応用(事例検討)	事前:教科書①の第4章(1~7)を通読する(90分) 事後:ワークノートのポイントの整理を行う(90分)	
8	乳幼児期のことばの発達と臨床的応用	事前:教科書①の第4章(言語の発達)を通読する(90分) 事後:ワークノートのポイントの整理を行う(90分)	
9	日常生活活動の発達過程	事前:食べる機能のうち口腔器官について調べておく(90分) 事後:ワークノートのポイントの整理を行う(90分)	
10	乳児～学童期の特徴と発達課題(事例検討)	事前:教科書①の第5~7章を通読する(90分) 事後:ワークノートのポイントの整理を行う(90分)	
11	青年期の特徴と発達課題	事前:教科書①の第8章を通読する(90分) 事後:ワークノートのポイントの整理を行う(90分)	
12	成人期の特等と発達課題(事例検討)	事前:教科書①の第9章を通読する(90分) 事後:ワークノートのポイントの整理を行う(90分)	
13	老年期の特徴と発達課題(事例検討)	事前:教科書①の第10章を通読する(90分) 事後:ワークノートのポイントの整理を行う(90分)	
14	発達評価の種類と概要	事前:発達評価の種類について調べておく(90分) 事後:ワークノートのポイントの整理を行う(90分)	

15	母子保健事業での作業療法士の役割(事例検討)	事前:母子保健事業について調べておく(90分) 事後:ワークノートのポイントの整理を行う(90分)	
準備学習・事後学習等についての補足説明			
授業はワークノート・教科書を中心に進めます。ワークノートに準備学修の内容、事後学修のためのポイントの整理を示しているので活用してください。ワークノートは講義中間と最終講義後の2回提出してください。			
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)			
ワークノートの完成度	課題レポートの完成度	授業への取り組み	定期試験
20%	10%	10%	60%
使用テキスト			
書籍名	著者	出版社	
①講座 人間発達学	上田礼子	医歯薬出版	
②運動発達と反射 反射検査の手技と評価	M.R.Barnes	医歯薬出版	
参考書又は参考資料等			
乳児の発達 写真で見る0歳児 J.H.de Hass 医歯薬出版			
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕			
ワークノート、レポートは、チェック後フィードバック資料として返却します。内容不足があれば修正後に再提出してください。レポートの課題は「反射と反応」です。期限までに必ず提出してください。人間発達学は、人の運動機能や認知機能などの多角的な発達側面を概観します。作業療法アプローチの基本となるため、しっかり学習してください。			
担当教員の連絡先等			
教員 E-mail	その他		

授業科目名	病理学		
担当者名	引地 尚子	実務家教員	
授業コード	1200052001	授業形態	講義
学年	2年	開講期	前期
単位数	2単位	履修	卒業・理学療法士・作業療法士 必修
ナンバリング	DP2-2-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	病理学は医療系の学生が疾患の概念を最初に学ぶ学問である。基礎医学の分野に属するが、臨床医学に最も密接した内容を取り扱っており、病気の原因、発生機序、経過および転帰など、病気の本体について学習する。国家試験科目であることを念頭において、医師や看護師などが話す医学的内容を理解できるようにすることを講義目標とする。講義は、教科書を基に作成したパワーポイントによるプレゼンテーションと適宜配布するプリントを主体に進める。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ul style="list-style-type: none"> ・医学的用語を理解し、医師、看護師の指示や説明を十分に理解できる。 ・患者の疾患や訴えに対し、理学療法士あるいは作業療法士として正しい判断ができる。 ・国家試験に合格できるレベルの病理学の内容を理解できる。 		
授業計画		準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間	
1	病理学の概要、病因論	事前:テキスト指定範囲を通読しておくこと (15分) 事後:配布プリントの復習問題を解く。指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する (90分)	
2	退行性病変、進行性病変	事前:テキスト指定範囲(掲示又はUNIPAにて通知)を通読しておくこと (90分) 事後:配布プリントの復習問題を解く。指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する (90分)	
3	代謝障害① タンパク質・アミノ酸代謝異常、核酸代謝異常、脂質代謝異常	事前:テキスト指定範囲を通読しておくこと (90分) 事後:配布プリントの復習問題を解く。指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する (90分)	
4	代謝障害② 糖質代謝異常、無機物質代謝異常、色素代謝異常	事前:テキスト指定範囲を通読しておくこと (90分) 事後:配布プリントの復習問題を解く。指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する (90分)	
5	循環障害① 体循環の機構、局所の循環障害	事前:テキスト指定範囲を通読しておくこと (90分) 事後:配布プリントの復習問題を解く。指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する (90分)	
6	循環障害② 全身循環障害	事前:テキスト指定範囲を通読しておくこと (90分) 事後:配布プリントの復習問題を解く。指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する (90分)	
7	免疫	事前:テキスト指定範囲を通読しておくこと (90分) 事後:配布プリントの復習問題を解く。指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する (90分)	
8	炎症	事前:テキスト指定範囲を通読しておくこと (90分) 事後:配布プリントの復習問題を解く。指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する (90分)	

9	感染症	事前:テキスト指定範囲を通読しておくこと (90分) 事後:配布プリントの復習問題を解く。指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する (90分)
10	腫瘍① 定義、良性腫瘍・悪性腫瘍、腫瘍の形態	事前:テキスト指定範囲を通読しておくこと (90分) 事後:配布プリントの復習問題を解く。指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する (90分)
11	腫瘍② 悪性腫瘍の進展形式・進行度、腫瘍発生の原因、発がんのメカニズム	事前:テキスト指定範囲を通読しておくこと (90分) 事後:配布プリントの復習問題を解く。指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する (90分)
12	老化	事前:テキスト指定範囲を通読しておくこと (90分) 事後:配布プリントの復習問題を解く。指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する (90分)
13	先天異常、奇形	事前:テキスト指定範囲を通読しておくこと (90分) 事後:配布プリントの復習問題を解く。指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する (90分)
14	脳神経系の病理学入門	事前:テキスト指定範囲を通読しておくこと (90分) 事後:配布プリントの復習問題を解く。指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する (90分)
15	運動器系(骨・筋肉)系の病理学入門	事前:テキスト指定範囲を通読しておくこと (90分) 事後:配布プリントの復習問題を解く。指定した用語の意味を調べ、解釈を加えたキーワードノートを作成する (90分)

準備学習・事後学習等についての補足説明

- ・シラバスを見て、次回範囲の教科書の内容を読み確認して講義に臨むこと。
- ・「キーワードノート」については、初回講義時に説明をします。
- ・「キーワードノート」は講義後に提出を求めます。(次回講義時に返却します)

成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)

定期試験	キーワードノートの完成度		
90%	10%		

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
標準理学療法学・作業療法学 病理学	監修 梶原博毅 編集 横井豊治・村雲芳樹	医学書院

参考書又は参考資料等

講義の前に講義に使用するプリントを配布する。

その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕

- ・国家試験合格を目標に勉強すること。
- ・講義中の私語は厳禁とします。他の受講生への影響を鑑みて退室を申し渡す場合もあります。

担当教員の連絡先等

教員 E-mail	その他
非公開とする。	質問は授業中または、授業終了後教室にて受け付けます。

授業科目名	臨床心理学		
担当者名	山田 幸代	実務家教員	○
授業コード	1200053001	授業形態	講義・演習
学年	カリキュラムにより異なります。	開講期	後期
単位数	2 単位	履修	卒業・理学療法士・作業療法士 必修
ナンバリング	DP2-1-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	臨床心理学の本来の意味は「死の床に臨む」医療従事者の為の心理学的立場を示す。患者も医療者も常に同じ立場にあることを忘れず、患者と共に歩む医療者の姿を学ばねばならない。本講担当者は疾患や障害を持つ子どもたちのリハビリテーションスタッフとしてPT・OTと協働した。その後27年間本学でリハビリテーションの根幹の一つである臨床心理学の講義を担当している。また、臨床心理士として生後から終末期までの各時期において全人医療の立場から関わっている。本講ではフロイトに始まる臨床心理学から他者との関係性を重視する「関係性の心理学」を学び、全人医療を視点に講義及び演習で受講者の資質向上を目指す。なお演習ごとにレポートを作成する。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	1) 医療における臨床心理学の必要性を理解している 2) 患者の心理的特性を理解し、全人医療の視点を理解している 3) 臨床心理学の変遷を理解し、患者との関係形成に応用できる 4) 他者理解と共に自己理解をも深める為、各種の検査に精通している 5) リハビリテーション現場で用いられる心理学的セラピーを展開できる		
授業計画	準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間		
1	導入 全人医療の視点「生きる」「支援を受けてより良く生きる」「支援の有無に関わらずより良く生きる」を学ぶ	事前:「全人医療」について検索する(90分) 事後:講義での事例に関して考察する(90分)	
2	患者と共にある為の傾聴・受容・共感を学ぶ。またお互いの人権尊重を考察する	事前:「共感」でなく「共間」を考える(90分) 事後:様々な人権侵害を考察する(90分)	
3	治療技法「回想法」実習。レポート作成	事前:回想法を検索し材料を準備する(90分) 事後:レポート完成(90分)	
4	治療技法「音楽療法」の実際を動画で学ぶ	事前:音楽療法を検索する(90分) 事後:プレゼンテーションの準備と練習(90分)	
5	治療技法「音楽療法」のプレゼンテーション	事前:班別でプレゼンテーション準備(90分) 事後:他班の内容も含めレポート作成(90分)	
6	臨床心理学の変遷を学ぶフロイトに始まる「個の心理学」	事前:配布資料を通読する(90分) 事後:フロイトが提唱した自我を考察する(90分)	
7	心理学の変遷を学ぶ「関係性の心理学」と成熟した自己愛	事前:配布資料を通読する(90分) 事後:関係性の心理学の必要性を考察する(90分)	
8	関係性の心理学の実際を学ぶ自己理解と他者理解 TEG 演習	事前:東大式エゴグラムを検索する(90分) 事後:新たなTEGの視点を考察する(90分)	
9	関係性の心理学の実際を学ぶ交流分析の理論と現場での応用	事前:自己理解と自己変容を考察する(90分) 事後:他者理解と対応を考察する(90分)	
10	関係性の心理学の実際を学ぶ自己理解と他者理解 PF スタディ演習	事前:PF スタディを検索する(90分) 事後:他者理解と対応を考察する(90分)	
11	関係性の心理学の視点から①発達障害の理解と対応	事前:発達障害を検索する(90分) 事後:発達障害への対応を考察する(90分)	

12	関係性の心理学の視点から②人格障害の理解と対応	事前:人格障害を検索する(90分) 事後:人格障害への対応を考察する(90分)
13	臨床心理学の検査法を学ぶ①知能検査「知能」とは何かを学ぶ	事前:知能検査を検索する(90分) 事後:他者対応での知能の視点を考察する(90分)
14	臨床心理学の検査法を学ぶ②人格検査 疾患と人格変容を考える	事前:人格検査を検索する(90分) 事後:疾患と人格変容に関して考察する(90分)
15	総括 全人医療の視点からリハビリテーションのあり方考える	事前:再度「全人医療」を検索する(90分) 事後:全人医療者としての視点を考察する(90分)
準備学習・事後学習等についての補足説明		
演習やグループ討議のレポートは翌々週までに提出。なおレポートはグループ全員で討議し、作成者は必ず交替してください。		
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)		
演習についてのレポート	定期試験	
30%	70%	
使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
講義・演習中に適宜、資料を配布する		
参考書又は参考資料等		
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕		
講義及び演習に真摯に臨むこと。患者の前に立つ場合を想定し、対人対応技法を習得すること。想像力・創造力が相手の立場に立つことを可能にし、全人医療につながるのである。		
担当教員の連絡先等		
教員 E-mail	その他	
非公開とする。	講義後非常勤講師室でしばらく待ちます。	

授業科目名	小児科学		
担当者名	小川 将人、多久 葵、重田 英臣、 宮本 智成	実務家教員	○
授業コード	1200054001	授業形態	講義
学年	2年	開講期	前期
単位数	2単位	履修	卒業・理学療法士・作業療法士 必修
ナンバリング	DP2-2-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	子どもでよく見られる病気について、症状から診断ならびに治療、救命救急まで講義する。特にリハビリテーションの対象となる神経・筋・骨系疾患、重症心身障害児については、詳細に理解する。自分が親になったと思って、小児科対象疾患の基礎的知識を修得する。授業形態は講義である。リハビリテーションの対象となる新生児・未熟児疾患、先天異常と遺伝病、循環器疾患、呼吸器疾患、感染症、消化器疾患、免疫・アレルギー疾患、膠原病、腎・泌尿器系、生殖器疾患等の検査や治療について詳細に学ぶ。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	子どもでよく見られる病気について、一般的特徴、原因、診断、治療の概要を学習し、理解する。また、リハビリテーションを必要とする児の疾患を把握し、いかにチーム共同医療者として、参画するかを考える。		
授業計画		準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間	
1	小児科学概論 -PT/OTとの関わり。病気がない子どもの成長発達を理解する。(小川)	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
2	診断と治療 -一般的な病気の病院での診療について救急疾患:小児のBLSを修得する。(小川)	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
3	新生児・未熟児疾患-1 -胎児期・新生児期・周産期について(重田)	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
4	新生児・未熟児疾患-1 -胎児期・新生児期・周産期について(重田)	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
5	先天異常と遺伝病について(宮本)	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
6	神経・筋・骨-1 -特殊検査、髄膜炎、熱性けいれん、小児てんかんについて(重田)	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
7	神経・筋・骨-1 -特殊検査、髄膜炎、熱性けいれん、小児てんかんについて(重田)	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
8	循環器疾患について(多久)	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
9	呼吸器疾患について(小川)	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
10	感染症について(小川)	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
11	消化器疾患について(小川)	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
12	内分泌疾患:低身長症、クレチン症、糖尿病について(多久)	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	

13	免疫・アレルギー疾患、膠原病、腎・泌尿器系・生殖器疾患について（宮本）	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)
14	血液・腫瘍・眼科・耳鼻科疾患:貧血症、白血病、血友病、悪性疾患について（宮本）	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)
15	心身症・神経症・重症心身障害児(重心):重心の病態、問題点について（重田）	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)
準備学習・事後学習等についての補足説明		
使用するテキストを用いて、各疾患などを予習および復習をすること。		
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)		
定期試験		
100%		
使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
標準理学療法学・作業療法学 小児科学 第5版		
参考書又は参考資料等		
適宜資料を配布する。		
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕		
<ul style="list-style-type: none"> ・質問は講義時間内にして下さい。 ・試験に対する質問は受け付けません。 		
担当教員の連絡先等		
教員 E-mail	その他	
非公開とする。		

授業科目名	内科学		
担当者名	宮崎 三枝子、三角 博康	実務家教員	○
授業コード	1200027001	授業形態	講義
学年	2年	開講期	前期
単位数	2単位	履修	卒業・理学療法士・作業療法士 必修
ナンバリング	DP2-2-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	リハビリテーション医学の対象となる代表的な内科疾患、ならびに合併症に対する治療、リスク管理を理解する。胸部 X 線や心電図、CT など画像や検査内容を理解する。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	理学療法、作業療法の対象とする疾患(消化器、循環器、呼吸器、代謝内分泌、アレルギー疾患、腎泌尿器、血液、感染症)などについて詳細に理解する。		
授業計画		準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間	
1	内科総論 内科診療の実際(宮崎)	事前:教科書(授業計画範囲)を通読しておくこと。(90分) 事後:各疾患の解剖と生理を確認する。余裕があれば主な疾患の Point 部分をチェックしておくこと。(90分)	
2	循環器 総論(1)(宮崎)	事前:教科書(授業計画範囲)を通読しておくこと。(90分) 事後:各疾患の解剖と生理を確認する。余裕があれば主な疾患の Point 部分をチェックしておくこと。(90分)	
3	循環器 総論(2)(宮崎)	事前:教科書(授業計画範囲)を通読しておくこと。(90分) 事後:各疾患の解剖と生理を確認する。余裕があれば主な疾患の Point 部分をチェックしておくこと。(90分)	
4	循環器 各論①(宮崎)	事前:教科書(授業計画範囲)を通読しておくこと。(90分) 事後:各疾患の解剖と生理を確認する。余裕があれば主な疾患の Point 部分をチェックしておくこと。(90分)	
5	循環器 各論②(宮崎)	事前:教科書(授業計画範囲)を通読しておくこと。(90分) 事後:各疾患の解剖と生理を確認する。余裕があれば主な疾患の Point 部分をチェックしておくこと。(90分)	
6	代謝性疾患(宮崎)	事前:教科書(授業計画範囲)を通読しておくこと。(90分) 事後:各疾患の解剖と生理を確認する。余裕があれば主な疾患の Point 部分をチェックしておくこと。(90分)	
7	腎疾患(宮崎)	事前:教科書(授業計画範囲)を通読しておくこと。(90分) 事後:各疾患の解剖と生理を確認する。余裕があれば主な疾患の Point 部分をチェックしておくこと。(90分)	
8	消化器疾患(三角)	事前:教科書(授業計画範囲)を通読しておくこと。(90分) 事後:各疾患の解剖と生理を確認する。余裕があれば主な疾患の Point 部分をチェックしておくこと。(90分)	
9	肝、胆、膵疾患(三角)	事前:教科書(授業計画範囲)を通読しておくこと。(90分) 事後:各疾患の解剖と生理を確認する。余裕があれば主な疾患の Point 部分をチェックしておくこと。(90分)	

10	内分泌疾患(三角)	事前:教科書(授業計画範囲)を通読しておくこと。(90分) 事後:各疾患の解剖と生理を確認する。余裕があれば主な疾患の Point 部分をチェックしておくこと。(90分)
11	呼吸器 総論(三角)	事前:教科書(授業計画範囲)を通読しておくこと。(90分) 事後:各疾患の解剖と生理を確認する。余裕があれば主な疾患の Point 部分をチェックしておくこと。(90分)
12	呼吸器 各論(三角)	事前:教科書(授業計画範囲)を通読しておくこと。(90分) 事後:各疾患の解剖と生理を確認する。余裕があれば主な疾患の Point 部分をチェックしておくこと。(90分)
13	血液疾患(三角)	事前:教科書(授業計画範囲)を通読しておくこと。(90分) 事後:各疾患の解剖と生理を確認する。余裕があれば主な疾患の Point 部分をチェックしておくこと。(90分)
14	膠原病、アレルギー疾患感染症(三角)	事前:教科書(授業計画範囲)を通読しておくこと。(90分) 事後:各疾患の解剖と生理を確認する。余裕があれば主な疾患の Point 部分をチェックしておくこと。(90分)
15	感染症(三角)	事前:教科書(授業計画範囲)を通読しておくこと。(90分) 事後:各疾患の解剖と生理を確認する。余裕があれば主な疾患の Point 部分をチェックしておくこと。(90分)

準備学習・事後学習等についての補足説明

事後学修として復習をしっかりとる。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)

定期試験

100%

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
なるほどなっとく内科学	浅野喜延	南山堂
心電図ドリル	杉浦哲郎 監修 土居忠文 著	総合医学社

参考書又は参考資料等

必要に応じて資料を配布します。

その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕

教科書中心の授業です。

担当教員の連絡先等

教員 E-mail	その他
非公開とする。	

授業科目名	整形外科学		
担当者名	河野 勤	実務家教員	○
授業コード	1200028001	授業形態	講義
学年	2年	開講期	前期
単位数	2単位	履修	卒業・理学療法士・作業療法士必修
ナンバリング	DP2-2-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	この講義は、整形外科医師がリハビリテーション医学の対象となる代表的な整形外科疾患ならびに合併症に対する治療やリスク管理について講義する。また、X線やCTなどの画像診断や手術療法および後療法について講義する。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	整形外科領域における症候学に基づく、基本的知識と疾患の概要について学ぶ。四肢外傷、変性疾患、炎症疾患、化膿性疾患、代謝性疾患等の治療法、特に手術療法ならびに後療法について学習する。		
授業計画		準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間	
1	運動器の基本的評価方法と基本的検査、運動器の評価と検査(河野勤)P23-42(2. 運動器の評価および検査法 A.基本的評価法 B.基本的検査 C.運動器の評価と検査)	事前(90分):教科書指定範囲(授業計画に記載)を通読しておくこと。 事後(90分):各章最後の復習のポイントに回答したり、疑問に感じた内容や、不明な専門用語について調ベノートにまとめること。	
2	整形外科治療法前半、熱傷(吉本昌人)P44-51(3. 整形外科治療法(皮膚移植まで)P188-191(17. 熱傷)	事前(90分):教科書指定範囲(授業計画に記載)を通読しておくこと。 事後(90分):各章最後の復習のポイントに回答したり、疑問に感じた内容や、不明な専門用語について調ベノートにまとめること。	
3	感染症や代謝内分泌疾患等(塩本喬平)P61-63、P67-70(4. 炎症性疾患 A.感染症(軟部組織・骨・関節)、C. その他感染症疾患)P75-77(5. 代謝・内分泌疾患、退行性疾患 A.代謝・内分泌疾患)P87-89(6. 先天性骨・関節疾患 C.その他)	事前(90分):教科書指定範囲(授業計画に記載)を通読しておくこと。 事後(90分):各章最後の復習のポイントに回答したり、疑問に感じた内容や、不明な専門用語について調ベノートにまとめること。	
4	軟骨・関節の基礎と関節疾患(進悟史)P5-8(1. 整形外科基礎知識 B.軟骨の基本構造、C.関節の基本構造)P85-86(6. 先天性骨・関節疾患 B.先天性関節疾患)P63-67(4. 炎症性疾患 B.非感染症性関節疾患)P78-81(5. 代謝・内分泌疾患、退行性疾患 B.退行性疾患 2. 変形性関節症、3. 神経病性関節症、4. 血友病性関節症)	事前(90分):教科書指定範囲(授業計画に記載)を通読しておくこと。 事後(90分):各章最後の復習のポイントに回答したり、疑問に感じた内容や、不明な専門用語について調ベノートにまとめること。	
5	骨格筋・神経の基礎と同疾患(上森知彦)P8-19(1. 整形外科基礎知識 D.骨格筋の基本構造と機能、E.神経系の基本構造、F.骨・関節、筋・神経の病態生理)P104-109(9. 神経・筋疾患)	事前(90分):教科書指定範囲(授業計画に記載)を通読しておくこと。 事後(90分):各章最後の復習のポイントに回答したり、疑問に感じた内容や、不明な専門用語について調ベノートにまとめること。	

6	骨の基礎と骨疾患(見明豪)P2-5(1. 整形外科基礎知識 A.骨の発生と成長)P84-85(6. 先天性骨・関節疾患 A.代表的な先天性骨疾患)P77-78(5. 代謝・内分泌疾患 B.退行性疾患 1 骨粗鬆症)	事前(90分):教科書指定範囲(授業計画に記載)を通読しておくこと。 事後(90分):各章最後の復習のポイントに回答したり、疑問に感じた内容や、不明な専門用語について調ベノートにまとめること。
7	循環障害と壊死性疾患、骨軟部腫瘍(前川啓)P90-103(7. 循環障害と壊死性疾患、8. 骨・軟部腫瘍)	事前(90分):教科書指定範囲(授業計画に記載)を通読しておくこと。 事後(90分):各章最後の復習のポイントに回答したり、疑問に感じた内容や、不明な専門用語について調ベノートにまとめること。
8	脊髄損傷(今村寿宏)P149-155(12. 脊髄損傷)	事前(90分):教科書指定範囲(授業計画に記載)を通読しておくこと。 事後(90分):各章最後の復習のポイントに回答したり、疑問に感じた内容や、不明な専門用語について調ベノートにまとめること。
9	整形外科治療法後半、切断及び離断(高崎実)P51-56(3. 整形外科治療法(腱の手術から))P192-199(18. 切断及び離断)	事前(90分):教科書指定範囲(授業計画に記載)を通読しておくこと。 事後(90分):各章最後の復習のポイントに回答したり、疑問に感じた内容や、不明な専門用語について調ベノートにまとめること。
10	骨折総論、体幹並びに上肢骨折(森達哉)P127-140(11. 骨折 A.概論-骨折とは、B.体幹の骨折、C.四肢の骨折(上肢))	事前(90分):教科書指定範囲(授業計画に記載)を通読しておくこと。 事後(90分):各章最後の復習のポイントに回答したり、疑問に感じた内容や、不明な専門用語について調ベノートにまとめること。
11	下肢骨折、関節における外傷性疾患(鬼塚俊宏)P140-145(11. 骨折 C.四肢の骨折(下肢))P157-160(13. 関節における外傷性疾患)	事前(90分):教科書指定範囲(授業計画に記載)を通読しておくこと。 事後(90分):各章最後の復習のポイントに回答したり、疑問に感じた内容や、不明な専門用語について調ベノートにまとめること。
12	運動器の評価と検査について、ランドマークと検査手技実習(川本) P29-42(2. 運動器の評価および検査法 C.運動器の評価と検査(実習))	事前(90分):教科書指定範囲(授業計画に記載)を通読しておくこと。 事後(90分):各章最後の復習のポイントに回答したり、疑問に感じた内容や、不明な専門用語について調ベノートにまとめること。
13	スポーツ障害(田代泰隆)P178-186(16. スポーツ障害)	事前(90分):教科書指定範囲(授業計画に記載)を通読しておくこと。 事後(90分):各章最後の復習のポイントに回答したり、疑問に感じた内容や、不明な専門用語について調ベノートにまとめること。

14	末梢神経や腱・靭帯の外傷性疾患(花田麻須大)P162-177 (14. 末梢神経における外傷性疾患、15. 腱・靭帯における外傷性疾患)	事前(90分):教科書指定範囲(授業計画に記載)を通読しておくこと。 事後(90分):各章最後の復習のポイントに回答したり、疑問に感じた内容や、不明な専門用語について調べノートにまとめること。
15	脊椎の疾患(田中宏毅) P111-122(10. 脊椎の疾患)	事前(90分):教科書指定範囲(授業計画に記載)を通読しておくこと。 事後(90分):各章最後の復習のポイントに回答したり、疑問に感じた内容や、不明な専門用語について調べノートにまとめること。
準備学習・事後学習等についての補足説明		
各講義に関連する教科書ページを前もって読んでくること。 事後には各章最後の“復習のポイント”に記載された問いに答えたり、本末にある“セルフアセスメント”を解答したりすること。		
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)		
定期試験		
100%		
使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 整形外科学第5版	染矢 富士子菊池 尚久	医学書院
参考書又は参考資料等		
適宜資料を配布する。		
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕		
効率よく、且つ分かりやすくする為に、できる限り基礎と臨床をつないだ講義内容としている。 よって、教科書の順番通りではないが、すべてを網羅できるように工夫してある。各講義の教科書ページに注意すること。		
担当教員の連絡先等		
教員 E-mail	その他	
非公開とする。	質問等は、講義中に受付けます。	

授業科目名	神経内科学		
担当者名	太田 一樹	実務家教員	○
授業コード	1200029001	授業形態	講義
学年	2年	開講期	前期
単位数	2単位	履修	卒業・理学療法士・作業療法士必修
ナンバリング	DP2-2-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	神経内科では神経および筋における疾患を対象としている。総合内科専門医・脳卒中専門医の医師が、神経と筋の構造と機能について、次に疾患の疫学、病因、病巣、臨床症状、検査所見、画像などの診断、治療について講義する。授業は、テキストを参考としながら、スライドを用いて神経内科疾患について解説する。授業形態は講義である。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	神経・筋疾患の病歴より病因を想定し、神経学的所見より可能性のある病巣を挙げ、病因と病巣の組み合わせより臨床診断が行われることを理解し、客観的に説明できるようになる。		
授業計画		準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間	
1	脳血管障害① 脳血管障害の概要(脳梗塞、脳出血、くも膜下出血)	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
2	脳血管障害② 脳血管障害の診断	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
3	脳血管障害③ 脳血管障害の治療	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
4	認知症① 総論、Alzheimer型認知症	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
5	認知症② Lewy小体型認知症、前頭側頭型認知症、血管性認知症	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
6	Parkinson病、大脳皮質基底核変性症	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
7	多発性硬化症、視神経脊髄炎、Guillain-Barre症候群	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
8	脊髄小脳変性症	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
9	筋委縮性側索硬化症	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
10	筋疾患① 筋ジストロフィー	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
11	筋疾患② 重症筋無力症、多発性筋炎・皮膚筋炎	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
12	外傷性損傷(脳損傷、脊髄損傷)、末梢神経障害	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
13	てんかん、けいれん	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
14	腫瘍性疾患、傍腫瘍性神経症候群、感染性疾患、中毒	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	

15	神経内科における症状・診断のまとめ	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)
準備学習・事後学習等についての補足説明		
講義の前に授業のテーマについて、テキストを読み、質問事項を整理しておく。		
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)		
定期試験	授業への取組み	
70%	30%	
使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
病気がみえる vol.7 脳・神経 第2版	医療情報科学研究所(編集)	MEDIC MEDIA
参考書又は参考資料等		
日本脳卒中学会脳卒中治療ガイドライン、日本神経学会診療ガイドライン ※その他、講義で適宜参考図書を紹介します。		
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕		
講義中の私語は厳禁とします。他の受講生への影響を鑑みて退室を申し渡す場合もあります。		
担当教員の連絡先等		
教員 E-mail	その他	

授業科目名	精神医学 I		
担当者名	金澤 耕介	実務家教員	○
授業コード	1200087001	授業形態	講義
学年	2年	開講期	前期
単位数	2単位	履修	卒業・理学療法士・作業療法士必修
ナンバリング	DP2-2-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	この講義は、精神科医師が精神医学全般の基礎的知識を講義形式で教授する。 ①精神症状・精神機能について、その基盤である生物学的な脳機能と関連づける。 ②精神科特有の考え方、対応を講義形式で教授する。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	①精神医学全般に対する基礎的知識を習得する ②精神疾患・精神科患者への偏見をなくし、正しく対応できるようにする		
授業計画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1	総論:脳の機能と精神症状	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
2	総論:精神症候学 #1(意識、思考、睡眠)	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
3	総論:精神症候学 #2(自我、情動、知覚)	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
4	総論:精神症候学 #3(記憶、食欲等)	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
5	総論:精神科診断学 #1(面接法、診断基準)	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
6	総論:精神科診断学 #2(各種検査法)	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
7	総論:精神科治療学 #1(身体的治療)	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
8	総論:精神科治療学 #2(心理社会的治療)	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
9	各論:身体因性精神障害	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
10	各論:薬剤性精神障害、てんかん	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
11	各論:総合失調症、気分障害	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
12	各論:神経症とストレス性障害	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
13	各論:食欲、睡眠の障害	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
14	各論:人格障害、発達障害	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	

15	まとめ	事前:テキストを用いて授業テーマ範囲を調べる(90分) 事後:授業内容のノートを整理する(90分)	
準備学習・事後学習等についての補足説明			
各講義に関連する内容について、教科書を前もって読んでくること。			
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)			
定期試験			
100%			
使用テキスト			
書籍名	著者	出版社	
標準精神医学 第8版	尾崎紀夫 他 監修	医学書院	
参考書又は参考資料等			
適宜資料を配布します。			
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕			
質問は講義中または、講義終了後教室にて受付けます。			
担当教員の連絡先等			
教員 E-mail	その他		
非公開とする。			

授業科目名	臨床医学とリハビリテーション		
担当者名	中島 他	実務家教員	○
授業コード	1200115001	授業形態	講義
学年	2年	開講期	前期
単位数	2単位	履修	卒業・理学療法士・作業療法士必修
ナンバリング	DP2-2-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	リハビリテーションを進める上で、臨床医学領域に関心を持ち、幅広く理解することは、疾病の発症・再発・重症化の予防ならびに障害による活動制限・参加制約といった状態から生じる廃用症候群やフレイルなどを予防・改善する観点からも重要である。このため、臨床で経験する頻度が高い疾患の病態や障害像を診療科別に講義する。また、理学療法や作業療法を行う際の重要なリスク管理情報である、画像診断・検査や薬理、予防の基礎などについても講義を行なう。講師は、病院等で勤務されている現役の医師、看護師、薬剤師、放射線技師、理学療法士がオムニバス形式で行なう。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	診療科・分野別に、 1) 基礎的知識としての機能解剖を理解し、説明することができる。 2) 疾病概念や治療方法に関する知識を修得し、説明することができる。 3) 予防医療や看護業務に関する知識を修得し、説明することができる。		
授業計画	準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間		
1	泌尿器科疾患:排尿の異常・自己導尿(九州労災副院長 中島先生)	事前:講義テーマについて予習する(90分) 事後:講義内容をノートにまとめ復習する(90分)	
2	口腔機能低下症・摂食機能障害の基礎とリハビリテーション(戸畑総合病院 歯科口腔外科部長 石田先生)	事前:講義テーマについて予習する(90分) 事後:講義内容をノートにまとめ復習する(90分)	
3	耳鼻科疾患:耳鼻咽喉科領域の解剖・疾患への理解(九州労災病院 耳鼻咽喉科科長 花栗先生)	事前:講義テーマについて予習する(90分) 事後:講義内容をノートにまとめ復習する(90分)	
4	眼科疾患:目の機能と各疾患(九州労災病院 眼科部長 森田先生)	事前:講義テーマについて予習する(90分) 事後:講義内容をノートにまとめ復習する(90分)	
5	リハビリテーション看護(褥瘡予防)(九州労災病院 看護師 久保先生)	事前:講義テーマについて予習する(90分) 事後:講義内容をノートにまとめ復習する(90分)	
6	救急医学の基礎(九州労災病院 外科 友杉先生)	事前:講義テーマについて予習する(90分) 事後:講義内容をノートにまとめ復習する(90分)	
7	がんのリハビリテーション(リハビリテーションを実施する上での基礎知識)(北九州市立医療センター 理学療法士長 音地先生)	事前:講義テーマについて予習する(90分) 事後:講義内容をノートにまとめ復習する(90分)	
8	がんのリハビリテーション(リハビリテーションの実践)(北九州市立医療センター 理学療法士長 音地先生)	事前:講義テーマについて予習する(90分) 事後:講義内容をノートにまとめ復習する(90分)	
9	呼吸器疾患に対するリハビリテーション:対象となる疾患と病態生理(霧ヶ丘つだ病院 院長 津田先生)	事前:講義テーマについて予習する(90分) 事後:講義内容をノートにまとめ復習する(90分)	
10	画像評価の基礎(X線、CT、DXA、マンモグラフィ等)(九州労災病院 放射線技師 宮副先生)	事前:講義テーマについて予習する(90分) 事後:講義内容をノートにまとめ復習する(90分)	
11	呼吸器疾患に対するリハビリテーション:呼吸リハビリテーションの評価、プログラムと実際(霧ヶ丘つだ病院 院長 津田先生)	事前:講義テーマについて予習する(90分) 事後:講義内容をノートにまとめ復習する(90分)	

12	画像評価の基礎 (MRI、PET、アンギオ) (九州労災病院 放射線技師 宮副先生)	事前:講義テーマについて予習する(90分) 事後:講義内容をノートにまとめ復習する(90分)
13	臨床薬学の基礎 (薬物の作用機序 薬物の体内動態 薬物相互作用) (九州栄養福祉大学 特任教授 戸田先生)	事前:講義テーマについて予習する(90分) 事後:講義内容をノートにまとめ復習する(90分)
14	臨床薬学の基礎 (薬効の個体差 薬物有害反応 薬と法律) (九州栄養福祉大学 特任教授 戸田先生)	事前:講義テーマについて予習する(90分) 事後:講義内容をノートにまとめ復習する(90分)
15	自然災害とリハビリテーション (被災地支援活動の実際) (小倉リハビリテーション病院 医局長 赤津先生)	事前:講義テーマについて予習する(90分) 事後:講義内容をノートにまとめ復習する(90分)

準備学習・事後学習等についての補足説明

講義前に各単元についての関連事項を予習しておくこと。講義後は、その日のうちに復習を行い、不明な点については各自調べるか、質問すること。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)

定期試験			
100%			

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
単元ごとに資料を配布するリハ実践テクニック 呼吸ケア(使用授業:津田先生)		

参考書又は参考資料等

リハベーシック 薬理学・臨床薬理学

その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕

単元別に講義の確認テストを行うことがあります。積極的に講義に参加すること。
質問があれば講義中もしくは、講義終了後に受け付けます。

担当教員の連絡先等

教員 E-mail	その他
非公開とする。	

授業科目名	リハビリテーション栄養学		
担当者名	近藤 順子	実務家教員	○
授業コード	1200116001	授業形態	講義
学年	2年	開講期	後期
単位数	2単位	履修	卒業・理学療法士、作業療法士必修
ナンバリング	DP2-2-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>リハビリテーション栄養学とは、国際生活機能分類による全人的評価と栄養障害の評価、診断、ゴール設定を行い、患者が日常生活や社会生活のなかで QOL を最大限に高めることができるように栄養管理を行っていくために必要な学問である。理学療法士、作業療法士においては、治療やリハビリテーションを円滑に進めるうえで栄養の基礎的な知識があることが欠かせない時代となってきた。医療現場での実務経験を活かし、エビデンスに基づいた内容を交えながら授業を進めていく。リハビリテーションの効果を高めるために必要な栄養学の知識を修得し、また栄養補給法および医療における尊厳を理解した上で、栄養摂取をテーマにグループディスカッションを行う。栄養摂取について様々な角度からその重要性について考え、実践の場で役立てることを目指す。</p>		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<p>1) 必要栄養量と栄養評価について理解する。 2) 主な病態の栄養管理について理解する。 3) リハビリテーション栄養学の実践を理解する。</p>		
授業計画	準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間		
1	オリエンテーション リハビリテーション栄養学とは	事前:授業計画内容について事前に調べておく(90分) 事後:配布資料に記入した重要語句について復習しておく(90分)	
2	栄養の基礎①:エネルギー及び栄養素の役割	事前:授業計画内容について事前に調べておく(90分) 事後:配布資料に記入した重要語句について復習しておく(90分)	
3	栄養の基礎②:栄養摂取について	事前:授業計画内容について事前に調べておく(90分) 事後:配布資料に記入した重要語句について復習しておく(90分)	
4	栄養の基礎③:栄養摂取とは? グループディスカッション及び発表	事前:グループディスカッションのテーマについて情報収集を行う(90分) 事後:学んだ内容について考察をまとめておく(90分)	
5	栄養の基礎④:栄養補給法	事前:授業計画内容について事前に調べておく(90分) 事後:配布資料に記入した重要語句について復習しておく(90分)	
6	栄養の基礎⑤:必要栄養量の求め方	事前:授業計画内容について事前に調べておく(90分) 事後:配布資料に記入した重要語句について復習しておく(90分)	
7	栄養の基礎⑥:リハを行う患者の必要栄養量	事前:授業計画内容について事前に調べておく(90分) 事後:配布資料に記入した重要語句について復習しておく(90分)	
8	栄養の基礎⑦:ケーススタディ 栄養管理プロセスと計画表	事前:第6回、第7回の内容について復習しておく(90分) 事後:ケーススタディで得た知識や手順を整理しておく(90分)	

9	主な病態の栄養管理①:糖尿病	事前:授業計画内容について事前に調べておく(90分) 事後:配布資料に記入した重要語句について復習しておく(90分)
10	主な病態の栄養管理②:虚弱高齢者	事前:授業計画内容について事前に調べておく(90分) 事後:配布資料に記入した重要語句について復習しておく(90分)
11	主な病態の栄養管理③:摂食嚥下障害	事前:授業計画内容について事前に調べておく(90分) 事後:配布資料に記入した重要語句について復習しておく(90分)
12	グループワーク:治療用特殊食品について	事前:特殊食品の機能について情報収集を行う(90分) 事後:特殊食品使用の効果についてまとめておく(90分)
13	グループディスカッション:テーマ「栄養と生命の関係」	事前:グループディスカッションのテーマについて情報収集を行う(90分) 事後:学んだ内容について考察をまとめておく(90分)
14	プレゼンテーション:「栄養と生命の関係」第13回目の内容を発表	事前:プレゼンテーションの準備(90分) 事後:他グループの参考になる意見をまとめておく(90分)
15	栄養摂取の考え方や臨床現場での重要事項について振り返る	事前:これまでの授業内容について重要ポイントをまとめておく(90分) 事後:配布資料を活用し定期試験に向け復習しておく(90分)

準備学習・事後学習等についての補足説明

- ・栄養状態は生命予後に大きく影響する。そのため、食に興味を持ち視野を広げてほしい
- ・第4回、第13回のグループディスカッションについては、事前に情報を収集し自分の考えをまとめておく

成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)

定期試験	授業への取組み姿勢		
90%	10%		

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
使用しない		

参考書又は参考資料等

講義中に適宜資料を配布する

その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕

- ・運動や活動に必要なエネルギーおよび栄養素を理解し、自らの食生活を見直して欲しい
- ・講義中に資料を配布するので、重要ポイントを整理しておき定期試験に向け活用してください

担当教員の連絡先等

教員 E-mail	その他

授業科目名	リハビリテーション概論		
担当者名	橋元 隆、浜村 明德、 西野 憲史、蜂須賀 研二、 四元 孝道	実務家教員	
授業コード	1200082001	授業形態	講義
学年	1年	開講期	前期
単位数	2単位	履修	卒業・理学療法士・作業療法士必修
ナンバリング	DP2-1-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	理学療法士、作業療法士の業務、役割をリハビリテーションの理念、歴史、目的、領域、現状を通して学びます。また、リハビリテーションにおける多職種協働やチームワークの重要性、さらには地域リハビリテーションなど包括的ケアシステムの考え方を教授します。内容が広範、かつ多岐にわたるとともにその領域分野のエキスパートの外来講師も分担講義を担当します。毎回テーマに関連した資料を配布します。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	自らが目指している理学療法士・作業療法士の業務・役割を理解できる。 関連職種とのチームワーク・協働の在り方、またコミュニケーションの重要性について理解できる。 理学療法・作業療法の実践にあたり、どのような知識・技術を在学中に習得し、実践することができるかその構えをつくる。		
授業計画		準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間	
1	リハビリテーションの歴史と理念・目的(橋元)	事前:リハビリテーションという言葉について調べる(90分) 事後:講義内容の復習と講義ノートの作成(90分)	
2	高齢社会とリハビリテーション(西野憲史)	事前:高齢社会におけるPT・OTの役割について調べる(90分) 事後:講義内容の復習と講義ノートの作成(90分)	
3	生活障害の捉え方-ICF・ICD・ICIDH(橋元)	事前:機能障害と生活障害の違いについて調べる(90分) 事後:講義内容の復習と講義ノートの作成(90分)	
4	高齢社会とリハビリテーション(西野憲史)	事前:高齢社会におけるPT・OTの役割について調べる(90分) 事後:講義内容の復習と講義ノートの作成(90分)	
5	地域リハビリテーションの概念・実際(浜村明德)	事前:地域リハビリテーションとは何かについて調べる(90分) 事後:講義内容の復習と講義ノートの作成(90分)	
6	地域包括ケアと地域リハビリテーション(浜村明德)	事前:リハ医学の目的と評価について調べる(90分) 事後:講義内容の復習と講義ノートの作成(90分)	
7	リハビリテーション医学・評価について(蜂須賀研二)	事前:リハ医学の目的と評価について調べる(90分) 事後:講義内容の復習と講義ノートの作成(90分)	
8	リハビリテーション医学・治療、ロボット(蜂須賀研二)	事前:リハ医学の治療手段、ロボットについて調べる(90分) 事後:講義内容の復習と講義ノートの作成(90分)	
9	リハビリテーションの関連法規(四元)	事前:理学療法士・作業療法士法について調べる(90分) 事後:講義内容の復習と講義ノートの作成(90分)	
10	リハビリテーションにおける多職種連携(四元)	事前:チーム医療について調べる(90分) 事後:講義内容の復習と講義ノートの作成(90分)	

11	医学的リハビリテーション(橋元)	事前:医学的リハの流れについて調べる(90分) 事後:講義内容の復習と講義ノートの作成(90分)
12	教育的リハビリテーション(四元)	事前:差別とは、療育とは何かについて調べる(90分) 事後:講義内容の復習と講義ノートの作成(90分)
13	社会的・職業的リハビリテーション(四元)	事前:平等とは、合理的配慮とは何かについて調べる(90分) 事後:講義内容の復習と講義ノートの作成(90分)
14	理学療法士・作業療法士の現状と展望(橋元)	事前:どのようなPT・OTを目指すか夢を描いてみる(90分) 事後:講義内容の復習と講義ノートの作成(90分)
15	食(栄養)と運動(「リハ」)の融合「健康生活の番人」とは(橋元)	事前:建学の精神、食と運動の連携について調べる(90分) 事後:講義内容の復習と講義ノートの作成・まとめ(90分)

準備学習・事後学習等についての補足説明

リハビリテーションの最終目的は社会参加・生活の再建であり、その支援である。

日々の社会変化に疎くならないように、世の中の出来事に興味を持つこと。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)

定期試験	レポート	授業に臨む姿勢	
70%	20%	10%	

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
適時講義資料を配布します		

参考書又は参考資料等

蜂須賀研二 編集:「服部リハビリテーション全書 第3版」医学書院 2014

その他、図書室に多くの関連書があるので、おおいに利用してください。

その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕

リハビリテーションの最終目的は生活の再建であり、その支援である。

日々の社会変化に疎くならないように、世の中の出来事に興味を持つこと。

担当教員の連絡先等

教員 E-mail	その他

授業科目名	地域保健学		
担当者名	沖 勉	実務家教員	
授業コード	1200083001	授業形態	講義
学年	2年	開講期	前期
単位数	2単位	履修	卒業・理学療法士・作業療法士必修
ナンバリング	DP3-2-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	現代の医療は、疾病の治療だけでなく、健康の保持増進、疾病の早期発見・早期治療、リハビリテーションを含む包括的医療サービスが望まれている。医療ニーズの変化を知り、社会構造を理解することで、国民の健康増進から治療、リハビリテーションまで取り組む PT/OT のための地域保健学の基礎を学修する。講義終了後の Google フォームでの小テストにおいて、解説も記載しており、反復学習を期待する。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	1. 地域保健学の基礎知識として公衆衛生学の基本を学修する。 2. 保健医療福祉における PT/OT の役割機能を理解し、多職種連携ができるようになる。		
授業計画		準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間	
1	公衆衛生とは(P1～14)	予習:教科書の該当箇所の確認 (20分) 復習:小テストとその解説で理解が進んでない個所を教科書と付録の整理ノートで確認・整理する (20分)	
2	健康と環境、疫学的方法(P15～28)	予習:教科書の該当箇所の確認 (20分) 復習:小テストとその解説で理解が進んでない個所を教科書と付録の整理ノートで確認・整理する (20分)	
3	健康の指標(P29～50):ビックデータの利用の仕方	予習:教科書の該当箇所の確認 (20分) 復習:小テストとその解説で理解が進んでない個所を教科書と付録の整理ノートで確認・整理する (20分)	
4	感染症とその予防(P51～68):病院実習に向けての諸注意	予習:教科書の該当箇所の確認 (20分) 復習:小テストとその解説で理解が進んでない個所を教科書と付録の整理ノートで確認・整理する (20分)	
5	食品保健(P69～79):病院での食品衛生管理	予習:教科書の該当箇所の確認 (20分) 復習:小テストとその解説で理解が進んでない個所を教科書と付録の整理ノートで確認・整理する (20分)	
6	生活環境の保全(P92～118):北九州市の取り組みを例示として	予習:教科書の該当箇所の確認 (20分) 復習:小テストとその解説で理解が進んでない個所を教科書と付録の整理ノートで確認・整理する (20分)	
7	医療・介護の保障制度(P119～132):医療介護総合確保法・診療報酬・生活保護法・介護保険法	予習:教科書の該当箇所の確認 (20分) 復習:小テストとその解説で理解が進んでない個所を教科書と付録の整理ノートで確認・整理する (20分)	
8	地域保健活動(P133～150):北九州市での取り組みを例示として	予習:教科書の該当箇所の確認 (20分) 復習:小テストとその解説で理解が進んでない個所を教科書と付録の整理ノートで確認・整理する (20分)	
9	母子保健(P151～165):北九州市での取り組みを例示として	予習:教科書の該当箇所の確認 (20分) 復習:小テストとその解説で理解が進んでない個所を教科書と付録の整理ノートで確認・整理する (20分)	

10	学校保健(P167～183)	予習:教科書の該当箇所の確認 (20分) 復習:小テストとその解説で理解が進んでない個所を教科書と付録の整理ノートで確認・整理する (20分)
11	生活習慣病と国民の栄養(P185～203、P80～89): 北九州市での取り組みを例示として	予習:教科書の該当箇所の確認 (20分) 復習:小テストとその解説で理解が進んでない個所を教科書と付録の整理ノートで確認・整理する (20分)
12	健康教育とヘルスプロモーション(P217～230)	予習:教科書の該当箇所の確認 (20分) 復習:小テストとその解説で理解が進んでない個所を教科書と付録の整理ノートで確認・整理する (20分)
13	難病対策(P205～215)	予習:教科書の該当箇所の確認(20分) 復習:小テストとその解説で理解が進んでない個所を教科書と付録の整理ノートで確認・整理する (20分)
14	精神保健福祉(P231～242):北九州市での取り組みを例示として	予習:教科書の該当箇所の確認(20分) 復習:小テストとその解説で理解が進んでない個所を教科書と付録の整理ノートで確認・整理する (20分)
15	産業保健(P243～261):労働者としてのPT/OT	予習:教科書の該当箇所の確認(20分) 復習:小テストとその解説で理解が進んでない個所を教科書と付録の整理ノートで確認・整理する (20分)
準備学習・事後学習等についての補足説明		
予習はシラバスのテーマに沿って、教科書を基本とする。復習は、Google フォームでの小テストを毎回実施する。教科書付録の整理ノートも復習時に十分活用すること。小テストの提出は、成績評価に換算される。		
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)		
定期試験	小テスト	
70%	30%	
使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
わかりやすい公衆衛生学 第4版	清水忠彦・佐藤拓代 編集	スーヴェルヒロカワ
参考書又は参考資料等		
厚生労働統計協会編集:国民衛生の動向、2023/2024年版		
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕		
講義中の私語は厳禁。他の受講生の迷惑になるので退室させる。質問があれば、挙手して適宜質問すること。小テストは成績評価の対象なので、毎週送信すること。		
担当教員の連絡先等		
教員 E-mail	その他	
	火急な連絡等が必要な場合は、教務に相談すること。 復習時に疑問があれば、Web メールで質問すること。Google フォームに質問を記載されると、見落とす可能性があり、Web メールで質問すること。	

授業科目名	臨床統計		
担当者名	久保 昂大	実務家教員	
授業コード	1200061001	授業形態	演習
学年	カリキュラムにより異なります。	開講期	後期
単位数	1 単位	履修	卒業・作業療法士選択必修
ナンバリング	DP4-3-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	統計学の基礎を学び、実験データ、調査データの処理や解釈を行う。基礎的な統計学の方法の解説と演習を身近なデータで取り上げる。できるだけ数式を使わず、難解な数学的論証を省きつつも、医療現場に即した事例で幅広い内容とする。演習を通してその解析・活用方法を理解していく。授業形態は演習である。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で取り扱う統計学の知識や分析法について説明できるようになる ・データを分析することができる ・研究内容に対して適切な分析方法を選択することができる 		
授業計画	準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間		
1	ガイダンス統計学を学ぶ意義について	事前	統計学を学ぶ意義について考える(45分) 事後 授業内容の見直し(45分)
2	データと変数について尺度と代表値・散布度	事前	事前に提示する統計用語を調べてくる(45分) 事後 講義内容を振り返り、理解を深める(45分)
3	標準化・エラーバーグラフ・箱ひげ図・クロス表	事前	事前に提示する統計用語を調べてくる(45分) 事後 講義内容を振り返り、理解を深める(45分)
4	統計ソフトについて:RとRstudioの基礎	事前	事前に提示する統計用語を調べてくる(45分) 事後 講義内容を振り返り、理解を深める(45分)
5	推測統計	事前	第2回から第4回までの内容を復習してくる(30分) 事後 講義内容を振り返り、理解を深める(45分)
6	統計的仮説検定	事前	事前に提示する統計用語を調べてくる(45分) 事後 講義内容を振り返り、理解を深める(45分)
7	t検定	事前	事前に提示する統計用語を調べてくる(45分) 事後 講義内容を振り返り、理解を深める(45分)
8	t検定(演習)	事前	事前に提示する統計用語を調べてくる(45分) 事後 講義内容を振り返り、理解を深める(45分)
9	一要因分散分析	事前	第6・7・8回の内容を復習してくる(30分) 事後 講義内容を振り返り、理解を深める(45分)
10	一要因分散分析(演習)	事前	事前に提示する統計用語を調べてくる(45分) 事後 講義内容を振り返り、理解を深める(45分)
11	パラメトリック検定	事前	第9回と第10回の内容を復習してくる(30分) 事後 講義内容を振り返り、理解を深める(45分)
12	相関分析	事前	事前に提示する統計用語を調べてくる(30分) 事後 講義内容を振り返り、理解を深める(45分)
13	回帰分析	事前	事前に提示する統計用語を調べてくる(30分) 事後 講義内容を振り返り、理解を深める(45分)
14	相関分析・回帰分析(演習)	事前	第12回と第13回の内容を復習してくる(30分) 事後 講義内容を振り返り、理解を深める(45分)

15	まとめ	事前 これまでの授業ノートを整理する(90分) 事後 これまで学んだことが自身の生活や研究にどう役立つのかを考える(90分)
準備学習・事後学習等についての補足説明		
各授業後に、次回の授業の予習内容を提示します。授業が始まる前までに、予習内容をノートにまとめてきてください。		
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)		
授業への参加度	分析レポート	
40%	60%	
使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
リハビリテーション統計学	石川朗・種村留美	中山書店
参考書又は参考資料等		
準備していただく参考書は特にありません。しかし、わかりやすく説明されている書籍を提示しますので、予習や復習に活用してみてください。山田剛史・村井潤一郎(著) よくわかる心理統計 ミネルヴァ書房 向後千春・富永敦子(著) 統計学がわかる:ハンバーガーショップでむりなく学ぶ、やさしく楽しい統計学 技術評論社 対馬栄輝(編) 医療統計解析使いこなし実践ガイド:臨床統計で迷わない Q & A 羊土社 資料は必要に応じて配布致します。		
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕		
学習計画は予定であり、学生の皆さんの理解度に合わせて変更する可能性があります。		
担当教員の連絡先等		
教員 E-mail	その他	
	学習計画は予定であり、学生の皆さんの理解度に合わせて変更する可能性があります。	

授業科目名	作業療法学概論		
担当者名	四元 孝道、青山 克実	実務家教員	○
授業コード	1220065001	授業形態	講義
学年	1年	開講期	前期
単位数	2単位	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP2-1-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	作業療法とは何かについて、その歴史や原理について長年の臨床経験を有する実務家教員によるより具体的な作業療法を総合的・体系的に概説する。また、対象となる身体機能分野、高齢期分野、精神機能分野、発達課程分野の作業療法実践過程について理解を深め、作業療法の範囲や役割について考察する。加えて、医療人としてリハビリテーションにおける作業療法士の資質について検討する。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> 1. 作業療法に興味を持ち、作業療法に関する知識を得るための努力ができる。 2. 作業療法とは何かを説明できる。 3. 「作業」とは何かを議論することができる。 4. 作業療法の評価から介入に至る作業療法過程を説明できる。 5. 4つの分野ごとの作業療法の役割と内容の概略を述べるができる。 		
授業計画		準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間	
1	オリエンテーション:授業の進め方、授業ファイルの作成について、作業療法とは(四元)	事前:教科書p3-13を読み作業療法の定義についてまとめておく 事後:ワークノートの整理	
2	作業療法の歴史と原理(青山)	事前:教科書のp15-25を読み、作業療法の原理が何かを考えておく(90分) 事後:ワークノートの整理(90分)	
3	リハビリテーション発祥地記念館見学(青山)	事前:リハビリテーション発祥地記念館について調べておく(90分) 事後:見学レポート作成(90分)	
4	作業療法に関する予備知識と作業療法の実践現場(四元)	事前:教科書のp27-47を読み、作業療法に必要な知識や作業療法士がかかわる領域を理解しておく。(90分) 事後:ワークノートの整理(90分)	
5	作業の分析と治療への適用(四元)	事前:教科書のp51-72を読み、作業分析とは何かを考え、作業の治療的適用を理解しておく(90分) 事後:ワークノートの整理(90分)	
6	作業療法の理論(青山)	事前:教科書のp74-83を読み、業療法に関する理論の大枠を理解しておく(90分) 事後:ワークノートの整理(90分)	
7	作業療法士の養成と教育(青山)	事前:教科書のp87-141を読み、作業療法士に求められる資質を理解し、その養成課程や卒前卒後教育、日本作業療法士協会について知識を深めておく(90分) 事後:ワークノートの整理(90分)	
8	作業療法の実践課程(四元)	事前:教科書のp145-164を読み、作業療法の実践課程の大枠を理解しておく(90分) 事後:ワークノートの整理(90分)	

9	身体機能分野における作業療法の実際(四元)	事前:教科書の p169-181 を読み、身体機能分野の具体的作業療法を調べる(90 分) 事後:ワークノートの整理(90 分)
10	精神機能分野における作業療法の実際(青山)	事前:教科書の p182-195 を読み、精神機能分野の具体的作業療法を調べる(90 分) 事後:ワークノートの整理(90 分)
11	発達過程分野における作業療法の実際(青山)	事前:教科書の p196-211 を読み、教発達過程分野の具体的作業療法を調べる(90 分) 事後:ワークノートの整理(90 分)
12	高齢期分野における作業療法の実際(青山)	事前:教科書の p212-227 を読み、高齢期分野の具体的作業療法を調べる。(90 分) 事後:ワークノートの整理(90 分)
13	社会保障制度の理解(青山)	事前:教科書の p231-241 を読み、医療保険と介護保険の違いをまとめておく。(90 分) 事後:ワークノートの整理(90 分)
14	作業療法部門の管理運営(青山)	事前:教科書の p246-269 を読み、作業療法部門の管理運営とは何かを考えておく。(90 分) 事後:ワークノートの整理(90 分)
15	まとめ・作業療法の現状と展望(青山)	事前:これからの作業療法、作業療法の発展について調べてくる(90 分) 事後:ワークノートの整理(90 分)

準備学習・事後学習等についての補足説明

指定された、事前、事後の学習内容について予習・復習を欠かさず、可能な限り疑問点を解決すること。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)

定期試験	授業ノートの完成度	課題	小テスト
40%	20%	20%	20%

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
標準作業療法学 作業療法学概論 第4版	能藤真一 編集	医学書院

参考書又は参考資料等

作業療法全書 改訂第3版 第1巻 作業療法概論 日本作業療法士協会監修 杉原素子編集 協同医書出版社
作業療法学 ゴールドマスターテキスト 作業療法学概論 長崎重信監修 メジカルビュー社

その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕

担当教員の連絡先等

教員 E-mail	その他

授業科目名	基礎作業演習 I		
担当者名	平澤 勉、村田 奈保子	実務家教員	○
授業コード	1220092001	授業形態	演習
学年	1 年	開講期	2024 年度前期
単位数	1 単位	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP4-1-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	作業療法の根幹なる作業活動を理解し治療に応用する要因を明らかにすることを目的として、作業学の歴史を踏まえ基礎作業学を概観する。そのうえで、作業遂行に関する理論や、実践のための分析方法について、演習を通して学ぶ。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> 1. 作業療法の哲学を知り、人間と作業の関係を説明することができる。 2. 作業療法における作業の適用のしかたと実践について理解することができる。 3. 作業分析、目標設定、指導法を説明することができる。 		
授業計画	準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間		
1	作業療法における作業、作業学 p.6-13(平澤)	事前:指定範囲の通読とアンダーマークを引く(20 分) 事後:小テストに備えて、学んだことを整理する(25 分)	
2	作業療法に関連する基本的事項 p.14-20(平澤)	事前:小テストに備えて、前回の内容を復習する(20 分) 事後:小テストに備えて、学んだことを整理する(25 分)	
3	作業分析 包括的作業分析演習 p.39-45(平澤)	事前:小テストに備えて、前回の内容を復習する(20 分) 事後:作業分析の課題(25 分)	
4	包括的作業分析演習 課題発表 p.39-45(平澤)	事前:作業分析の課題(20 分) 事後:作業分析の課題(25 分)	
5	作業分析 限定的作業分析演習 p.39-45(平澤)	事前:作業分析の課題(20 分) 事後:作業分析の課題(25 分)	
6	理論とは、作業科学(平澤)	事前:小テストに備えて、前回の内容を復習する(20 分) 事後:小テストに備えて、学んだことを整理する(25 分)	
7	諸理論と作業 カナダモデル p.288-295(平澤)	事前:小テストに備えて、前回の内容を復習する(20 分) 事後:小テストに備えて、学んだことを整理する(25 分)	
8	諸理論と作業 人間作業モデル p.235-244(平澤)	事前:小テストに備えて、前回の内容を復習する(20 分) 事後:小テストに備えて、学んだことを整理する(25 分)	
9	諸理論と作業 感覚統合と作業 p.274-287 (平澤)	事前:小テストに備えて、前回の内容を復習する(20 分) 事後:小テストに備えて、学んだことを整理する(25 分)	
10	治療への応用 精神障害 p.318-322 (平澤)	事前:小テストに備えて、前回の内容を復習する(20 分) 事後:学んだことを整理する(25 分)	
11	作業はどう使えば効果的か? 身体機能を向上させるための方法 p.24-38(村田)	事前:指定範囲の通読とアンダーマークを引く(20 分) 事後:振り返りシートを学習する(25 分)	
12	治療への応用 身体障害① p.306-317 (村田)	事前:指定範囲の通読とアンダーマークを引く(20 分) 事後:振り返りシートを学習する(25 分)	
13	治療への応用 身体障害② p.306-317 (村田)	事前:指定範囲の通読とアンダーマークを引く(20 分) 事後:振り返りシートを学習する(25 分)	
14	治療への応用 高齢者 p.340-352 (村田)	事前:指定範囲の通読とアンダーマークを引く(20 分) 事後:振り返りシートを学習する(25 分)	

15	治療への応用 認知症 p.353-365 (村田)	事前:本科目を振り返り、不十分な点を復習する(20分) 事後:定期試験に向けて復習する(25分)	
準備学習・事後学習等についての補足説明			
「自ら学ぶ」という意志と行動を求めます。演習は自発的に参加してください。 分からないこと(知らない言葉など)をそのままにしない習慣を身に付けてください。			
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)			
定期試験	課題(小テスト、演習課題等)	ポートフォリオ	
40%	50%	10%	
使用テキスト			
書籍名	著者	出版社	
作業療法学 ゴールド・マスター・テキスト 改訂第3版 作業学	長崎重信監修	メジカルビュー社	
参考書又は参考資料等			
授業中に紹介します。			
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕			
担当教員の連絡先等			
教員 E-mail	その他		

授業科目名	基礎作業演習Ⅱ		
担当者名	青山 克実、久保 拓哉	実務家教員	○
授業コード	1220093001	授業形態	演習
学年	2年	開講期	前期
単位数	1単位	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP4-2-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	作業活動を科学的視点で捉えるために、メディカル機器の概要及びその操作手順、データ解析法を学ぶ。さらに、日常生活活動において動作的・認知的・感情的側面にわけて活動の構成要素を明確にするとともに、各疾患の症状や病態像を踏まえた分析演習を行う。授業形態は演習である。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ul style="list-style-type: none"> ■ 作業を作業科学および作業療法理論の視点で分析し説明できる。 ■ 人の生活を作業科学および作業療法理論の視点で分析し説明できる。 ■ 人間の動きに関する動作分析の方法を理解し、基本的動作を分析することができるようになる。 ■ 日常生活活動における動作的要素、認知的要素、感情的要素を理解することができるようになる。 ■ 運動障害や認知障害に伴う行動問題を分析することができるようになる。 		
授業計画		準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間	
1	オリエンテーション 作業科学および作業療法理論の臨床での応用(青山)	事前:シラバスを通読し、作業科学概要を調べる(20分) 事後:振り返りシートを完成させる(25分)	
2	作業科学を用いた分析演習①(青山)～作業の形態・機能・意味①	事前:事前:シラバスを通読し、形態・機能・意味学の概要を調べる(20分) 事後:ワークシートを完成させる(25分)	
3	作業科学を用いた分析演習②(青山)～作業の形態・機能・意味②	事前:前回講義のワークシートを完成させる(20分) 事後:ワークシートを完成させる(25分)	
4	作業科学を用いた分析演習③(青山)～作業バランス	事前:作業バランスの概要と「作業質問紙」を調べる(20分) 事後:ワークシートを完成させる(25分)	
5	作業療法理論を用いた分析演習④～人間作業モデルに基づく人と環境、作業の理解(青山)	事前:人間作業モデルの構成概念を復習する(20分) 事後:ワークシートを完成させる(25分)	
6	作業科学を用いた分析演習⑤(青山)～総合演習	事前:ここまでのワークシートを見直し、作業科学、人間作業モデルの概要を復習する(20分) 事後:プレゼンテーション準備(25分)	
7	作業科学を用いた分析演習⑥(青山)～プレゼンテーション	事前:プレゼンテーション準備(20分) 事後:プレゼンテーション資料の整理(25分)	
8	基本動作・応用動作の活動分析概論(久保)	事前:事前:基本動作を調べてICF項目を考えておく(20分) 事後:ワークノートの整理(25分)	
9	基本動作(寝返り起き上がり)(久保)	事前:寝返り起き上がり動作の構成要素を考えておく(20分) 事後:ワークノートの整理(25分)	
10	基本動作(立ち上がり)実際の動作解析装置を使用した分析(久保)	事前:立ち上がり動作の構成要素を考えておく(20分) 事後:ワークノートの整理(25分)	

11	応用動作(上衣更衣)(久保)	事前:更衣動作(上衣)の構成要素を考えておく(20分) 事後:ワークノートの整理(25分)
12	応用動作(IADL)(青山)	事前:IADLから活動を選択し、構成要素を考えておく(20分) 事後:ワークノートの整理(25分)
13	活動分析の実際:測定機器を用いた定量的評価のデータ収集演習①(久保)	事前:測定機器について調べる(20分) 事後:ワークノートの整理(25分)
14	活動分析の実際:測定機器を用いた定量的評価のデータ収集演習②(久保)	事前:測定機器について調べる(20分) 事後:ワークノートの整理とプレゼンテーション準備(25分)
15	活動分析の実際:統計を用いたデータ処理演習(青山・久保)	事前:統計について調べる(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の作成(25分)
準備学習・事後学習等についての補足説明		
<p>■授業中にディスカッションやプレゼンテーションした内容のメモや資料をまとめたものをワークノートとする。</p> <p>■最終回に授業全体のワークノートや検索した資料をすべてまとめたものをポートフォリオとする。</p> <p>作業療法の理論に基づくクライアントのとらえ方や思考過程を養う意識をもって臨んでください。</p>		
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)		
ポートフォリオの完成度	授業へ取り組み	課題の完成度
60%	10%	30%
使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
「作業」って何だろう 作業科学入門第2版	吉川ひろみ	医歯薬出版
参考書又は参考資料等		
日常生活活動の分析 身体運動学的アプローチ (編)藤澤宏幸 医歯薬出版株式会社		
脳卒中片麻痺の基本動作分析 長田悠路 メジカルビュー社		
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕		
担当教員の連絡先等		
教員 E-mail	その他	

授業科目名	基礎作業実習		
担当者名	深町 晃次、村田 奈保子、青山 克実、 平澤 勉	実務家教員	○
授業コード	1220094001	授業形態	実習
学年	1年	開講期	通年
単位数	1単位	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP4-1-C		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>作業療法において活用頻度の高い種目を中心に、実際の作業活動に取り組む。</p> <p>学生自身が心身に起こる様々な変化を体験し、作業活動への理解を深める。</p> <p>評価・治療への応用ができるようになることを目標とする。授業形態は実習である。</p> <p>実習の際は、実務経験を有する教員が臨床における活用のポイントを、適宜、指導する。</p>		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> 1. 作業療法における「作業」を理解した上で、各作業活動に取り組む。 2. 体験を通して、各作業活動の材料や道具の特性を説明できる。 3. 各作業の作業工程を説明できる。 4. 作業活動について活動分析を行うことができる。 5. 作業活動を他者に指導できる。 		
授業計画	準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間		
1	オリエンテーションレクリエーション① 活動特性の説明と実施(深町)		
2	レクリエーション② 指導体験 活動分析グループ討議 (深町)		
3	コラージュ 活動特性の説明 制作活動分析 グループ討議(深町)		
4	陶芸① 活動特性の説明 陶芸制作(深町・平澤)		
5	陶芸② 陶芸制作(深町・平澤)		
6	陶芸③ 陶芸制作 制作指導体験(深町)	事後:小テスト準備(45分)	
7	陶芸④ 陶芸制作 活動分析 グループ討議(深町)	事後:小テスト復習(45分)	
8	木工① 活動特性の説明 制作(深町・青山)		
9	木工② 制作(深町・青山)		
10	木工③ 制作 制作指導体験(深町)	事後:小テスト準備(45分)	
11	木工④ 制作 活動分析 グループ討議(深町)	事後:小テスト復習(45分)	
12	革細工の活動特性、革細工制作と活動分析① (平澤・青山)	事前:当日行う工程の予習(15分) 事後:当日行った工程の作業記録シート作成(30分)	
13	革細工制作と活動分析②(平澤・青山)	事前:当日行う工程の予習(15分) 事後:当日行った工程の作業記録シート作成(30分)	
14	革細工制作と活動分析③(平澤・青山)	事前:当日行う工程の予習(15分) 事後:当日行った工程の作業記録シート作成(30分)	
15	革細工制作と活動分析④(平澤・青山)	事前:当日行う工程の予習(15分) 事後:包括的作業分析シートの作成(30分)	
16	編み細工① 活動特性の説明 編み細工制作 (青山・平澤)	事前:当日行う工程の予習(15分) 事後:当日行った工程の作業記録シート作成(30分)	

17	編み細工② 編み細工制作(青山・平澤)	事前:当日行う工程の予習(15分) 事後:当日行った工程の作業記録シート作成(30分)	
18	編み細工③ 編み細工制作 制作指導体験 (青山・平澤)	事前:当日行う工程の予習(15分) 事後:当日行った工程の作業記録シート作成(30分)	
19	編み細工④ 編み細工制作 活動分析(青山・平澤)	事前:当日行う工程の予習(15分) 事後:包括的作業分析シートの作成(30分)	
20	七宝焼の活動特性 七宝焼制作と活動分析①(村田)	事前:当日行う工程の予習(15分) 事後:当日行った工程の作業記録シート作成(30分)	
21	七宝焼制作と活動分析②(村田)	事前:当日行う工程の予習(15分) 事後:当日行った工程の作業記録シート作成(30分)	
22	七宝焼制作と活動分析③(村田)	事前:当日行う工程の予習(15分) 事後:当日行った工程の作業記録シート作成(30分)	
23	七宝焼制作と活動分析④(村田)	事前:当日行う工程の予習(15分) 事後:包括的作業分析シートの作成(30分)	
準備学習・事後学習等についての補足説明			
成績評価の方法[評価項目と割合]※上段:評価項目、下段:割合(%)			
授業での課題・ワークノート	授業貢献度	小テスト	成果物
40%	10%	30%	20%
使用テキスト			
書籍名	著者	出版社	
作業療法学 ゴールドマスターテキスト 作業学(第3版)	長崎 重信・監修	メジカルビュー社	
参考書又は参考資料等			
作業科学-作業的存在としての人間の研究-(三輪書店) 標準作業療法学 基礎作業学(医学書院) つくる・あそぶを治療にいかす 作業活動実習マニュアル<第2版>(医歯薬出版) はじめての陶芸(成美堂) 作業って何だろう(医歯薬出版)			
その他[受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて]			
①授業の進め方:各作業活動の最終後は、次週までに制作を終了し活動分析のレポートを提出して下さい。 ②事前・事後学修:各回授業の前に、指定した教科書を読んできて下さい。 ③その他履修者へ:実技や活動制作が中心となる授業のため、動きやすく汚れても大丈夫な服装で授業に臨んで下さい。 また、23回の授業終了後にまとめの時間を設定します。			
担当教員の連絡先等			
教員 E-mail	その他		

授業科目名	作業療法ゼミナール I		
担当者名	村田 奈保子、四元 孝道、佐野 幹剛、 深町 晃次、青山 克実、吉岡 奈々、 平澤 勉、久保 拓哉	実務家教員	○
授業コード	1220069001	授業形態	演習
学年	1年	開講期	通年
単位数	1単位	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP3-1-C		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	実務家教員の指導のもと、作業療法士の職域を調べ、作業療法が役立つ実際の場面を見学する。各々の学びを発表し共有することで、作業療法についての理解を深める。見学では医療人として望ましい常識的態度や責任のある行動を学修し、興味をもって意欲的に臨む姿勢を身に付ける。授業形態は演習である。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> 1. 作業療法士の活躍の場や作業療法に繋がる施設を理解することができる 2. 成人領域、発達領域、福祉機器および環境調整に対する作業療法について説明することができる 3. 社会人・医療人としての望ましい態度や行動をとることができる 		
授業計画	準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間		
1	オリエンテーション(村田)	事前:ゼミナールの意味や意義について調べる(20分) 事後:授業を受けて学んだことを振り返る(25分)	
2	見学時の心得について(責任ある対応、質問等) (村田)	事前:日常の挨拶や言葉遣いを意識化・文章化する(20分) 事後:日常の挨拶や言葉遣いを振り返り改善する(25分)	
3	福祉機器、環境調整に対する作業療法の理解(村田)	事前:福祉機器、環境調整に対する作業療法の役割を調べる(20分) 事後:授業を受けて学んだことを振り返る(25分)	
4	福祉機器、環境調整見学(村田)	事前:見学予定施設の情報を調べる(20分) 事後:見学内容についてレポート作成(25分)	
5	福祉機器、環境調整見学(村田)	事前:見学予定施設の情報を調べる(20分) 事後:見学内容についてレポート作成(25分)	
6	ADL 関連設備見学(平澤)	事前:見学予定施設の情報を調べる(20分) 事後:見学内容についてレポート作成(25分)	
7	ADL 関連設備見学(平澤)	事前:見学予定施設の情報を調べる(20分) 事後:見学内容についてレポート作成(25分)	
8	見学課題発表(村田、平澤)	事前:発表用資料を作成する(20分) 事後:発表後に受けたフィードバックを振り返る(25分)	
9	成人領域に対する作業療法の理解(見学時の対象者への対応、接遇を含む)(四元、青山)	事前:成人領域における作業療法の役割を調べる(20分) 事後:授業を受けて学んだことを振り返る(25分)	
10	成人領域施設見学(深町、青山、吉岡、久保)	事前:見学予定施設の情報を調べる(20分) 事後:見学内容についてレポート作成(25分)	
11	成人領域施設見学(深町、青山、吉岡、久保)	事前:見学予定施設の情報を調べる(20分) 事後:見学内容についてレポート作成(25分)	

12	発達領域に対する作業療法の理解(見学時の対象者への対応、接遇を含む)(佐野)	事前:発達領域における作業療法の役割を調べる(20分) 事後:授業を受けて学んだことを振り返る(25分)
13	発達領域見学(佐野、四元)	事前:見学予定施設の情報を調べる(20分) 事後:見学内容についてレポート作成(25分)
14	発達領域見学(佐野、四元)	事前:見学予定施設の情報を調べる(20分) 事後:見学内容についてレポート作成(25分)
15	成人・発達領域見学の振り返り (佐野、四元、深町、青山、吉岡、久保)	事前:発表用資料を作成する(20分) 事後:発表後に受けたフィードバックを振り返る(25分)

準備学習・事後学習等についての補足説明

作業療法につながる成人領域、発達領域、福祉機器および環境調整に関する施設を見学する。該当施設に対する調べ学習と、見学内容をレポートにまとめ提出する。見学後の振り返りではプレゼンテーションが求められる。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)

レポート	プレゼンテーション	授業への参加度	ポートフォリオ
40%	20%	20%	20%

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
使用しない(都度資料を配布)		

参考書又は参考資料等

授業内で紹介、適宜配布する

その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕

--

担当教員の連絡先等

教員 E-mail	その他

授業科目名	作業療法ゼミナールⅡ		
担当者名	平澤 勉、四元 孝道、佐野 幹剛、 村田 奈保子、青山 克実、深町 晃次、 吉岡 奈々、久保 拓哉	実務家教員	○
授業コード	1220070001	授業形態	演習
学年	2年	開講期	通年
単位数	1単位	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP3-2-C		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	各専門領域における先行研究論文についてグループで読み込み作業療法の研究の視点でとらえることを学修する。さらに、各自抄読した原著論文をまとめプレゼンテーションを経験し、研究論文を読む上での基礎的な知識を学修する。また、作業療法研究についての知識を深め、研究計画の基礎知識と手順・シミュレーションを経験する。授業形態は演習である。前期第1回～第8回は各ゼミグループ形式で行う。すべての授業において実務家教員が教示を行う。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	1. 研究論文を読み要約し報告できる。ディスカッションにより理解を深める。 2. 収集した資料をまとめ、プレゼンテーションすることができる。 3. 研究の概要とその具体的手続きを理解できる。 4. 主体的な学習方法を説明することができる。		
授業計画	準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間		
1	オリエンテーション・資料文献の検索方法	事前:シラバスの通読(10分) 事後:抄読会用の文献を検索する(35分)	
2	基礎的知識の利用と復習① 4/26 金Ⅱ限目	事前:1年次の学修を振り返る(45分)	
3	文献抄読会(身体障害、その他)	事前:文献抄読会準備(45分)	
4	文献抄読会(精神障害、その他)	事前:文献抄読会準備(45分)	
5	文献抄読会(発達障害、その他)	事前:文献抄読会準備(45分)	
6	プレゼンテーション演習 Power Point 発表①	事前:プレゼンテーション演習 Power Point 発表準備(45分)	
7	プレゼンテーション演習 Power Point 発表②	事前:プレゼンテーション演習 Power Point 発表準備(45分)	
8	基礎的知識の利用と復習② 7/12 金Ⅱ限目	事前:実習に向けた基礎的知識を振り返る(20分) 事後:臨床科目と基礎科目を統合させる(25分)	
9	オリエンテーション, 研究概要1p10～p17(村田)	事前:教科書該当箇所を通読し予習する(20分) 事後:研究とは何か, 臨床倫理と研究倫理について理解を深める(25分)	
10	研究概要 2 p18～p32(村田)	事前:教科書該当箇所を通読し予習する(20分) 事後:臨床疑問から研究計画の立案の流れを理解する(25分)	
11	基礎的知識の利用と復習③	事前:実習に向けた基礎的知識を振り返る(20分) 事後:臨床科目と基礎科目を統合させる(25分)	
12	量的研究 p34-41(平澤)	事前:教科書該当箇所を通読(20分) 事後:小テスト課題の復習(25分)	
13	事例を通じた研究 p50-67(平澤)	事前:教科書該当箇所を通読(20分) 事後:小テスト課題の復習(25分)	

14	研究の質と根拠に基づく医療 p71-74, p140-147 (平澤)	事前:教科書該当箇所を通読(20分) 事後:自らの研究疑問を検証するための研究計画立案を行い発表の準備をする(25分)
15	研究計画策定のシミュレーション(村田)	事前:研究計画策定方法について復習する(20分) 事後:研究計画案を完成させ提出する(25分)
準備学習・事後学習等についての補足説明		
第3-7回で一人あたり3回の発表(抄録シート2回, PPT1回)を行います。 課題提出や教員との連絡のため、Teamsをインストールし使用可能な状態にしておいてください。		
成績評価の方法[評価項目と割合]※上段:評価項目、下段:割合(%)		
ゼミへの貢献度	プレゼンテーション(3~7回)	小テストと課題(9、10、12~15回)
30%	30%	40%
使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
作業療法研究法	竹田徳則, 大浦智子編著	医歯薬出版
参考書又は参考資料等		
その他[受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて]		
担当教員の連絡先等		
教員 E-mail	その他	

授業科目名	作業療法管理学		
担当者名	四元 孝道、吉岡 奈々	実務家教員	○
授業コード	1220095001	授業形態	講義
学年	3年	開講期	前期
単位数	2単位	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP3-3-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	対象者に安全で質の高い作業療法を実践するために、作業療法士は組織として共通の目的を持って活動する。そのために職場の管理・運営(マネジメント)を行う。このマネジメントの概要を理解し、具体的内容を学ぶ。この中には、専門職としての職業倫理、リスク管理や環境の安全管理、記録、作業療法に関連する報酬、そして人材育成としての教育が含まれる。授業形態は講義である。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> 1. マネージメントとは何か、作業療法における何かを理解できる。 2. 作業療法におけるマネージメントの対象は何かを理解できる。 3. 作業療法におけるマネージメントの背景となる知識を理解できる。 		
授業計画		準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間	
1	オリエンテーション マネージメントとは、作業療法におけるマネージメント(四元)	事前:教科書 p1~10 を読みマネージメントとは何かを考えておく。(90分) 事後:ワークシートを調べマネージメントの理解を深める。(90分)	
2	組織の成り立ちとマネージメント(四元)	事前:教科書 p11~22 を読み組織とは何かを考えておく。(90分) 事後:ワークシートを調べ組織とマネージメントの理解を深める。(90分)	
3	情報のマネージメント(四元)	事前:教科書 p23~34 を読み情報のマネージメントとは何かを考えておく。(90分) 事後:ワークシートを調べ情報のマネージメントの理解を深める。(90分)	
4	情報のマネージメント、医療現場における電子カルテの運用実践(四元)	事前:電子カルテについて調べておく。(90分) 事後:カルテからの情報整理を行い課題レポートを完成させる。(90分)	
5	作業療法と医療サービス(吉岡)	事前:教科書 p35~46 を読み医療サービスについて考える。(90分) 事後:作業療法と医療サービスの理解を深める(90分)	
6	医療安全のマネージメント (組織と医療安全) (吉岡)	事前:教科書 p48~63 を読み医療安全について考えておく。(90分) 事後:ワークシートを調べ組織と医療安全のマネージメントを理解を深める。(90分)	
7	医療安全のマネージメント (臨床場面での実際) (吉岡)	事前:授業 6 の内容を復習し医療安全の知識を深めておく。(90分) 事後:医療安全について知識と臨床場面の実際を関連付けられる。(90分)	

8	作業療法と薬理学(吉岡)	事前:教科書 p66～76 を読み作業療法マネージメントの対象を理解しておく。(90分) 事後:作業療法における薬物の効能からリスクに関して理解を深める。(90分)
9	作業療法業務のマネージメント (人材育成・組織のマネジメント)(吉岡)	事前:教科書 p77～105 を読み作業療法マネージメントの対象を理解しておく。(90分) 事後:作業療法業務における人物や環境のマネージメントの理解を深める。(90分)
10	作業療法業務のマネージメント (経済性と労務管理・業務管理)(吉岡)	事前:教科書 p77～105 を読み作業療法の役割と職域について考えておく。(90分) 事後:作業療法業務における情報や役割のマネージメントの理解を深める。(90分)
11	作業療法の役割と職域(吉岡)	事前:教科書 p107～116 を読み作業療法の役割と職域について考えておく。(90分) 事後:作業療法業務の作業療法の役割と職域の理解を深める。(90分)
12	作業療法士の職業倫理(吉岡)	事前:教科書 p117～129 を読み作業療法の職業倫理について考えておく。(90分) 事後:作業療法士の職業倫理について理解を深める。(90分)
13	作業療法を取り巻く諸制度(四元)	事前:教科書 p131～147 を読み作業療法をとりまく制度について調べておく。(90分) 事後:作業療法と関連する諸制度の理解を深める。(90分)
14	作業療法臨床実習の理解と管理体制(吉岡)	事前:教科書 p149～160 を読み作業療法臨床実習について概略を理解しておく。(90分) 事後:作業療法臨床実習の理解を深める。(90分)
15	作業療法士のキャリア開発(吉岡)	事前:教科書 p161～174 を読み作業療法のキャリア開発について考えておく。(90分) 事後:作業療法のキャリア開発とは何かについて考えを深める。(90分)

準備学習・事後学習等についての補足説明

成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)

定期試験	ワークシート・課題		
50%	50%		

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
作業療法管理学	大庭潤平 編著	

参考書又は参考資料等

医療安全管理学

その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕

担当教員の連絡先等	
教員 E-mail	その他

授業科目名	作業療法評価学		
担当者名	吉岡 奈々、青山 克実	実務家教員	○
授業コード	1220096001	授業形態	講義
学年	1年	開講期	2024年度後期
単位数	2単位	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP2-1-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	対象者に適切な評価が行えるよう評価の基礎を学修する。評価を行うことの意味・目的、及び画像情報の利用を学修し、作業療法過程における評価の位置付けを理解する。作業療法における各領域の観察、検査、測定など評価手段の内容や各検査、測定項目の目的、意義や評価の留意点、記録の方法、得られた結果の解釈の仕方などを身体障害および精神障害領域での臨床経験を有する実務家教員から、より実践的な作業療法評価の基礎を修得する。授業形態は講義である。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> 1. 作業療法における”評価”の意義について説明できる 2. 作業療法実践過程を理解し評価の位置づけを説明できる 3. 作業療法における領域共通の評価法について説明できる 4. 作業療法における主たる領域の評価法を説明できる 		
授業計画	準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間		
1	評価とは何かオリエンテーション(吉岡)	事前:指定範囲を通読しに目を通し概観する(90分) 事後:授業内容を復習し、ICFを見直しておく(90分)	
2	作業療法の過程(吉岡)	事前:指定範囲を通読しに目を通し概観する(90分) 事後:作業療法評価の概略を理解し、また作業療法課程についても併せて理解する(90分)	
3	情報収集/面接/観察(吉岡)	事前:指定範囲を通読しに目を通し概観する(90分) 事後:授業で習った情報収集、面接、察について整理する(90分)	
4	検査の基礎所見(血液所見など)および計測所見の評価について(吉岡)	事前:指定範囲を通読しに目を通し概観する(90分) 事後:講義後に配布した「振り返りシート」に取り組む(90分)	
5	活動・参加(作業[ADL/IADL])の評価(青山)	事前:教科書 p213-216 の BI、FIM、AMPS 部分を通読し、アンダーマークを引く(90分) 事後:講義後に配布した「振り返りシート」に取り組む(90分)	
6	QOL, 興味, 役割の評価(青山)	事前:指定範囲(教科書 p241-255)を通読し、要点にアンダーマークを引く(90分) 事後:講義後に配布した「振り返りシート」に取り組む(90分)	
7	CROT 演習～統合と解釈/クリニカルリーズニング(青山)	事前:教科書(p19-22)を通読し、要点にアンダーマークを引く(90分) 事後:講義後に配布した「振り返りシート」に取り組む(90分)	
8	精神機能評価(青山)	事前:教科書(p486-513)を通読し、要点にアンダーマークを引く(90分) 事後:講義後に配布した「振り返りシート」に取り組む(90分)	
9	身体機能評価(吉岡)	事前:指定範囲を通読しに目を通し概観する(90分) 事後:身体機能評価について整理する(90分)	

10	高齢期機能評価(吉岡)	事前:指定範囲を通読しに目を通し概観する(90分) 事後:高齢期の特徴を理解しその評価の概要を復習する(90分)
11	高次脳機能障害評価(吉岡)	事前:指定範囲を通読しに目を通し概観する(90分) 事後:高次脳機能障害の特徴を理解しその評価の概要を復習する(90分)
12	発達期機能評価(吉岡)	事前:指定範囲を通読しに目を通し概観する(90分) 事後:発達期機能評価について整理する(90分)
13	就労の評価(青山)	事前:教科書(p632-648)を通読し、要点にアンダーマークを引く(90分) 事後:講義後に配布した「振り返りシート」に取り組む(90分)
14	記録・報告(青山)	事前:教科書(p28-35)を通読し、要点にアンダーマークを引く(90分) 事後:「振り返りシート」に取り組む(90分)
15	評価の実際(吉岡)	事前:1-14回の授業を振り返り、再学習する(90分) 事後:評価の実際を復習し理解する(90分)

準備学習・事後学習等についての補足説明

作業療法における評価とは何かを理解するために、評価の概略を理解します。教科書では、該当ページを示していますが、詳細については、2年生以降に具体的実施方法も含め深く学びます。その準備として教科書全般が範囲となっていますが、重要なポイントは授業中に示しますので集中して授業に参加してください。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)

定期試験	小テスト	課題	
50%	30%	20%	

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
標準作業療法評価 第4版	能登真一編集	医学書院

参考書又は参考資料等

小川真寛、藤本一博、京極真・編:5W1Hでわかりやすく学べる作業療法理論の教科書 メジカルビュー 2020
藤本一博、小川真寛、京極真・編:5W1Hでわかりやすく学べる作業療法リーズニングの教科書 メジカルビュー 2022

その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕

担当教員の連絡先等

教員 E-mail	その他

授業科目名	身体機能作業療法評価演習 I		
担当者名	四元 孝道、吉岡 奈々、久保 拓哉	実務家教員	○
授業コード	1220097001	授業形態	演習
学年	2年	開講期	2024年度前期
単位数	1単位	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP2-2-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	身体障害分野における関節可動域や筋力等の基礎的な評価の知識や方法を、演習を通して学修する。これらで学んだ評価法を用いて、解剖学的知識を生活機能に結び付ける視点を養う。授業形態は演習である。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	1.形態測定や関節可動域検査など各種の評価の意味や方法を説明できる。 2.各種検査を適切に実践できる。 3.各評価をまとめ、症例についての適切な報告が行える。		
授業計画	準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間		
1	オリエンテーション(評価の概論)(四元)	事前:指定された教科書を通読しておく(20分) 事後:評価概論や目的をまとめておく(25分)	
2	意識・バイタル(四元・吉岡・久保)	事前:指定された動画視聴し項目理解しておく(20分) 事後:ペアで練習を繰り返す(25分)	
3	筋力検査概論 徒手筋力検査①(四元・吉岡・久保)	事前:指定された動画視聴し項目理解しておく(20分) 事後:ペアで練習を繰り返す(25分)	
4	徒手筋力検査②(上肢)(四元・吉岡・久保)	事前:指定された動画視聴し項目理解しておく(20分) 事後:ペアで練習を繰り返す(25分)	
5	徒手筋力検査③(下肢)(四元・吉岡・久保)	事前:指定された動画視聴し項目理解しておく(20分) 事後:ペアで練習を繰り返す(25分)	
6	徒手筋力検査④(上下肢とその記録報告) (四元・吉岡・久保)	事前:指定された動画視聴し項目理解しておく(20分) 事後:ペアで練習を繰り返す(25分)	
7	形態測定①(概論と評価演習)(吉岡・久保・四元)	事前:指定された資料を通読しておく(20分) 事後:ペアで練習を繰り返す(25分)	
8	形態測定②(評価演習とその記録報告) (吉岡・久保・四元)	事前:指定された資料を通読しておく(20分) 事後:ペアで練習を繰り返す(25分)	
9	関節可動域①(概論と評価演習:上肢) (四元・吉岡・久保)	事前:指定された動画視聴し項目理解しておく(20分) 事後:ペアで練習を繰り返す(25分)	
10	関節可動域②(上肢とその記録報告) (四元・吉岡・久保)	事前:指定された動画視聴し項目理解しておく(20分) 事後:ペアで練習を繰り返す(25分)	
11	関節可動域③(上下肢)(四元・吉岡・久保)	事前:指定された動画視聴し項目理解しておく(20分) 事後:ペアで練習を繰り返す(25分)	
12	関節可動域④(下肢とその記録報告) (四元・吉岡・久保)	事前:指定された動画視聴し項目理解しておく(20分) 事後:ペアで練習を繰り返す(25分)	
13	排泄機能評価(四元・吉岡・久保)	事前:指定された資料を通読しておく(20分) 事後:資料を整理して課題を繰り返す(25分)	

14	評価の流れと位置づけ(四元・吉岡・久保)	事前:小テストに向けた整理と指定資料の通読を行っておく(25分) 事後:ディスカッション内容についてまとめておく(25分)	
15	まとめ(臨床を想定しての演習)(四元・吉岡・久保)	事前:これまでの項目をまとめておく(25分) 事後:症例から問題点をまとめ整理提出する(25分)	
準備学習・事後学習等についての補足説明			
関節可動域測定練習と徒手筋力検査法測定練習			
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)			
定期試験	実技試験	小テスト	
50%	30%	20%	
使用テキスト			
書籍名	著者	出版社	
標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第3版	(編)岩崎テル子、他	医学書院	
新・徒手筋力検査法 原著第9版	Helen J.Hislop Jacqueline Montgomery(訳)津山直一、他	協同医書	
参考書又は参考資料等			
齋藤慶一郎:臨床での測定精度を高める!ROM測定法-代償運動のとらえ方と制動法の理解と実践-(株)メジカルビュー社、東京、2016			
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕			
担当教員の連絡先等			
教員 E-mail	その他		

授業科目名	身体機能作業療法評価演習Ⅱ		
担当者名	吉岡 奈々、久保 拓哉	実務家教員	○
授業コード	1220098001	授業形態	演習
学年	2年	開講期	後期
単位数	1単位	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP2-2-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	身体障害分野における身体機能の様々な評価の知識や方法について、演習を通して学修する。これらで学んだ評価法を用いて生活への影響を考慮し、治療に結び付ける多角的な視点を養う。授業形態は演習である。また、身体障害領域の実務経験のある教員が教示する。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	1.感覚検査、反射検査など各種の評価の意味や方法を説明できる。 2.各種検査を適切に実践できる。 3.各評価をまとめ、症例についての適切な報告が行える。		
授業計画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1	オリエンテーション・各種検査概論(吉岡)	事前:教科書を通読しておく(20分) 事後:各項目の目的・意義をまとめておく(25分)	
2	感覚検査:概論・評価演習(吉岡・久保)	事前:教科書を通読しておく(20分) 事後:各項目の目的・意義をまとめておく(25分)	
3	感覚検査:記録報告(吉岡・久保)	事前:教科書を通読しておく(20分) 事後:各項目の目的・意義をまとめておく(25分)	
4	反射検査:概論と評価演習(久保・吉岡)	事前:教科書を通読しておく(20分) 事後:各項目の目的・意義をまとめておく(25分)	
5	反射検査:評価演習と記録報告(久保・吉岡)	事前:教科書を通読しておく(20分) 事後:各項目の目的・意義をまとめておく(25分)	
6	姿勢反射・筋緊張検査(久保・吉岡)	事前:教科書を通読しておく(20分) 事後:各項目の目的・意義をまとめておく(25分)	
7	協調性検査(吉岡・久保)	事前:教科書を通読しておく(20分) 事後:各項目の目的・意義をまとめておく(25分)	
8	上肢機能検査:概論(吉岡)	事前:教科書を通読しておく(20分) 事後:各項目の目的・意義をまとめておく(25分)	
9	上肢機能検査:評価演習と記録・報告(久保・吉岡)	事前:教科書を通読しておく(20分) 事後:各項目の目的・意義をまとめておく(25分)	
10	摂食・嚥下機能(吉岡)	事前:教科書を通読しておく(20分) 事後:各項目の目的・意義をまとめておく(25分)	
11	脳神経検査:概論(久保)	事前:教科書を通読しておく(20分) 事後:各項目の目的・意義をまとめておく(25分)	
12	脳神経検査:評価演習と記録報告(久保・吉岡)	事前:教科書を通読しておく(20分) 事後:各項目の目的・意義をまとめておく(25分)	
13	画像(久保)	事前:教科書を通読しておく(20分) 事後:各項目の目的・意義をまとめておく(25分)	
14	症例評価:評価演習と記録・報告(吉岡・久保)	事前:教科書を通読しておく(20分) 事後:各項目の目的・意義をまとめておく(25分)	

15	評価の統合・解釈(吉岡・久保)	事前:教科書を通読しておく(20分) 事後:各項目の目的・意義をまとめておく(25分)	
準備学習・事後学習等についての補足説明			
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)			
定期試験	実技試験	小テスト	
50%	30%	20%	
使用テキスト			
書籍名	著者	出版社	
標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第4版	(編)岩崎テル子、他	医学書院	
神経診察クローズアップ正しい病巣診断のコツ	鈴木則宏	メジカルビュー社	
参考書又は参考資料等			
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕			
担当教員の連絡先等			
教員 E-mail	その他		

授業科目名	精神機能作業療法評価演習		
担当者名	青山 克実	実務家教員	○
授業コード	1220099001	授業形態	演習
学年	2年	開講期	前期
単位数	1単位	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP2-2-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	精神科病院や医療機関、通所施設等において作業療法士として実務経験のある教員が、指定教科書とサブ資料を用いて演習や発表等により実務的に授業を進めます。精神科病院や地域において、作業療法の概念的実践モデルに基づく臨床実践や研究に関する実務経験のある教員が、理論的基盤に基づく作業療法の役割や評価、治療構造について演習を通して学習します。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ul style="list-style-type: none"> ■ ICF および作業療法理論に基づいてクライアントに関する疑問を生成し、その疑問に対する適切な情報収集法を選択し実施することができる。 ■ 情報収集したクライアントの情報を ICF に基づいて分類することができる。 ■ ICF に分類した情報に基づき、作業療法の理論やその他の知識を用いてクライアントの状況を概念化することができる。 ■ 作業療法で取り組む問題を焦点化できる。 ■ 作業に焦点を当てた作業療法プログラムを作成することができる。 		
授業計画		準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間	
1	世界および日本における精神障害者処遇と精神医療の歴史、精神科作業療法の法的枠組み(オリジナルテキスト【p1-22】)	事前:オリジナルテキスト【p1-22】を通読する(45分) 事後:振り返りシートを学習する(45分)	
2	精神科作業療法のマストアイテム①精神科リハビリテーションにおける精神科作業療法の位置付けと理論的基盤、治療構造論 (オリジナルテキスト【p76-87, 120-121, 133-140】)	事前:オリジナルテキスト【p76-87, 120-121, 133-140】を通読する(45分) 事後:振り返りシートを学習する(45分)	
3	精神科作業療法のマストアイテム②事例を通した理論的基盤の活用 (オリジナルテキスト【p76-87, 120-121, 133-140】)	事前:オリジナルテキスト【p76-87, 120-121, 133-140】を通読する(45分) 事後:振り返りシートを学習する(45分)	
4	精神疾患の成り立ちと障害構造、回復過程モデルと作業療法技術(急性~地域生活まで) (オリジナルテキスト【p59-75, 107-109】)	事前:オリジナルテキスト【p59-75, 107-109】を通読する(45分) 事後:振り返りシートを学習する(45分)	
5	精神科作業療法評価の実践①~精神科作業療法と評価のプロセス、手段・方法、疑問の生成 (オリジナルテキスト【p177-185, 192-197】)	事前:オリジナルテキスト【p177-185, 192-197】を通読する(45分) 事後:振り返りシートを学習する(45分)	
6	精神科作業療法評価の実践②作業療法の導入~他部門からの情報収集とインテーク面接 (オリジナルテキスト【p198-212】)	事前:オリジナルテキスト【p198-212】を通読する(45分) 事後:振り返りシートを学習する(45分)	
7	インテークと SMSF 演習~	事前:インテーク面接の準備・練習をする(45分) 事後:「作業療法インテーク面接記録 ver.3-2」を作成する(45分)	

8	精神科作業療法評価の実践③～包括的評価;作業に関する自己評価改定版～ (オリジナルテキスト【p216-218】)	事前:オリジナルテキスト【p216-218】を通読する(45分) 事後:自分の OSA の結果を概観し, 必要な行動計画を立てる(45分)
9	OSA 演習【青山】	事前:ペア演習の相手の OSA を通して面接演習の準備をする(45分) 事後:OSA を通してペア相手の作業療法の行動計画を立てる(45分)
10	精神科作業療法評価の実践⑤～集団における治療的態度と対人交流技能評価;ACIS を通して(オリジナルテキスト【p227-228】)	事前:オリジナルテキスト【p227-228】を通読する(45分) 事後:ACIS の技能項目を確認する(45分)
11	ACIS 評価演習【青山】	事前:ACIS の技能項目を確認する(45分) 事後:LIVE 評価した事例の ACIS 結果のまとめ・記述(45分)
12	精神科作業療法評価の実践⑥～心身機能(精神・認知機能)障害と個人・環境因子の評価;BACS-J 演習 (オリジナルテキスト【p49-57, 229-231】)	事前:オリジナルテキスト【p49-57, 229-231】を通読する(45分) 事後:LIVE 評価した事例の BACS-J の結果のまとめ・記述(45分)
13	精神科作業療法評価の実践⑦～非構成的評価;4 条件メソッドと観察のポイント (オリジナルテキスト【p198-202】)	事前:オリジナルテキスト【p198-202】を通読する(45分) 事後:振り返りシートを学習する(45分)
14	非構成的評価演習	事前:オリジナルテキスト【p198-202】を通読する(45分) 事後:振り返りシートを学習する(45分)
15	精神科作業療法評価の実践⑧～リーズニング;概念化と作業療法プログラムの立案～① (オリジナルテキスト【p235-249】)	事前:オリジナルテキスト【p235-249】を通読する(45分) 事後:定期試験範囲の整理と振り返りシートのファイリング(45分)

準備学習・事後学習等についての補足説明

- 1 年次 基礎作業演習 I で学んだ作業科学や人間作業モデルなどの作業療法理論が前提となります。MOHO の構成概念とその内容、人間作業のダイナミクス等について復習しておいてください。
- 講義資料および振り返りシートは、講義順にファイリングしておくこと。
- 面接や観察の評価演習・発表は、ソーシャルディスタンスによる教室配列等を工夫する予定です。
- 作業療法の理論に基づくクライアントのとらえ方や思考過程を養う意識をもって臨んでください。
- 講義後は、演習で使用した資料や振り返りシートをポートフォリオとして作成してください。
作成の際はタックシールインデックスを用いて、時系列にファイリングすること。
- ポートフォリオは定期試験時に提出してください。
(成績評価の対象となります、ファイリングが整理されているかどうかも含めて評価します)。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)

ポートフォリオ	課題レポート・小テスト	定期試験	
5%	25%	70%	

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
オリジナルテキスト「精神科作業療法 第9版」	青山克実	非売品

参考書又は参考資料等	
南庄一郎、木納潤一・編:作業に焦点を当てた精神科作業療法 株式会社シービーアール、2024	
山田孝・編著:事例でわかる人間作業モデル 共同医書出版、2015	
齋藤祐樹・編集:作業で語る事例報告 作業療法レジメの書きかた・考え方 医学書院 2014	
その他[受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて]	
担当教員の連絡先等	
教員 E-mail	その他

授業科目名	発達期作業療法評価演習		
担当者名	佐野 幹剛	実務家教員	○
授業コード	1220101001	授業形態	演習
学年	2年	開講期	前期
単位数	1単位	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP2-2-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	この授業は、発達障害専門施設や地域で作業療法士として実務経験のある教員が教授する。発達期の作業療法について理解を深めながら、子どもの心身機能や生活機能に対する発達評価について演習する。また、画像や動画による子どもの姿勢や動きを観察するとともに、治療につなげていく統合と解釈について学修する。多様化する発達障害の臨床像に適した評価法を選択し、実施する手順を教授する。また、評価結果を分析し、作業療法計画を立案できる一連の過程を演習する。授業形態は演習である。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障害の作業療法で用いる評価の種類を理解することができるようになる。 ・発達障害を持つ子どもの臨床像を運動学的解剖学的に評価する方法を習得する。 ・発達障害に対する標準的な評価の具体的な内容を理解し手順を習得する。 		
授業計画	準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間		
1	発達障害に対する作業療法評価の意義	事前:発達障害の定義について調べる(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の実施(25分)	
2	発達障害の概要と発達スクリーニング検査の実際	事前:ワークノートのキーワード調べの実施(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の実施(25分)	
3	姿勢分析の基本を学ぶ	事前:ワークノートのキーワード調べの実施(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の実施(25分)	
4	床上動作分析の基本と立ち上がり動作	事前:ワークノートのキーワード調べの実施(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の実施(25分)	
5	床上動作分析の実際:寝返りと四つ這い移動	事前:ワークノートのキーワード調べの実施(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の実施(25分)	
6	脳性麻痺の神経学的検査	事前:ワークノートのキーワード調べの実施(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の実施(25分)	
7	日常生活活動と社会生活の評価演習	事前:ワークノートのキーワード調べの実施(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の実施(25分)	
8	食べる機能の障害とその評価演習	事前:ワークノートのキーワード調べの実施(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の実施(25分)	
9	発達障害に対する認知発達検査演習	事前:ワークノートのキーワード調べの実施(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の実施(25分)	
10	In-Hand Manipulation Skills の発達と評価演習	事前:ワークノートのキーワード調べの実施(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の実施(25分)	
11	神経学的微細兆候検査の意義と演習	事前:ワークノートのキーワード調べの実施(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の実施(25分)	
12	神経心理学的発達検査の種類と実際	事前:ワークノートのキーワード調べの実施(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の実施(25分)	
13	神経発達学的評価演習	事前:ワークノートのキーワード調べの実施(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の実施(25分)	

14	事例検討:脳性麻痺	事前:ワークノートのキーワード調べの実施(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の実施(25分)	
15	事例検討:発達障害	事前:ワークノートのキーワード調べの実施(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の実施(25分)	
準備学習・事後学習等についての補足説明			
ワークノートを期間中2回提出してください。確認後に返却します。1回目:7回終了後2回目:定期試験終了後			
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)			
ワークノートの完成度	分析課題の完成度	定期試験	授業への取り組み
20%	20%	50%	10%
使用テキスト			
書籍名	著者	出版社	
使用しない(都度資料を配布)			
参考書又は参考資料等			
作業療法評価学 生田宗博 協同医書			
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕			
担当教員の連絡先等			
教員 E-mail	その他		

授業科目名	生活機能評価		
担当者名	村田 奈保子、青山 克実	実務家教員	○
授業コード	1220102001	授業形態	演習
学年	2年	開講期	前期
単位数	1単位	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP2-2-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	日常生活活動に対する作業療法の概念と役割を理解し、日常生活活動障害の代表的な評価を学び実践する。さらには生活行為の評価とその向上への実践としての枠組みである、生活行為向上マネジメントについて理解する。生活機能全般を統合的に理解し、生活機能障害を評価できるようになる。授業形態は演習である。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日常生活活動の概念や範囲を説明できる 2. 各活動の特徴や、遂行するための心身機能、影響因子について分析し、理解できる 3. 障害領域別での日常生活活動の障害を分析することができる 4. 代表的な日常生活活動の評価方法を理解し、使用することができる 		
授業計画	準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間		
1	オリエンテーション・日常生活活動の概念 (村田)	事前:日常生活活動の行動をリストアップする(20分) 事後:日常生活活動支援における作業療法の役割を整理する(25分)	
2	日常生活活動に対する作業療法の概念 (村田)	事前:教科書の該当箇所を通読しておく(20分) 事後:授業内容をもとに自分の生活時間についてレポートする(25分)	
3	日常生活活動分析視点(ADL・IADL) (村田)	事前:各生活活動の構成要素を列挙する(20分) 事後:生活活動の分析の視点と身体障害における制限を整理する(25分)	
4	日常生活活動別分析:食事・排泄・更衣活動 (村田)	事前:食事・排泄・更衣活動の構成要素を列挙する(20分) 事後:食事・排泄・更衣活動の分析の視点と身体障害における制限を整理する(25分)	
5	日常生活活動別分析:入浴・整容・コミュニケーション (村田)	事前:入浴・整容・コミュニケーションの構成要素を列挙する(25分) 事後:入浴・整容・コミュニケーションの分析の視点と身体障害における制限を整理する(25分)	
6	社会参加活動評価:自動車運転 など (村田)	事前:事前配布資料を通読しておく(20分) 事後:運転動作分析の視点と制限を整理する(25分)	
7	発達期領域におけるADL・IADL(生活障害)の特徴と評価概論(村田)	事前:教科書の該当箇所を通読しておく(20分) 事後:ADLに関する発達学的視点を整理する(25分)	
8	日常生活活動の評価:日常生活活動の障害と自立, 具体的評価方法;機能的自立度評価(FIM) (村田)	事前:教科書の該当箇所を通読しておく(20分) 事後:授業中に行った演習課題をまとめてレポートにする(25分)	
9	精神科領域におけるADL・IADL(生活障害)の特徴と評価概論(青山)	事前:オリジナルテキスト(精神科作業療法第9版)【p59-66, 221-222】の通読(20分) 事後:振り返りシートを学習する(25分)	

10	精神科領域における ADL・IADL(生活障害)の評価～入院生活チェックリスト(ISDA)と精神障害者社会生活評価尺度(LASMI)(青山)	事前:ISDA(入院生活チェックリスト), LASMI の項目を確認する(20 分) 事後:講義で実施した ISDA を作成する(25 分)
11	作業への焦点化～COPM(青山)	オリジナルテキスト(精神科作業療法第 9 版)【p219-221】の通読(20 分) 事後:演習で実施した COPM のレポート(25 分)
12	日常生活活動の評価:具体的評価方法;AMPS①概要と具体的方法(青山)	事前:オリジナルテキスト(精神科作業療法第 9 版)【p187-190】の通読(20 分) 事後:振り返りシートを学習する(25 分)
13	日常生活活動の評価:具体的評価方法;AMPS②評価演習(青山)	事前:AMPS 技能項目を確認する(20 分) 事後:講義時に提示した事例の AMPS Score シートの作成(25 分)
14	日常生活活動の評価:具体的評価方法;MTDLP の概要とプロセス(青山)	事前:オリジナルテキスト(精神科作業療法第 9 版)【p146-157】の通読(20 分) 事後:振り返りシートを学習する(25 分)
15	日常生活活動の評価:具体的評価方法;MTDLP(生活行為工程分析演習)(青山)	事前:前回講義時に提示した生活行為の工程分析(20 分) 事後:生活行為向上プラン表(生活行為工程分析)の作成(25 分)

準備学習・事後学習等についての補足説明

準備学修:教科書の該当部分を読み授業に臨む.不明な点は調べておく.

事後学修:授業での講義や、ディスカッション内容を再度教科書で復習する.

成績評価の方法[評価項目と割合]※上段:評価項目、下段:割合(%)

定期試験	レポート課題(振り返りシートを含む)		
60%	40%		

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
作業療法学全書 改定第 3 版 第 11 巻 作業療法技術学 3 日常生活活動	酒井ひとみ編	共同医書出版社
オリジナルテキスト(精神科作業療法)	青山克実	非売品(電子版で無料配布します)

参考書又は参考資料等

標準作業療法学 日常生活活動・社会生活行為学 濱口 豊太編 医学書院
作業療法学 ゴールドマスターテキスト 日常生活活動学(ADL)・福祉用具学 長崎重信監修 メジカルビュー社
臨床作業療法シリーズ精神領域の作業療法 第 2 版 石井良和・他編 中央法規

その他[受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて]

担当教員の連絡先等

教員 E-mail	その他
村田:murata@knwu.ac.jp 青山:aoyama@knwu.ac.jp	※青山担当分の講義資料は原則、Microsoft Teams にて事前配布します。タブレットまたはパソコン持参してください。タブレット+タッチペンの使用を推奨します。紙面資料にて受講したい場合は、各自で印刷して持参してください。

授業科目名	運動器疾患作業療法学		
担当者名	吉岡 奈々、四元 孝道	実務家教員	○
授業コード	1220103001	授業形態	講義
学年	2年	開講期	後期
単位数	2単位	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP4-2-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	高齢化のもと主疾患や併存疾患として運動器疾患を治療していくため、まず作業療法治療学の基本を学び、運動器系疾患の生活や役割へ影響を考慮した作業療法実践のために機能だけではなく、生活や役割や環境等へ介入を行っていく。そのため代表的な運動器疾患について、評価から作業療法介入までの流れを理解し、作業療法の目的、問題点に対する介入方法を修得する。授業形態は講義であり、整形疾患の実務経験のある教員が教示する。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	1.作業療法を実施できるようになるために治療原理を理解し修得する。 2.運動器疾患の分類および特徴を説明できる。 3.運動器疾患の医学的治療と作業療法の関連について説明できる。 4.運動器疾患の回復に応じた作業療法目標を設定し、作業療法プログラムを計画できる。		
授業計画	準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間		
1	作業療法における関節可動域・筋力の維持・改善 (吉岡)	事前:教科書該当ページを通読し内容を理解する(90分) 事後:重要なポイントを復習し小テストに備える(90分)	
2	作業療法における筋緊張の維持・改善(四元)	事前:教科書該当ページを通読し内容を理解する(90分) 事後:重要なポイントを復習し小テストに備える(90分)	
3	作業療法における感覚・知覚の維持・改善(四元)	事前:教科書該当ページを通読し内容を理解する(90分) 事後:重要なポイントを復習し小テストに備える(90分)	
4	作業療法における物理療法(吉岡)	事前:教科書該当ページを通読し内容を理解する(90分) 事後:重要なポイントを復習し小テストに備える(90分)	
5	骨折(上肢)(吉岡)	事前:教科書該当ページを通読し内容を理解する(90分) 事後:重要なポイントを復習し小テストに備える(90分)	
6	骨折(下肢)(吉岡)	事前:教科書該当ページを通読し内容を理解する(90分) 事後:重要なポイントを復習し小テストに備える(90分)	
7	加齢性関節疾患(肩関節周囲炎など)(吉岡)	事前:教科書該当ページを通読し内容を理解する(90分) 事後:重要なポイントを復習し小テストに備える(90分)	
8	腱板損傷(吉岡)	事前:教科書該当ページを通読し内容を理解する(90分) 事後:重要なポイントを復習し小テストに備える(90分)	
9	腱損傷(屈筋腱・伸筋腱)(吉岡)	事前:教科書該当ページを通読し内容を理解する(90分) 事後:重要なポイントを復習し小テストに備える(90分)	
10	熱傷(吉岡)	事前:教科書該当ページを通読し内容を理解する(90分) 事後:重要なポイントを復習し小テストに備える(90分)	
11	運動器疾患のまとめ 一症例を通じて一(吉岡)	事前:教科書該当ページを通読し内容を理解する(90分) 事後:重要なポイントを復習し小テストに備える(90分)	
12	関節リウマチ(1)(四元)	事前:教科書該当ページを通読し内容を理解する(90分) 事後:重要なポイントを復習し小テストに備える(90分)	
13	関節リウマチ(2)(四元)	事前:教科書該当ページを通読し内容を理解する(90分) 事後:重要なポイントを復習し小テストに備える(90分)	

14	上肢の末梢神経損傷(1)(四元)	事前:教科書該当ページを通読し内容を理解する(90分) 事後:重要なポイントを復習し小テストに備える(90分)
15	上肢の末梢神経損傷(2)(四元)	事前:教科書該当ページを通読し内容を理解する(90分) 事後:重要なポイントを復習し小テストに備える(90分)
準備学習・事後学習等についての補足説明		
準備学修は、指定した教科書の範囲または配布資料を事前に読んで理解を深めておく。授業で扱う疾患の病態や基本的な治療について、整形外科学の授業も参考にしながら予習しておくこと。事後学修は、教科書やノートで復習し、小テストに備える。		
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)		
定期試験	レポート・課題	
60%	40%	
使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
標準作業療法学身体機能作業療法学第4版	山口 昇、玉垣 努	医学書院
参考書又は参考資料等		
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕		
担当教員の連絡先等		
教員 E-mail	その他	

授業科目名	中枢神経疾患作業療法学		
担当者名	久保 拓哉	実務家教員	○
授業コード	1220104001	授業形態	講義
学年	2年	開講期	後期
単位数	2単位	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP4-2-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	中枢神経系疾患の背景となる中枢神経系の機能と構造を理解し、画像の見方も学ぶ。その障害の代表的なものととして、脳血管障害、頭部外傷、脊髄損傷や、神経変性疾患としてパーキンソン病等について、機能と活動、参加の関連性を明確に提示する。授業は長年リハビリテーション病院に勤務した実務家教員が担当し、作業療法評価、介入とその成果の検証など作業療法課程を理解し、実践できる知識と技術を修得する。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> 1. 中枢神経系の機能と構造を理解できる。 2. 中枢神経系障害の代表的疾患について、病態とその作業療法課程を理解できる。 3. 各中枢神経系疾患の作業療法評価と介入の実際を理解し、説明できる。 		
授業計画	準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間		
1	オリエンテーション 中枢神経疾患とは何か 中枢神経疾患に対する介入概念の理解	事前: 中枢神経について復習をしておく。(90分) 事後: 中枢神経疾患について理解を深める。(90分)	
2	脳血管障害① p162～p171	事前: 教科書該当ページを通読し理解を深める。(90分) 事後: 該当ページに対応した疾患別ノートを作成する。(90分)	
3	脳血管障害② p171～p178	事前: 教科書該当ページを通読し理解を深める。(90分) 事後: 該当ページに対応した疾患別ノートを作成する。(90分)	
4	脳血管障害③ p178～p183	事前: 教科書該当ページを通読し理解を深める。(90分) 事後: 該当ページに対応した疾患別ノートを作成する。(90分)	
5	頭部外傷① p185～p188	事前: 教科書該当ページを通読し理解を深める。(90分) 事後: 該当ページに対応した疾患別ノートを作成する。(90分)	
6	頭部外傷② p189～p190	事前: 教科書該当ページを通読し理解を深める。(90分) 事後: 該当ページに対応した疾患別ノートを作成する。(90分)	
7	脊髄損傷① p191～p200	事前: 教科書該当ページを通読し理解を深める。(90分) 事後: 該当ページに対応した疾患別ノートを作成する。(90分)	
8	脊髄損傷② p200～p209	事前: 教科書該当ページを通読し理解を深める。(90分) 事後: 該当ページに対応した疾患別ノートを作成する。(90分)	
9	脊髄損傷③ p209～p212	事前: 教科書該当ページを通読し理解を深める。(90分) 事後: 該当ページに対応した疾患別ノートを作成する。(90分)	
10	パーキンソン病① p352～p355	事前: 教科書該当ページを通読し理解を深める。(90分) 事後: 該当ページに対応した疾患別ノートを作成する。(90分)	
11	パーキンソン病② p355～p358	事前: 教科書該当ページを通読し理解を深める。(90分) 事後: 該当ページに対応した疾患別ノートを作成する。(90分)	
12	脊髄小脳変性症① p360～p362	事前: 教科書該当ページを通読し理解を深める。(90分) 事後: 該当ページに対応した疾患別ノートを作成する。(90分)	
13	脊髄小脳変性症② p362～p366	事前: 教科書該当ページを通読し理解を深める。(90分) 事後: 該当ページに対応した疾患別ノートを作成する。(90分)	

14	筋萎縮性側索硬化症① p367～p369	事前:教科書該当ページを通読し理解を深める。(90分) 事後:該当ページに対応した疾患別ノートを作成する。(90分)
15	筋萎縮性側索硬化症② p369～p373	事前:教科書該当ページを通読し理解を深める。(90分) 事後:該当ページに対応した疾患別ノートを作成する。(90分)
準備学習・事後学習等についての補足説明		
授業前に、教科書の指定ページを通読し理解を深めておく。また、疾患別に作業療法過程をまとめ、疾患ノートを作成し、各疾患の講義終了後に提出をする。		
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)		
定期試験	疾患ノートの完成度	
60%	40%	
使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
標準作業療法学専門分野 身体機能作業療法学第3版	山口 昇・玉垣 努編集	医学書院
参考書又は参考資料等		
作業療法全書 改訂第3版 第4巻 身体障害 日本作業療法士協会監修 菅原洋子編集 作業療法学 ゴールドマスターテキスト 身体障害作業療法学 長崎重信監修 メジカルビュー社		
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕		
担当教員の連絡先等		
教員 E-mail	その他	

授業科目名	内部疾患作業療法学		
担当者名	四元 孝道、吉岡 奈々	実務家教員	○
授業コード	1220105001	授業形態	講義
学年	3年	開講期	前期
単位数	2単位	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP4-3-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	呼吸器疾患・循環器疾患・代謝性疾患・悪性新生物・一部神経疾患の基礎知識とリスク管理、作業療法介入について学修する。喀痰吸引における基本的知識を学ぶ。授業形態は講義である。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	1.内部疾患作業療法を実施できるようになるために治療原理を理解し修得する。 2.内部疾患の代表的な疾患の特徴を説明できる。 3.内部疾患の医学的治療と作業療法の関連について説明できる。 4.内部疾患の回復に応じた作業療法目標を設定し、作業療法プログラムを計画できる。		
授業計画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1	心疾患総論(心臓の構造と働き)p408-409(吉岡)	事前:教科書該当ページを通読し内容を理解する(90分) 事後:重要なポイントを復習し小テストに備える(90分)	
2	心疾患の疾患概要(虚血性心疾患・心不全・心臓大血管)p410-415(吉岡)	事前:教科書該当ページを通読し内容を理解する(90分) 事後:重要なポイントを復習し小テストに備える(90分)	
3	心疾患の評価・目標・プログラム心疾患の治療と心疾患の作業療法の実際p416-423(吉岡)	事前:教科書該当ページを通読し内容を理解する(90分) 事後:重要なポイントを復習し小テストに備える(90分)	
4	呼吸器疾患総論(呼吸器の構造)p424-427(吉岡)	事前:教科書該当ページを通読し内容を理解する(90分) 事後:重要なポイントを復習し小テストに備える(90分)	
5	呼吸器疾患の疾患概要と評価(閉塞性肺疾患・拘束性肺疾患)p428-434(吉岡)	事前:教科書該当ページを通読し内容を理解する(90分) 事後:重要なポイントを復習し小テストに備える(90分)	
6	呼吸器の評価・目標・プログラム 喀痰等の吸引を含む呼吸器疾患の治療と呼吸器疾患の作業療法の実際p435-443,151-156(吉岡)	事前:教科書該当ページを通読し内容を理解する(90分) 事後:重要なポイントを復習し小テストに備える(90分)	
7	悪性腫瘍疾患概要と評価・目標・プログラムp460-466(吉岡)	事前:教科書該当ページを通読し内容を理解する(90分) 事後:重要なポイントを復習し小テストに備える(90分)	
8	ターミナルケア(終末期がん)の評価・目標・プログラムp467-474(吉岡)	事前:教科書該当ページを通読し内容を理解する(90分) 事後:重要なポイントを復習し小テストに備える(90分)	
9	糖尿病① p444-449(吉岡)	事前:教科書該当ページを通読し内容を理解する(90分) 事後:重要なポイントを復習しノートを整える(90分)	
10	糖尿病②腎臓疾患含むリハビリテーションp450-457(吉岡)	事前:教科書該当ページを通読し内容を理解する(90分) 事後:重要なポイントを復習しノートを整える(90分)	
11	多発性硬化症 p365-371(四元)	事前:教科書該当ページを通読し内容を理解する(90分) 事後:重要なポイントを復習しノートを整える(90分)	
12	ギランバレー症候群 p358-363(四元)	事前:教科書該当ページを通読し内容を理解する(90分) 事後:重要なポイントを復習しノートを整える(90分)	
13	重症筋無力症 p372-377(四元)	事前:教科書該当ページを通読し内容を理解する(90分) 事後:重要なポイントを復習しノートを整える(90分)	

14	予防 (四元)	事前:別途資料配布資料を通読しておくこと (90 分) 事後:重要なポイントを復習しノートを整える(90 分)
15	内部疾患のまとめ 症例検討(四元)	事前:教科書該当ページを通読し内容を理解する(90 分) 事後:重要なポイントを復習し個別検討する(90 分)
準備学習・事後学習等についての補足説明		
<p>準備学習は、指定した教科書の範囲または配布資料を事前に読んで理解を深めておく。</p> <p>授業で扱う疾患の病態や基本的な治療について、参考書などを利用し内部疾患・神経筋疾患予習しておくこと。</p> <p>事後学習は、疾患別に作業療法過程をまとめ、疾患ノートを作成・復習し、小テストや課題に備える。</p>		
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)		
定期試験	小テスト	
60%	40%	
使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
標準作業療法学専門分野 身体機能作業療法学第 4 版	山口 昇・玉垣 努編集	医学書院
参考書又は参考資料等		
<p>作業療法全書 改訂第 3 版 第 4 巻 身体障害 日本作業療法士協会監修 菅原洋子編集</p> <p>作業療法学 ゴールドマスターテキスト 身体障害作業療法学 長崎重信監修 メジカルビュー社</p>		
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕		
担当教員の連絡先等		
教員 E-mail	その他	

授業科目名	精神疾患作業療法学 I		
担当者名	平澤 勉、青山 克実	実務家教員	○
授業コード	1220106001	授業形態	講義
学年	2年	開講期	後期
単位数	2単位	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP4-2-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	医療機関の作業療法士として実務経験のある教員が、授業を進める。各精神疾患における急性期から地域生活までのシームレスなサービスを提供するための作業療法技術を学修する。 精神科作業療法で活用されている各種精神療法や理論を学ぶ。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	1.精神障害領域のリハビリテーションチームにおける作業療法の役割を理解できる。 2.各種疾患や症状に特有な作業療法評価および治療構造を説明できる。 3.各種疾患の作業療法を、病期に沿って計画できる。		
授業計画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1	統合失調症スペクトラム障害(1)急性期(青山)	事前:精神科作業療法第9版 (オリジナルテキスト)【p159-166】(90分) 事後:振り返りシートを学習する(90分)	
2	統合失調症スペクトラム障害(2)回復期～地域生活移行(青山)	事前:精神科作業療法第9版 (オリジナルテキスト)【p167-172】の通読(90分) 事後:振り返りシートを学習する(90分)	
3	統合失調症スペクトラム障害(3)長期入院(青山)	事前:精神科作業療法第9版(オリジナルテキスト)【X X IV. 長期入院と作業療法】の通読(90分) 事後:振り返りシートを学習する(90分)	
4	精神科作業療法関連技法(1) 神経認知リハビリテーション(平澤)	事前:精神疾患の認知機能障害について調べる(90分) 事後:小テストに備えて、学んだことを整理する(90分)	
5	精神科作業療法関連技法(2) 社会認知リハビリテーション(平澤)	事前:小テストに備えて、前回の内容を復習する(90分) 事後:小テストに備えて、学んだことを整理する(90分)	
6	抑うつ症群(1)疾患の基礎(平澤)	事前:小テストに備えて、前回の内容を復習する(90分) 事後:小テストに備えて、学んだことを整理する(90分)	
7	抑うつ症群(2)作業療法の実際(平澤)	事前:小テストに備えて、前回の内容を復習する(90分) 事後:小テストに備えて、学んだことを整理する(90分)	
8	双極症の理解と作業療法の実際(平澤)	事前:小テストに備えて、前回の内容を復習する(90分) 事後:小テストに備えて、学んだことを整理する(90分)	
9	精神科作業療法関連技法(3)認知行動療法(平澤)	事前:小テストに備えて、前回の内容を復習する(90分) 事後:小テストに備えて、学んだことを整理する(90分)	
10	不安症群(1)疾患の基礎(平澤)	事前:小テストに備えて、前回の内容を復習する(90分) 事後:小テストに備えて、学んだことを整理する(90分)	
11	不安症群(2)作業療法の実際(平澤)	事前:小テストに備えて、前回の内容を復習する(90分) 事後:小テストに備えて、学んだことを整理する(90分)	
12	治療構造論(平澤)	事前:小テストに備えて、前回の内容を復習する(90分) 事前:小テストに備えて、前回の内容を復習する(90分)	

13	摂食症～疾患の基礎と作業療法の実際(平澤)	事前:小テストに備えて、前回の内容を復習する(90分) 事前:小テストに備えて、前回の内容を復習する(90分)
14	パーソナリティ症～疾患の基礎と作業療法の実際(平澤)	事前:小テストに備えて、前回の内容を復習する(90分) 事後:小テストに備えて、学んだことを整理する(90分)
15	精神科作業療法関連技法(4) SST	事前:小テストに備えて、前回の内容を復習する(90分) 事後:本科目で学んだことを整理する(90分)
準備学習・事後学習等についての補足説明		
<p>「精神機能作業療法評価演習」を理解していることが前提となります。復習をしてください。</p> <p>作業療法理論、精神医学、臨床心理学の知識が前提となります。改めて復習しておいてください。</p> <p>講義資料は講義順にファイリングしてください。提出課題の一部とします。</p>		
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)		
課題、小テスト	定期試験	
40%	60%	
使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
オリジナル資料を配布します		
精神科作業療法第9版(オリジナルテキスト)	青山克実	非売品(電子版で無料配布します)
参考書又は参考資料等		
大丸 幸、中山 広宣・編著:臨床精神科作業療法学 ―理論、実践、効果検証―協同医書出版社 2023		
南庄一郎、木納潤一・編:作業に焦点を当てた精神科作業療法 株式会社シービーアール 2024		
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕		
担当教員の連絡先等		
教員 E-mail	その他	
	<p>※青山担当分の講義資料は原則、Microsoft Teams にて事前配布します。</p> <p>タブレットまたはパソコン持参してください。タブレット+タッチペンの使用を推奨します。紙面資料にて受講したい場合は、各自で印刷して持参してください。</p>	

授業科目名	精神疾患作業療法学Ⅱ		
担当者名	深町 晃次、平澤 勉、青山 克実	実務家教員	○
授業コード	1220107001	授業形態	講義
学年	3年	開講期	前期
単位数	2単位	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP4-3-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	依存症・発達障害・器質性精神障害・認知症の障害像及び評価から治療法や、司法精神医療について学修する。また作業療法の評価・計画・実践の一連の過程について事例を通して理解を深める。地域における精神障害者及び家族に対する地域支援と作業療法の役割、多職種との連携の重要性について学修する。授業形態は講義である。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> 1.現病歴・生活歴および入院から退院までの作業療法経過を、リハビリ志向でまとめることができる。 2.退院後計画を地域ケアチームに情報提供する方法を習得する。 3.地域精神医療における作業療法の役割・機能について説明することができる。 4.地域移行・地域定着支援に関する社会資源や支援技術を説明することができる。 5.我が国の精神科作業療法の将来像を描くことができる。 		
授業計画	準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間		
1	アルコール依存症～疾患の基礎と作業療法の実際～ (深町)	事前: 配布資料を通読し、質問プリントを提出する(90分) 事後: 小テストに備えて、学習した要点を整理する(90分)	
2	認知症①(青山)	事前: 認知症に対する作業療法の実践報告等(論文)を検索し通読する(90分) 事後: 振り返りシート(ワークシート)で復習する(90分)	
3	認知症②(青山)	事前: 認知症に対する作業療法の実践報告等(論文)を検索し通読する(90分) 事後: 振り返りシート(ワークシート)で復習する(90分)	
4	精神科作業療法関連技法①(平澤) WRAP	事前: WRAP について文献を収集し予習する(90分) 事後: 振り返りシート(ワークシート)で復習する(90分)	
5	特別講義 リハビリとピアサポート(平澤)	事前: ピアサポートについて文献を収集し予習する(90分) 事後: 特別講義を受けて課題作成(90分)	
6	リハビリ、睡眠と精神疾患(平澤)	事前: 特別講義を受けて課題作成(90分) 事後: 振り返りシート(ワークシート)で復習する(90分)	
7	精神科作業療法関連技法②(青山) 地域生活移行・地域定着支援と作業療法	事前: 精神障害者に対する地域生活移行・定着支援に関する実践報告等(論文)を検索し通読する(90分) 事後: 振り返りシート(ワークシート)で復習する(90分)	
8	精神科作業療法関連技法③(青山) 訪問作業療法とケアマネジメント	事前: 精神科における訪問支援に関する実践報告等(論文)を検索し通読する(90分) 事後: 振り返りシート(ワークシート)で復習する(90分)	
9	精神科作業療法関連技法④(深町) 通所系施設におけるリハビリテーション	事前: 配布資料を通読し、質問プリントを提出する(90分) 事後: 小テストに備えて、学習した要点を整理する(90分)	
10	精神科作業療法関連技法⑤(深町) 司法精神医療における OT の役割	事前: 配布資料を通読し、質問プリントを提出する(90分) 事後: 小テストに備えて、学習した要点を整理する(90分)	

11	精神科作業療法の実際(深町・青山・平澤) 事例紹介:作業療法の処方と情報収集	事前: 提出課題に取り組む(90分) 事後: 提出課題に取り組む(90分)
12	精神科作業療法の実際(深町・青山・平澤) 事例紹介:作業療法の導入と評価	事前: 提出課題に取り組む(90分) 事後: 提出課題に取り組む(90分)
13	精神科作業療法の実際(深町・青山・平澤) 事例紹介:リーディング;クライアントの概念化	事前: 提出課題に取り組む(90分) 事後: 提出課題に取り組む(90分)
14	精神科作業療法の実際(深町・青山・平澤) 事例紹介:作業療法介入	事前: 提出課題に取り組む(90分) 事後: 事例発表の準備(90分)
15	事例発表とまとめ(深町・青山・平澤)	事前: 事例発表の準備(90分) 事後: 授業全体の復習(90分)
準備学習・事後学習等についての補足説明		
<p>■精神医学Ⅰ・Ⅱ、精神機能作業療法評価演習、精神疾患作業療法学Ⅰ等の科目と連動するので関係資料等を持参すること。</p> <p>■「事前事後学習のポートフォリオ(青山担当分)」は、事前学習として提示した課題(論文通読)のコピーと振り返りシートをファイリングしておくこと(成績評価の方法に含みます)。定期試験時に提出してください。</p>		
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)		
小テスト・定期試験	課題・レポートまたはワークノートの提出	事前事後学習のポートフォリオと振り返りシート
60%	20%	20%
使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
臨床作業療法シリーズ精神領域の作業療法 第2版	石井良和・他編	中央法規
臨床作業療法シリーズ精神領域の作業療法 第2版	石井 良和・他編	中央法規
参考書又は参考資料等		
早坂友成・編:精神科作業療法の理論と技術 メジカル・ビュー社 2018 岡田岳、長谷川明洋、照井林陽:OT 症例レポート 羊土社 2018 南庄一郎、木納潤一・編:作業に焦点を当てた精神科作業療法 株式会社シービーアール 2024 山田孝・編著:事例でわかる人間作業モデル 共同医書出版 2015 齋藤祐樹・編集:作業で語る事例報告 作業療法レジメの書きかた・考え方 医学書院 2014		
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕		
担当教員の連絡先等		
教員 E-mail	その他	

授業科目名	発達期作業療法演習 I		
担当者名	佐野 幹剛、平澤 勉	実務家教員	○
授業コード	1220108001	授業形態	演習
学年	2年	開講期	後期
単位数	1単位	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP4-2-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	この授業は、発達障害専門施設や地域(佐野)、精神障害専門施設(平澤)で作業療法士として実務経験のある教員が教授する。発達障害の臨床像や予後を理解するとともに、子どもの潜在的な能力を引き出し、社会に適応できるスキル獲得に向けた作業療法について演習する。また、家族に対する支援や、保育園・学校などへの地域支援に対する作業療法士の役割についても討議する。授業形態は演習である。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ul style="list-style-type: none"> ・複雑な臨床所見を持つ発達障害について、子どもから成人までライフサイクルに応じて理解することができるようになる。 ・子どもの潜在能力を引き出し、社会適応できるスキル獲得に向けた作業療法プログラムを考えることができるようになる。 ・家族に対する対応、保育園・学校など地域とのつながりについても理解することができるようになる。 		
授業計画		準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間	
1	オリエンテーション、発達障害とは(佐野)	事前:児童福祉法の障害児について調べる(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の実施(25分)	
2	知的発達障害の臨床像と作業療法演習(佐野)	事前:ワークノートのキーワード調べの実施(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の実施(25分)	
3	自閉スペクトラム症の臨床像と作業療法演習(佐野)	事前:ワークノートのキーワード調べの実施(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の実施(25分)	
4	自閉スペクトラム症に対する支援:対人支援と構造化(佐野)	事前:ワークノートのキーワード調べの実施(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の実施(25分)	
5	注意欠如/多動症の臨床像と作業療法演習(佐野)	事前:ワークノートのキーワード調べの実施(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の実施(25分)	
6	注意欠如/多動症に対する支援:感覚統合療法(佐野)	事前:ワークノートのキーワード調べの実施(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の実施(25分)	
7	注意欠如/多動症に対する支援:SST(佐野)	事前:ワークノートのキーワード調べの実施(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の実施(25分)	
8	限局性学習障害の臨床像と作業療法演習(佐野)	事前:ワークノートのキーワード調べの実施(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の実施(25分)	
9	限局性学習障害に対する支援:巧緻運動と学習支援(佐野)	事前:ワークノートのキーワード調べの実施(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の実施(25分)	
10	母子保健事業での発達相談の現状と特別支援教育における作業療法士の役割(佐野)	事前:ワークノートのキーワード調べの実施(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の実施(25分)	
11	思春期以降の発達障害の臨床像(平澤)	事前:ワークノートのキーワード調べの実施(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の実施(25分)	
12	思春期・青年期における発達障害の支援(平澤)	事前:ワークノートのキーワード調べの実施(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の実施(25分)	

13	思春期・青年期における発達障害の作業療法演習 (平澤)	事前:ワークノートのキーワード調べの実施(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の実施(25分)		
14	成人期における発達障害の支援(平澤)	事前:ワークノートのキーワード調べの実施(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の実施(25分)		
15	成人期における発達障害の作業療法演習(平澤)	事前:ワークノートのキーワード調べの実施(20分) 事後:ワークノートの整理と課題の実施(25分)		
準備学習・事後学習等についての補足説明				
(佐野)ワークノートは佐野の講義終了後に提出して下さい。確認後返却します。				
成績評価の方法[評価項目と割合]※上段:評価項目、下段:割合(%)				
ワークノートの完成度	課題レポートの完成度	授業への取り組み	定期試験	
20%	10%	10%	60%	
使用テキスト				
書籍名	著者	出版社		
イラストでわかる発達障害の作業療法	上杉雅之	医歯薬出版		
参考書又は参考資料等				
神経発達学的治療と感覚統合理論 Erna I.Blanche, Tina M.Botticelli, Mary K.Hallway 協同医書				
その他[受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて]				
担当教員の連絡先等				
教員 E-mail	その他			

授業科目名	発達期作業療法演習Ⅱ		
担当者名	佐野 幹剛	実務家教員	○
授業コード	1220109001	授業形態	演習
学年	3年	開講期	前期
単位数	1単位	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP4-3-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	この授業は、発達障害専門施設や地域で作業療法士として実務経験のある教員が教授する。肢体不自由のある子どもの臨床像や予後について疾患別に理解するとともに、子どもの潜在的な能力を引き出し、社会に適応できるスキル獲得に向けた作業療法について演習する。特に、姿勢管理、生活支援工学を活用したあそびや学習教材の工夫や、運動や摂食の指導および日常生活活動における支援技法について演習する。授業形態は演習である。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ul style="list-style-type: none"> ・肢体不自由のある子どもの疾患特性に応じた作業療法を理解することができる。 ・子どもの潜在能力を引き出し、社会適応可能なスキル獲得に向けた作業療法プログラムを立案できる。 ・肢体不自由のある子どもに対する作業療法支援について理解することができる。 		
授業計画		準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間	
1	オリエンテーション、脳性まひの概要	事前:発達期作業療法演習Ⅱのシラバスに目を通し、脳性まひについて調べる(20分) 事後:ワークノートの整理と調べ物学習(25分)	
2	脳性まひの臨床像と作業療法1(痙直型四肢麻痺)	事前:教科書2の95-113pを精読(20分) 事後:ワークノートの整理と調べ学習(25分)	
3	脳性まひの臨床像と作業療法2(痙直型両麻痺)	事前:教科書2の31-52pを精読(20分) 事後:ワークノートの整理と調べ学習(25分)	
4	脳性まひの臨床像と作業療法3(痙直型片麻痺)	事前:教科書2の53-68pを精読(20分) 事後:ワークノートの整理と調べ学習(25分)	
5	脳性まひの臨床像と作業療法4(アテトーゼ型)	事前:教科書2の69-94pを精読(20分) 事後:ワークノートの整理と調べ学習(25分)	
6	筋ジストロフィー症の臨床像と作業療法	事前:教科書1の177-190pを精読(20分) 事後:ワークノートの整理と調べ学習(25分)	
7	重症心身障害の臨床像と作業療法	事前:教科書1の147-157pを精読(20分) 事後:ワークノートの整理と調べ学習(25分)	
8	二分脊椎の臨床像と作業療法	事前:教科書2の194-200pを精読(20分) 事後:ワークノートの整理と調べ学習(25分)	
9	分娩麻痺・骨形成不全症の臨床像と作業療法	事前:教科書2の200-209pを精読(20分) 事後:ワークノートの整理と調べ学習(25分)	
10	障害児の保護者への子育て支援と支援制度	事前:教科書2の211-231pを精読(20分) 事後:ワークノートの整理と調べ学習(25分)	
11	作業療法の実際1:姿勢管理と座位保持装置	事前:教科書p118-123、p134-137、p141-143を精読(20分) 事後:ワークノートの整理と調べ学習(25分)	
12	作業療法の実際2:運動指導	事前:教科書p113-118、p137を精読(20分) 事後:ワークノートの整理と調べ学習(25分)	

13	作業療法の実際3:摂食指導	事前:教科書p138-141を精読(20分) 事後:ワークノートの整理と調べ学習(25分)		
14	作業療法の実際4:ADL指導	事前:教科書p151-152を精読(20分) 事後:ワークノートの整理と調べ学習(25分)		
15	作業療法の実際5:あそび	事前:教科書p153-156を精読(20分) 事後:ワークノートの整理と調べ学習(25分)		
準備学習・事後学習等についての補足説明				
事前学習は教科書の精読です。事後学習はワークノートを整理しておくことと、調べ学習に取り組んでください。				
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)				
ワークノートの完成度	課題レポートの完成度	授業への取り組み	定期試験	
20%	10%	10%	60%	
使用テキスト				
書籍名	著者	出版社		
①イラストでわかる発達障害の作業療法	上杉雅之	医歯薬出版		
②脳性麻痺の類型別運動発達	Berta & Karel Bobath	医歯薬出版社		
参考書又は参考資料等				
神経発達学的治療と感覚統合理論 Erna I.Blanche, Tina M.Botticelli, Mary K.Hallway 協同医書				
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕				
担当教員の連絡先等				
教員 E-mail	その他			

授業科目名	義肢装具学		
担当者名	奥村 チカ子	実務家教員	
授業コード	1220110001	授業形態	講義
学年	3年	開講期	前期
単位数	2単位	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP2-3-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	義肢装具の種類、構造やその適応を理解し機能障害や能力障害への介入時に有益な治療手段として役立てることが臨床では強く求められる。そのためには義肢装具の基本となる種類、構造やその機能について理解することが重要となる。本科目では代表的な義肢・装具の名称、構造や機能などを理解し、作業療法で実践できる力を修得する。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	①義手の種類、構造を説明できる。 ②上肢切断に対する作業療法プログラムを立案できる。 ③上肢装具の目的、機能、適応について説明できる。 ④代表的疾患に対する装具療法プログラムを立案できる。		
授業計画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1	授業の進め方、義肢装具の基礎	義肢装具に必要な力学を理解する(180分)	
2	装具学概論	装具の分類を理解する(90分) 脊柱の解剖を確認する(90分)	
3	体幹装具及び下肢装具の名称、機能、適応	体幹装具について復習する(90分) 下肢の解剖を確認する(90分)	
4	上肢装具の理解に必要な基礎知識	下肢装具について復習する(90分) 上肢の解剖を確認する(90分)	
5	上肢装具の名称、分類、構造。装具療法の概説	上肢装具に必要な力学を復習する(180分)	
6	末梢神経障害に対する装具療	授業内容を復習する(90分) 末梢神経障害について調べる(90分)	
7	関節リウマチに対する装具療法	授業内容を復習する(90分) RAについて調べる(90分)	
8	頸髄損傷に対する装具療法	授業内容を復習する(90分) 頸髄損傷について調べる(90分)	
9	切断と義肢の概要	装具についてまとめる(180分)	
10	義手の分類、構成要素	授業内容を復習する(180分)	
11	義手の適応(切断部位とパーツの選択)	授業内容を復習する(180分)	
12	切断に対する作業療法の流れ	授業内容を復習する(180分)	
13	切断の評価、義手訓練	授業内容を復習する(180分)	
14	筋電義手	授業内容を復習する(180分)	
15	義手のチェックアウト	授業内容を復習する(180分)	
準備学習・事後学習等についての補足説明			
講義内容の範囲は広く、かつ進行も速いので、事後学習に重点を置くことを推奨します。 2年次開講の運動器疾患作業療法学の該当箇所を参照すると理解が深まるでしょう。			

成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)			
期末試験	レポート		
70%	30%		
使用テキスト			
書籍名	著者	出版社	
身体機能作業療法学, 標準作業療法学	山口昇, 玉垣努編集	医学書院	
資料を配布する			
参考書又は参考資料等			
義肢装具のチェックポイント: 日本整形外科学会・日本リハビリテーション医学会監修. 医学書院			
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕			
担当教員の連絡先等			
教員 E-mail	その他		

授業科目名	高次脳機能作業療法演習		
担当者名	四元 孝道、久保 拓哉	実務家教員	○
授業コード	1220111001	授業形態	演習
学年	3年	開講期	前期
単位数	1単位	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP4-3-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	高次脳機能障害の概要と、その作業療法過程を理解する。各高次脳機能障害の症状と生活障害を教科書や臨床場面の映像により理解を深める。各障害の作業療法介入について調べてレポート・発表をする。高次脳機能障害の背景となる脳損傷について、脳の構造を理解し脳画像から理解できるようになる。授業形態は演習である。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	1.高次脳機能障害の定義、分類、症状を説明することができる。 2.高次脳機能障害を背景とした生活障害をイメージできる。 3.高次脳機能障害に対する作業療法介入について説明することができる。		
授業計画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1	オリエンテーション高次脳機能障害総論 P1～P12(四元)	事前:教科書該当ページを通読し高次脳機能障害とは何かについて理解する(90分) 事後:再度教科書該当ページを読み直す(90分)	
2	高次脳機能障害総論 P1～P12(続き) 脳の構造の理解 (四元)	事前:解剖学書、病気が見える等の教科書で脳の構造を調べておく(90分) 事後:脳の構造の理解を深める。	
3	高次脳機能障害と画像の読み方 P13～P22 (四元)	事前:教科書該当ページを通読し脳画像の見方を理解する(90分) 事後:教科書該当ページを読み直し脳画像の理解を深める(90分)	
4	高次脳機能障害に対する作業療法介入の概要 注意障害:症状と生活障害を理解する。P97～P108 (四元)	事前:教科書該当ページをを通読し理解する(90分) 事後:授業内容を整理し理解を深める(90分)	
5	注意障害:作業療法介入の理解を深める。記憶障害:症状と生活障害を理解する。P109～P122 (四元)	事前:事前:注意障害の作業療法介入について調べレポートを作成する(90分) 事後:教科書該当ページをを通読し理解する(90分)	
6	記憶障害:作業療法介入の理解を深める。半側空間無視:症状と生活障害を理解する P23～P36(久保)	事前:事前:記憶障害の作業療法介入について調べレポートを作成する(90分) 事後:教科書該当ページをを通読し理解する(90分)	
7	半側空間無視:作業療法介入の理解を深める。視覚失認と視空間失認:症状と生活障害を理解する。P37～P48 (久保)	事前:半側空間無視の作業療法介入について調べレポートを作成する(90分) 事後:教科書該当ページをを通読し理解する(90分)	
8	視覚失認と視空間失認:作業療法介入の理解を深める。その他の失認:症状と生活障害を理解する。P49～P60 (久保)	事前:視覚失認と視空間失認の作業療法介入について調べレポートを作成する(90分) 事後:教科書該当ページをを通読し理解する(90分)	
9	その他の失認:作業療法介入の理解を深める。失行症:症状と生活障害を理解する。P61～P70 (久保)	事前:その他の失認の作業療法介入について調べレポートを作成する(90分) 事後:教科書該当ページをを通読し理解する(90分)	

10	失行症:作業療法介入の理解を深める。前頭葉性行為障害:症状と生活障害を理解する。P71~P82 (久保)	事前:失行症の作業療法介入について調べレポートを作成する(90分) 事後:教科書該当ページををを通読し理解する(90分)
11	前頭葉性行為障害:作業療法介入の理解を深める。失語症:症状と生活障害を理解する。P83~P96 (久保)	事前:前頭葉性行為障害の作業療法介入について調べレポートを作成する(90分) 事後:教科書該当ページををを通読し理解する(90分)
12	失語症:作業療法介入の理解を深める。遂行機能障害:症状と生活障害を理解する。P123~P134 (久保)	事前:失語症の作業療法介入について調べレポートを作成する(90分) 事後:教科書該当ページををを通読し理解する(90分)
13	遂行機能障害:作業療法介入の理解を深める。社会的行動障害:症状と生活障害を理解する。p135~P146 (久保)	事前:遂行機能障害の作業療法介入について調べレポートを作成する(90分) 事後:教科書該当ページををを通読し理解する(90分)
14	社会的行動障害:作業療法介入の理解を深める。事例の評価の整理(ICF)と統合と解釈 (久保)	事前:社会的行動障害の作業療法介入について調べレポートを作成する(90分) 事後:ICFでの整理~統合と解釈;;作業療法思考過程の理解を深める(90分)
15	症例検討 (久保)	事例検討の思考過程を理解する

準備学習・事後学習等についての補足説明

事前準備として、教科書の指定ページを通読しておく。疑問点があれば、ノートにメモをし授業中に確認をする。
事後は、教科書を再読し、授業内容や資料と照らし合わせ理解を深める。課題については、授業番号5~14の作業療法介入を事前にグループでまとめ、当日 PowerPoint を用いて発表する。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)

定期試験	課題・小テスト		
60%	40%		

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
15レクチャーシリーズ作業療法テキスト高次脳機能障害・実習	酒井浩 渕雅子 責任編集	中山書店

参考書又は参考資料等

作業療法全書改訂3版8巻作業療法治療学5高次脳機能障害 協同医書出版
作業療法学ゴールド・マスター・テキスト 高次脳機能障害作業療法学 MEDICAL VIEW
標準作業療法学 高次脳機能作業療法学 医学書院

その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕

--

担当教員の連絡先等

教員 E-mail	その他

授業科目名	高齢期作業療法演習		
担当者名	村田 奈保子	実務家教員	
授業コード	1220112001	授業形態	演習
学年	3年	開講期	2024年度前期
単位数	1.00単位	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング			
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	超高齢社会を迎えたわが国における高齢者を取り巻く環境を含めて、高齢期作業療法のプロセスを学修する。高齢者の身体面精神面の加齢性変化から、疾患の理解、作業療法評価と介入について理解し、症例検討をもとに評価結果の統合、目標設定、介入計画の検討を通して、個別事例の特性に応じた作業療法過程を学修する。授業形態は演習である。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者の身体面精神面の加齢性変化並びに、生活課題を説明できる。 2. 高齢期作業療法が実施されている領域の特徴と作業療法の役割を説明できる。 3. 高齢期作業療法で必要とされる評価及び介入技術の基本を身につける。 4. 認知症高齢者に対する作業療法を理解できる。 		
授業計画	準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間		
1	高齢者を巡る日本の現状と生活課題	事前: I-3 高齢期の課題を通読する(20分) 事後: ワークノートの整理と授業の復習(25分)	
2	高齢者の心身機能と身体構造①	事前: I-5 高齢期の作業療法を通読する(20分) 事後: ワークノートの整理と授業の復習(25分)	
3	高齢者の心身機能と身体構造②	事前: I-6 高齢期の一般的特徴を通読する(20分) 事後: ワークノートの整理と授業の復習(25分)	
4	高齢者に起こりやすい症候など	事前: I-7 高齢期に多い疾患を通読する(20分) 事後: ワークノートの整理と授業の復習(25分)	
5	高齢期作業療法の特徴	事前: II-2 高齢期作業療法の実践課程を通読する(20分) 事後: ワークノートの整理と授業の復習(25分)	
6	高齢期作業療法の評価①	事前: II-3 病期に応じた治療・援助内容の違いを通読する(20分) 事後: ワークノートの整理と授業の復習(25分)	
7	高齢期作業療法の評価②	事前: 身体及び認知評価について予習する(20分) 事後: ワークノートの整理と授業の復習(25分)	
8	高齢期作業療法の介入①	事前: II-4 実施場所に応じた治療・援助の違いを通読する(20分) 事後: ワークノートの整理と授業の復習(25分)	
9	高齢期作業療法の介入②	事前: III-3 要介護者のケースー医療から在宅までを通読する(20分) 事後: ワークノートの整理と授業の復習(25分)	
10	高齢期障害におけるリスク管理	事前: リスク管理についての事前学習をする(20分) 事後: ワークノートの整理と授業の復習(25分)	
11	認知症の理解	事前: I-8 認知症を通読する(20分) 事後: ワークノートの整理と授業の復習(25分)	

12	認知症の評価と介入	事前: II-6認知症高齢者の作業療法を通読する(20分) 事後:ワークノートの整理と授業の復習(25分)		
13	事例を用いた評価計画立案	事前: III 章高齢期作業療法の実践事例を通読する(20分) 事後:事例課題の評価計画を立案する(25分)		
14	提示された事例の検討	事前:3 章高齢期作業療法の実践事例を参考に、事例課題の評価計画を立案する(20分) 事後:立案した事例課題の評価計画についてフィードバックを受けて検討する(25分)		
15	事例の検討内容の報告と質疑応答	事前:事例課題の発表準備を行う(20分) 事後:発表時の質疑をもとに課題を修正し提出する(25分)		
準備学習・事後学習等についての補足説明				
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)				
定期試験	レポート	事例報告書	小テスト	
60%	10%	20%	10%	
使用テキスト				
書籍名	著者	出版社		
標準作業療法学「高齢期作業療法」	新井健五、勝山しおり	医学書院		
高齢者のための知的機能検査の手引き	大塚俊男、本間 明	ワールドプランニング		
参考書又は参考資料等				
浅海奈津美・守口恭子:老年期の作業療法、三輪書店				
山田孝:臨床作業療法シリーズ 高齢期障害領域の作業療法、中央法規出版株式会社				
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕				
担当教員の連絡先等				
教員 E-mail	その他			

授業科目名	日常生活活動支援		
担当者名	村田 奈保子、久保 拓哉	実務家教員	
授業コード	1200069001	授業形態	演習
学年	2年	開講期	後期
単位数	1単位	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP2-2-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	作業療法士の役割である対象者の生活再建を達成するために必要な知識と技術を修得する。障害別の日常生活支援の特徴を知り、福祉用具や環境調整についての理解を深める。授業形態は演習である。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	1) 作業療法における日常生活活動の支援(役割)について理解する 2) 日常生活の観察や記録の書き方がわかる 3) 臨床で行われている介助方法(セルフケア・起居)が実施できる 4) 福祉用具・自助具・生活環境について説明できる 5) ADL 障害の援助の基本と疾患の ADL 特徴・援助方法について説明できる		
授業計画		準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間	
1	日常生活活動制限に対する作業療法援助 (基本的考え方) (村田)	事前:第4章Ⅰ 作業療法援助の基本的考え方を通読する(20分) 事後:授業の復習とワークノートの整理(25分)	
2	日常生活活動制限に対する作業療法援助 (効果判定とフォローアップ) (村田)	事前:第4章Ⅰ 作業療法援助の効果判定とフォローアップを通読する(20分) 事後:授業の復習とワークノートの整理(25分)	
3	日常生活活動の援助の実際(脳卒中) (久保)	事前:第6章Ⅱの9-1 疾患別 ADL 援助法の脳血管障害を通読する(20分) 事後:授業の復習とワークノートの整理(25分)	
4	片麻痺の移乗の介助と動作指導 (久保・村田)	事前:第6章Ⅱの9-3 疾患別 ADL 援助法の起居から移乗を通読する(20分) 事後:授業の復習とワークノートの整理(25分)	
5	移動のための支援機器と動作指導 (村田・久保)	事前:第6章Ⅱの9-3 疾患別 ADL 援助法の起居から移乗を通読する(20分) 事後:授業の復習とワークノートの整理(25分)	
6	移動のための支援機器と動作指導(村田・久保)	事前:第6章Ⅱの9-1 疾患別 ADL 援助法の移動を通読し、移動に関する支援機器について調べる(20分) 事後:授業の復習とワークノートの整理(25分)	
7	日常生活活動の援助の実際(頸髄損傷) (村田)	事前:第6章Ⅱの9-3 疾患別 ADL 援助法の脊髄損傷を通読する(20分) 事後:授業の復習とワークノートの整理(25分)	
8	日常生活活動の援助の実際(認知症) (村田)	事前:第6章Ⅳの7-1 老年期障害の疾患別 ADL 援助法の認知症を通読する(20分) 事後:授業の復習とワークノートの整理(25分)	

9	疾患別の生活環境について課題提示(村田)	事前:グループ課題作成に当たり、各疾患の障害像を調べる(20分) 事後:疾患別の生活環境についてレポート作成(25分)
10	福祉用具の利用について(村田)	事前:福祉用具について調べる(20分) 事後:授業の復習とレポート作成(25分)
11	障害体験準備(村田・久保)	事前:自助具・福祉用具について調べる(20分) 事後:障害体験計画書を作成し、材料や道具の準備をする(25分)
12	障害体験①(村田・久保)	事前:障害体験に必要な材料や道具の準備(20分) 事後:障害体験に関する課題作成(25分)
13	障害体験②(村田・久保)	事前:障害体験に必要な材料や道具の準備(20分) 事後:障害体験に関する課題作成(25分)
14	疾患別の生活環境:グループ発表①(村田・久保)	事前:グループで調べた疾患別の生活環境について発表の準備(20分) 事後:発表時の質疑・フィードバックをもとにレポートを修正する(25分)
15	疾患別の生活環境:グループ発表②(村田・久保)	事前:グループで調べた疾患別の生活環境について発表の準備(20分) 事後:発表時の質疑・フィードバックをもとにレポートを修正する(25分)

準備学習・事後学習等についての補足説明

日常生活を送る上で支障をきたす方への支援について、作業療法士の役割を考えながら演習に挑むこと。
レポートは、グループ課題と個人課題があります。
グループ課題の場合、個人課題を集めて終わらないように、提出前に必ずグループで精査すること。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)

定期試験	レポート課題		
70%	30%		

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
作業療法学全書 改訂第3版 第11巻 作業療法技術学3 日常生活活動	酒井ひとみ編集 社団法人 日本作業療法士協会 監修	協同医書

参考書又は参考資料等

斎藤宏他:姿勢と動作 ADL その基礎から応用 第3版 適宜プリントを配布します

その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕

担当教員の連絡先等

教員 E-mail	その他

授業科目名	生活支援工学		
担当者名	寺師 良輝	実務家教員	○
授業コード	1220113001	授業形態	講義
学年	3年	開講期	前期
単位数	2単位	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP4-3-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	この講義では、リハビリテーションセンターで障害のある方に対する工学的支援を実践する教員4人が、生活環境整備や、福祉用具の選択・適用、また新たな機器開発を紹介し、課題解決型学習を通して支援当事者の視点を養う。第1回は、工学的支援の歴史を学び、福祉用具を概観する。第2～4回は、コミュニケーション支援の方法、機器について学び、演習を通し、用具を用いたコミュニケーション支援の理解を深める。第5～7回は、デザインと人間工学分野の技術・技能について、実践例を通じて学ぶ。第8～11回は、各種車いすと福祉車両を活用した移動環境を整備するうえで必要な視点を意識しながら、それらの特徴や選択方法について学習する。第12～15回は、障害者を取り巻く住環境・社会環境の現状や問題点を知ること、その解決方法として機器の導入や環境整備など複数の方法があることを、具体的な事例を通じて学ぶ。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	1) コミュニケーション支援の理解を深めるとともに、問題解決の支援当事者視点を持てるようになる。 2) デザインや人間工学分野の技術・技能を知り、問題解決のための連携ができるようになる。 3) 生活する上で必要な移動環境の実現のために、適切な車いすや自動車を選択する意義や知識を得る。 4) 障害のある方の生活環境整備における問題点に気づき、複数の解決方法を提案できるようになる。		
授業計画	準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間		
1	概論:工学的支援の過去・現在・将来及び福祉用具 (寺師良輝)	事前:参考書をダウンロードし、概観しておくこと(90分) 事後:「福祉用具」「共用品」「一般製品」について情報収集(90分)	
2	コミュニケーション(1):コミュニケーション支援機器 (寺師良輝)	事前:「身の回りにおけるテクノロジー」について情報収集(90分) 事後:「スマートスピーカー」について情報収集(90分)	
3	コミュニケーション(2):アクセシビリティ(寺師良輝)	事前:演習課題について情報収集(90分) 事後:第1～3回の内容を復習(90分)	
4	コミュニケーション(3):インターフェース・入力装置 (寺師良輝)	事前:「日常生活用具」「補装具」について情報収集(90分) 事後:第1～4回の内容を復習(90分)	
5	技術の人間化(1):プロダクトデザイン(片本隆二)	事前:「プロダクトデザイン」について情報収集(23分) 事後:配布資料を読み返すこと(45分)「グッドデザイン賞」「ジェームズダイソンアワード」について情報収集(112分)	
6	技術の人間化(2):デジタルファブリケーション (片本隆二)	事前:「車いすレース用グローブ」について情報収集(45分) 事後:配布資料を読み返すこと(45分)「ファブラボ」「クラウドファンディング」について情報収集(90分)	

7	技術の人間化(3):人間工学(片本隆二)	事前:「人間工学」について情報収集(45分) 事後:第5~7回の配布資料を読み返すこと(135分)
8	生活環境(1):住環境整備の考え方(江原喜人)	事前:「日本における住宅の特徴」について情報収集(90分) 事後:配布資料で「移動と移乗の方法」を復習(90分)
9	生活環境(2):住環境整備のための基礎知識(江原喜人)	事前:「トイレ関連機器」について情報収集(90分) 事後:配布資料で「トイレにおける移乗方法」を復習(90分)
10	生活環境(3):住環境整備支援の実際(江原喜人)	事前:「車いす使用者の住宅改修事例」について情報収集(90分) 事後:配布資料で「車いすでの生活方法」を復習(90分)
11	生活環境(4):公共施設・公共交通機関(江原喜人)	事前:「バリアフリー法」について情報収集(90分) 事後:配布資料で「車いすでの公共交通機関利用」を復習(90分)
12	移動(1):車いす(小林博光)	事前:車いすメーカーをネットで検索(90分) 事後:講義で示した種類の車いすをネットで閲覧(90分)
13	移動(2):電動車いす(小林博光)	事前:電動車いすの操作をしている動画をネットで閲覧(90分) 事後:配付資料を読み返す(90分)
14	移動(3):自動車(小林博光)	事前:自動車メーカーの福祉車両をネットで閲覧(90分) 事後:福祉車両(自操タイプ)を動画サイトで閲覧(90分)
15	移動(4):介助移動(小林博光)※移動環境について図と文章でまとめたレポートを作成	事前:車いすメーカーの介助用車椅子をネットで閲覧(90分) 事後:福祉車両(介助タイプ)の動画をネットで閲覧(90分)
準備学習・事後学習等についての補足説明		
webサイト等を利用し再確認。西日本国際福祉機器展の見学を推奨する。		
成績評価の方法[評価項目と割合]※上段:評価項目、下段:割合(%)		
定期試験	レポート・演習への取組み	
80%	20%	
使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
講義中に適宜、資料を配付する。		
参考書又は参考資料等		
2023年度版「福祉機器選び方・使い方テキスト」一般財団法人 保健福祉広報協会(https://hcr.or.jp/useful/howto)からダウンロード		
その他[受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて]		
担当教員の連絡先等		
教員 E-mail	その他	
	講義の後10分間は教室にて質問等対応可。	

授業科目名	作業療法研究法		
担当者名	久保 拓哉、四元 孝道、佐野 幹剛、村田 奈保子、青山 克実、深町 晃次、吉岡 奈々、平澤 勉	実務家教員	○
授業コード	1220072001	授業形態	演習
学年	3年	開講期	前期
単位数	1単位	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP3-3-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	実務家教員指導の下、個々の研究テーマを検討し、研究論文作成に向けた具体的な体験をしながら、研究の基本的な手順についてアクティブラーニング形式で演習する。学生それぞれのテーマについてグループで検討し、テーマの絞り込みと方法論や分析法などを詳細に検討する。規定に沿った研究計画書を作成し、その内容をプレゼンテーションする。授業形態は演習である。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	1.研究テーマを持つことができる 2.研究計画書を作成することができる 3.研究について発表・議論できる		
授業計画		準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間	
1	オリエンテーション(吉岡)	事前:指定教科書の精読(25分) 事後:資料整理(20分)	
2	個々のテーマの方向性確認と意見交換	事前:文献検索と文献まとめ(25分) 事後:情報整理(20分)	
3	個々のテーマに関する文献報告①	事前:文献検索と文献まとめ(25分) 事後:情報整理(20分)	
4	個々のテーマに関する文献報告②	事前:文献検索と文献まとめ(25分) 事後:情報整理(20分)	
5	個々のテーマに関する文献報告③	事前:文献検索と文献まとめ(25分) 事後:情報整理(20分)	
6	個々のテーマの研究計画討議①	事前:研究テーマの集約(25分) 事後:情報整理と進捗状況自己チェック(20分)	
7	個々のテーマの研究計画討議②	事前:研究テーマの集約(25分) 事後:情報整理と進捗状況自己チェック(20分)	
8	研究計画 中間プレゼンテーション①	事前:プレゼンテーション資料作成(25分) 事後:ディスカッション整理とまとめ(20分)	
9	研究計画 中間プレゼンテーション②	事前:プレゼンテーション資料作成(25分) 事後:ディスカッション整理とまとめ(20分)	
10	研究計画修正①	事前:文献検索と計画書推敲(25分) 事後:研究計画書の自己チェック(20分)	
11	研究計画修正②	事前:文献検索と計画書推敲(25分) 事後:研究計画書の自己チェック(20分)	
12	研究計画書作成①	事前:研究計画書整理(25分) 事後:研究計画書の自己チェック(20分)	
13	研究計画書作成②	事前:研究計画書整理(25分) 事後:研究計画書の自己チェック(20分)	

14	研究計画プレゼンテーション(PowerPoint 使用)と最終研究計画書提出①	事前:プレゼンテーション資料作成(25分) 事後:ディスカッション整理(20分)
15	研究計画プレゼンテーション(PowerPoint 使用)と最終研究計画書提出②	事前:プレゼンテーション資料推敲(25分) 事後:フィードバック情報整理と研究計画書修正提出(20分)
準備学習・事後学習等についての補足説明		
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)		
貢献度	研究計画書等の提出物	プレゼンテーション
40%	40%	20%
使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
作業療法研究法	竹田徳則、大浦智子	医歯薬出版
参考書又は参考資料等		
対馬栄輝 木村雅彦 石川 朗 種村留美・編集:リハビリテーション統計学 中山書店 2014 (2年後期 臨床統計の使用教科書)その他, 授業中に紹介する。		
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕		
担当教員の連絡先等		
教員 E-mail	その他	
	内容はゼミによって適宜変更し実施する。	

授業科目名	臨床作業療法演習		
担当者名	久保 拓哉、四元 孝道、佐野 幹剛、村田 奈保子、青山 克実、深町 晃次、吉岡 奈々、平澤 勉	実務家教員	○
授業コード	1220114001	授業形態	演習
学年	3年	開講期	通年
単位数	1単位	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP4-3-C		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	実務家教員指導の下、臨床実習の準備として、実習生としての心得や評価方法の選択と実施、統合と解釈などを演習する。評価技術の準備・定着のため、身体機能と精神機能を対象とした OSCE を行う。授業形態は演習である。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	1.実習生としての心得を理解し、医療人としての望ましい態度や行動をとることができる。 2.適切な報告・連絡・相談ができる。 3.疾患特性を理解し、適切に評価方法を選択することができる。 4.評価目的を理解し、適切に実施することができる。 5.評価結果を解釈・統合し、作業療法プログラムを立案することができる。 6.評価・訓練時のリスク管理ができる。		
授業計画		準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間	
1	オリエンテーション:臨床実習について学生の心得や学習要領・生活管理について(平澤)	事前:臨床実習録を通読しておく(20分) 事後:実習施設に合わせた情報収集(25分)	
2	義肢装具演習(奥村)	事前:配信動画を視聴して予習する(45分)	
3	身体機能分野演習① 評価(四元)	事前:事前に提示されたケースの評価を検討する(20分) 事後:提示された評価結果に基づいて作業療法計画を検討する(25分)	
4	精神機能分野演習① 評価(青山)	事前:事前に提示されたケースの評価を検討する(20分) 事後:提示された評価結果に基づいて作業療法計画を検討する(25分)	
5	発達機能分野演習① 評価(佐野)	事前:事前に提示されたケースの評価を検討する(20分) 事後:提示された評価結果に基づいて作業療法計画を検討する(25分)	
6	OSCE とは(村田、平澤)	事前:事前に提示された臨床技能(評価)について自主練習する(20分) 事後:教員によるフィードバックされた内容に基づき自主練習する(25分)	
7	身体機能分野演習② 評価(四元・村田・吉岡・久保)	事前:事前に提示された臨床技能(評価)について自主練習する(20分) 事後:教員によるフィードバックされた内容に基づき自主練習する(25分)	
8	生活行為向上マネジメント:概論(青山)	事前:配布資料の精読(20分) 事後:MTDLP 目標設定課題(25分)	

9	リスク管理(急変に対する対応、他者・自己に対する感染対策について)(吉岡)	事前:リスク管理および感染対策について調べておく(20分) 事後:授業について復習する(25分)
10	生活行為向上マネジメント:グループ演習(青山・四元)	事前:事例の生活行為向上アセスメントシートの作成 事後:事例の生活行為向上プランシートの作成
11	生活行為向上マネジメント:グループ発表(青山・四元)	事前:グループにて発表練習(20分) 事後:MTDL マネジメントシートの修正と提出
12	身体機能分野演習② 作業療法計画と介入(久保)	事前:提示された評価結果に基づいて作業療法計画を検討する(20分) 事後:実習報告書の書式に評価～作業療法計画を記載する(25分)
13	精神機能分野演習② 作業療法計画と介入(深町)	事前:事前に提示されたケースの評価を検討する(20分) 事後:実習報告書の書式に評価～作業療法計画を記載する(25分)
14	発達機能分野演習② 作業療法計画と介入(佐野)	事前:事前に提示されたケースの評価を検討する(20分) 事後:実習報告書の書式に評価～作業療法計画を記載する(25分)
15	ADL 演習 身体介助と介助量、移乗・移動について(村田)	事前:片麻痺の回復過程について調べておく(20分) 事後:各動作の介助方法について復習する(25分)

準備学習・事後学習等についての補足説明

「臨床実習Ⅱ」および「臨床実習Ⅲ」の準備として、各分野の実務経験のある教員により、実習生としての心得、疾患に応じた評価方法の選択と実施について指導を受ける。また統合と解釈、作業療法計画などを演習する。臨床実習の準備として、授業以外で自主練習など十分な準備を行うこと。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)

演習課題	貢献度		
50%	50%		

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
臨床実習録	九州栄養福祉大学	

参考書又は参考資料等

授業中に紹介する

その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕

担当教員の連絡先等	
教員 E-mail	その他
	<p>後期休学により単位履修できなかった場合は、次年度前期からの再履修が必要となる。第1～2回は前期に実施する。前期の上記以外の時間は検査測定・面接などの自主的な練習の時間とする。第3～9回は後期 臨床実習Ⅱまでに実施する。第10～15回は、後期 臨床実習Ⅱ後から臨床実習Ⅲの間の期間に実施する。</p>

授業科目名	作業療法基礎演習		
担当者名	青山 克実、四元 孝道、佐野 幹剛、村田 奈保子、深町 晃次、吉岡 奈々、石橋 敏郎、平澤 勉、久保 拓哉	実務家教員	○
授業コード	1220060001	授業形態	演習
学年	4年	開講期	後期
単位数	1単位	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP2-4-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	作業療法における各分野の実務経験のある教員によって、作業療法基礎演習は本学科が理想とする作業療法士像について確認する。作業療法の基礎科目毎に、オムニバス形式による講義を実施し基礎力の充実を図る。教科書に基づいた人体の構造と機能及び心身の発達、各疾患の特性、疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進、保健医療福祉とリハビリテーションの理念について総合演習する。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	作業療法基礎演習では、これまで積み重ねてきた作業療法の基礎科目について理解の深化を図るとともに、専門科目との関連性など総合力を身につける。本学科が理想とする、基礎医学、リハビリテーション医学など作業療法における基本的知識(知性)を獲得している作業療法士を目指す。		
授業計画	準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間		
1	オリエンテーション、学長講話(青山)	事前:国家試験出題基準を確認する(20分) 事後:学長講話聴講後の課題を遂行する(25分)	
2	脳・神経・筋系の解剖(青山)	事前:授業予定科目の国家試験の過去問を解く(20分) 事後:授業範囲の復習をする(25分)	
3	内臓・感覚系の解剖(青山)	事前:授業予定科目の国家試験の過去問を解く(20分) 事後:授業範囲の復習をする(25分)	
4	脳・神経・筋系の生理(四元)	事前:授業予定科目の国家試験の過去問を解く(20分) 事後:授業範囲の復習をする(25分)	
5	感覚系の生理、呼吸・循環系の生理(四元)	事前:授業予定科目の国家試験の過去問を解く(20分) 事後:授業範囲の復習をする(25分)	
6	機能解剖と運動生理(石橋)	事前:授業予定科目の国家試験の過去問を解く(20分) 事後:授業範囲の復習をする(25分)	
7	医学的リハビリテーションと予防医学、医療制度(四元)	事前:授業予定科目の国家試験の過去問を解く(20分) 事後:授業範囲の復習をする(25分)	
8	ICF、障害者総合支援法、障害程度等級、介護保険制度、認知症(深町)	事前:授業予定科目の国家試験の過去問を解く(20分) 事後:授業範囲の復習をする(25分)	
9	人間発達、小児科系疾患と障害(佐野)	事前:授業予定科目の国家試験の過去問を解く(20分) 事後:授業範囲の復習をする(25分)	
10	疾病の病理と治療(四元)	事前:授業予定科目の国家試験の過去問を解く(20分) 事後:授業範囲の復習をする(25分)	
11	内部障害、がん関連障害、老年期障害(村田)	事前:授業予定科目の国家試験の過去問を解く(20分) 事後:授業範囲の復習をする(25分)	
12	骨関節障害、末梢神経、慢性疼痛(吉岡)	事前:授業予定科目の国家試験の過去問を解く(20分) 事後:授業範囲の復習をする(25分)	

13	中枢神経の障害、神経・筋の障害(久保)	事前:授業予定科目の国家試験の過去問を解く(20分) 事後:授業範囲の復習をする(25分)	
14	精神医学(統合失調症、うつ病、双極性障害、てんかん)(青山)	事前:授業予定科目の国家試験の過去問を解く(20分) 事後:授業範囲の復習をする(25分)	
15	精神医学(神経症、摂食障害、PD、依存症、薬物療法、総合問題)(平澤)	事前:授業予定科目の国家試験の過去問を解く(20分) 事後:授業範囲の復習をする(25分)	
準備学習・事後学習等についての補足説明			
国家試験過去問題(10年分)の基礎問題を予習し、内容を把握しておくこと。これまで使用してきた教科書を参考にして、疑問点があれば該当科目の教科書に立ち返り学習すること。達成度確認試験の結果を自己分析し、弱点箇所の克服に努めること。少人数のグループを作り、予習復習を行うとともに積極的に質問することを期待している。			
成績評価の方法[評価項目と割合]※上段:評価項目、下段:割合(%)			
定期試験	レポート課題	達成度確認試験	
80%	10%	10%	
使用テキスト			
書籍名	著者	出版社	
各科目の教科書			
参考書又は参考資料等			
授業中に紹介する			
その他[受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて]			
担当教員の連絡先等			
教員 E-mail	その他		

授業科目名	作業療法専門演習		
担当者名	青山 克実、四元 孝道、佐野 幹剛、村田 奈保子、深町 晃次、吉岡 奈々、平澤 勉、奥村 チカ子、久保 拓哉	実務家教員	○
授業コード	1220061001	授業形態	演習
学年	4年	開講期	後期
単位数	1単位	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP2-4-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	作業療法専門演習は各分野の実務教員による授業・演習、特別講義として学長補佐、学部長、教務・学生部長による専門講義、卒業生や有識者による教育講演を実施し、作業療法士としての資質向上を図っていくための多様な授業構成になっている。教科書及び臨床に基づいた評価学、治療学、地域作業療法や義肢装具などについて総合演習する。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	作業療法専門演習の目的は、本学の教育理念、学部・学科の教育目標が4年次に到達しているかを確認することであり、これまで積み重ねてきた作業療法の専門科目について理解の深化を図るとともに、臨床で応用できる総合力を身につける。		
授業計画		準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間	
1	オリエンテーション、卒業生による教育講演(青山)	事前:国試対策に関して卒業生への質問を考える(20分) 事後:卒業生講話聴講後の課題を作成する(25分)	
2	身体障害分野(中枢疾患)(久保)	事前:授業予定科目の国家試験の過去問を解く(20分) 事後:授業範囲の復習をする(25分)	
3	身体障害分野(整形疾患)(奥村)	事前:授業予定科目の国家試験の過去問を解く(20分) 事後:授業範囲の復習をする(45分)	
4	身体障害分野(内部疾患)(吉岡)	事前:授業予定科目の国家試験の過去問を解く(20分) 事後:授業範囲の復習をする(25分)	
5	身体障害分野(神経疾患)(村田)	事前:授業予定科目の国家試験の過去問を解く(20分) 事後:授業範囲の復習をする(25分)	
6	精神障害分野(統合失調症、うつ病、双極性障害)(青山)	事前:授業予定科目の国家試験の過去問を解く(20分) 事後:授業範囲の復習をする(25分)	
7	精神障害分野(神経症、摂食障害、PD、発達障害、就労関連問題等)(平澤)	事前:授業予定科目の国家試験の過去問を解く(20分) 事後:授業範囲の復習をする(25分)	
8	精神障害分野(認知症、依存症、てんかん)、基礎作業学(深町)	事前:授業予定科目の国家試験の過去問を解く(20分) 事後:授業範囲の復習をする(25分)	
9	発達障害分野(佐野)	事前:授業予定科目の国家試験の過去問を解く(20分) 事後:授業範囲の復習をする(25分)	
10	評価法(筋骨格系検査)(四元)	事前:授業予定科目の国家試験の過去問を解く(20分) 事後:授業範囲の復習をする(25分)	
11	評価法(高次脳機能検査)(久保)	事前:授業予定科目の国家試験の過去問を解く(20分) 事後:授業範囲の復習をする(25分)	
12	評価学(発達検査)(佐野)	事前:授業予定科目の国家試験の過去問を解く(20分) 事後:授業範囲の復習をする(25分)	
13	作業療法理論、MTDLP(青山)	事前:授業予定科目の国家試験の過去問を解く(20分) 事後:授業範囲の復習をする(25分)	

14	バリアフリーとユニバーサルデザイン、福祉用具 (村田)	事前:授業予定科目の国家試験の過去問を解く(20分) 事後:授業範囲の復習をする(25分)
15	地域作業療法学(関連法規、制度、地域作業療法、雇用就労支援、リハ栄養)(四元)	事前:授業予定科目の国家試験の過去問を解く(20分) 事後:授業範囲の復習をする(25分)
準備学習・事後学習等についての補足説明		
<p>国家試験過去問題(10年分)の専門問題を予習し、内容を把握しておくこと。これまで使用してきた教科書を参考にして、疑問点があれば該当科目の教科書に立ち返り学習すること。達成度確認試験の結果を自己分析し、弱点箇所の克服に努めること。少人数のグループを作り、予習復習を行うとともに積極的に質問することを期待している。</p>		
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)		
定期試験	レポート課題	達成度確認試験
80%	10%	10%
使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
各科目の教科書		
参考書又は参考資料等		
適宜プリントを配布する。		
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕		
担当教員の連絡先等		
教員 E-mail	その他	

授業科目名	手の機能とICT		
担当者名	四元 孝道、吉岡 奈々、久保 拓哉	実務家教員	
授業コード	1220115001	授業形態	演習
学年	4年	開講期	後期
単位数	1単位	履修	卒業・作業療法士選択必修
ナンバリング	DP4-4-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	障害を受けた手の機能の再建は、対象者の様々なやりたい作業を実現するために作業療法の重要な領域の一つである。まず、手の基本的な構造や機能と役割を理解する。次に手の実用的な機能向上に向けた一般的な治療方法についての知識を深める。また情報社会の中でのコミュニケーションツールとしての手の役割も学ぶ。様々な背景により生じた手の機能障害別に、最先端のリハビリテーションと作業療法士の役割を学ぶ。授業形態は演習である。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上肢・手の構造と機能を理解できる。 2. 作業療法分野での上肢・手の機能の障害とその再建について理解できる。 3. 作業療法分野における上肢・手へのアプローチの最先端の知識と技術を理解できる。 4. 実践を体験し実感できる。 		
授業計画		準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間	
1	オリエンテーション・科目概要(四元)	事前:シラバスに目を通しておく。上肢・手の機能についてイメージしておく。(90分) 事後:人の手の役割や機能について調べ、次回発表する。(90分)	
2	上肢・手の構造と機能(1)知識の整理(久保)	事前:上肢・手の構造と機能について、さまざまな文献をもとに調べ理解しておく。(90分) 事後:配布された資料をもとに、知識を整理し理解を深める。(90分)	
3	上肢・手の構造と機能(2)手の機能を実感する(実技)(久保)	事前:上肢・手の構造と機能について、さまざまな文献をもとに調べ理解しておく。(90分) 事後:配布された資料、授業中の実技について、知識や技術を整理し理解を深める。(90分)	
4	脳卒中患者の上肢・手の機能の障害(久保)	事前:脳卒中片麻痺患者の上肢手の障害とその評価について調べておく。(90分) 事後:授業内容を振り返り、理解を深める。(90分)	
5	脳卒中患者の上肢・手の機能の回復(久保)	事前:脳卒中片麻痺患者の上肢手の機能回復、予後予測について調べておく。(90分) 事後:授業内容を振り返り、理解を深める。(90分)	
6	脳卒中患者の生活場面での手の再建(久保)	事前:ADLの中で、脳卒中片麻痺患者の障害された上肢・手の使用方法について障害レベルごとに調べておく。(90分) 事後:脳卒中片麻痺患者のADLにおける上肢・手の使用の理解を深める。(90分)	
7	脳卒中患者の生活場面での手の再建・応用(久保)	事前:IADLの中で、脳卒中片麻痺患者の障害された上肢・手の使用方法について障害レベルごとに調べておく。(90分) 事後:脳卒中片麻痺患者のIADLにおける上肢・手の使用の理解を深める。(90分)	

8	運動器疾患の上肢・手の機能障害(吉岡)	事前:運動器疾患の上肢・手の障害について調べておく。(90分) 事後:授業内容を振り返り、理解を深める。(90分)
9	運動器疾患(上肢)を中心とした機能の回復と評価(吉岡)	事前:運動器疾患の上肢(肩)・手の評価について調べておく。(90分) 事後:授業内容を振り返り、理解を深める。(90分)
10	運動器疾患の手の再建(1)治療(吉岡)	事前:運動器疾患の対象者がどのように障害された上肢・手を治療していくのか方法を文献などで調べておく。(90分) 事後:運動器疾患患者における上肢・手の治療の理解を深める。(90分)
11	運動器疾患の生活場面での手の再建(2)ADL(吉岡)	事前:日常生活活動(ADL)の中で、運動器疾患の対象者がどのように障害された上肢・手を使用しているか調べておく。(90分) 事後:運動器疾患患者のADLにおける上肢・手の使用の理解を深める。(90分)
12	ICT 最新福祉用具とリハロボット(四元)	事前:インターネットで福祉用具・ロボットを検索する。(90分) 事後:ロボットの機構について理解を深める。(90分)
13	ICT ロボットの実際の利用:計測機器データ収集(四元)	事前:ロボットの機構を考えコントロールについて調べる。(90分) 事後:プログラム言語について理解を深める。(90分)
14	ICT 最新ロボットに触れる(四元)	事前:福祉用具機器展・北九州ロボットフォーラムについて調べる。(90分) 事後:ロボットのメリットとデメリットの理解を深める。(90分)
15	ICT 福祉用具・アプリケーションを検討する(四元)	事前:福祉用具・アプリケーションを調べておく。(90分) 事後:汎用できる環境を想定し利用する。(90分)

準備学習・事後学習等についての補足説明

事前は、各担当教員により指定された事前準備について準備する。

事後は、授業内容を振り返り理解を深める。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)

課題レポート	授業貢献度		
60%	40%		

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
なし		

参考書又は参考資料等

1. モーターコントロール原著第4版 田中繁・高橋明監訳 医歯薬出版
2. 手のかたち・手のうごき 鎌倉矩子著 医歯薬出版

その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕

担当教員の連絡先等

教員 E-mail	その他

授業科目名	地域精神保健作業療法演習		
担当者名	平澤 勉	実務家教員	○
授業コード	1220116001	授業形態	演習
学年	4年	開講期	後期
単位数	1単位	履修	卒業・作業療法士選択必修
ナンバリング	DP4-4-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	精神科作業療法における実践的な知識や技術を演習を通して学ぶ。 専門的なアプローチや理論を学び、精神科作業療法についての学習を深める。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	1.地域精神保健における作業療法の役割を説明することができる 2.精神科作業療法で用いられる理論を説明することができる 3.精神科作業療法関連技法を挙げ説明することができる		
授業計画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1	精神科作業療法の4重の治療構造と5つの要素 p.87-110	事前:教科書の指定範囲を通読する(20分) 事後:課題ワークを作成する(25分)	
2	精神療法的治療構造の活用事例演習 急性期統合失調症 p.110-113	事前:教科書の指定範囲を通読する(20分) 事後:課題ワークを作成する(25分)	
3	精神療法的治療構造の活用事例演習 パーソナリティ障害 p.113-115	事前:教科書の指定範囲を通読する(20分) 事後:課題ワークを作成する(25分)	
4	精神療法的治療構造の活用事例演習 非定型うつ病 p.115-118	事前:教科書の指定範囲を通読する(20分) 事後:課題ワークを作成する(25分)	
5	ACT(包括型地域生活支援)、訪問作業療法	事後:課題レポートを作成する(45分)	
6	訪問事例演習	事後:課題レポートを作成する(45分)	
7	WRAP(元気回復行動プラン)演習	事後:課題ワークを作成する(45分)	
8	リカバリーシートを用いた集団作業療法の事例理解 p.77-83	事前:教科書の指定範囲を通読する(20分) 事後:課題ワークを作成する(25分)	
9	心理教育演習	事後:課題ワークを作成する(45分)	
10	認知リハビリテーション演習	事後:課題ワークを作成する(45分)	
11	作業療法と認知行動療法:行動活性化	事後:課題ワークを作成する(45分)	
12	作業療法と認知行動療法:認知再構成法	事後:課題ワークを作成する(45分)	
13	作業療法と認知行動療法:マインドフルネス	事後:課題ワークを作成する(45分)	
14	入退院に関与できる作業療法アセスメント事例演習 p. iv - v	事前:教科書の指定範囲を通読する(20分) 事後:課題ワークを作成する(25分)	
15	3つの治療要因と作業療法の独自性 p.3-5	事前:教科書の指定範囲を通読する(20分) 事後:課題ワークを作成する(25分)	
準備学習・事後学習等についての補足説明			
演習で配布した課題に感想・質問を加筆して提出します。			
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)			
課題			
100			

使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
臨床精神科作業療法学～理論・実践・効果検証	大丸幸・中山広宣 編著	協同医書出版社
参考書又は参考資料等		
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕		
担当教員の連絡先等		
教員 E-mail	その他	

授業科目名	認知症ケア支援		
担当者名	深町 晃次、青山 克実	実務家教員	
授業コード	1220117001	授業形態	演習
学年	4年	開講期	2024年度後期
単位数	1単位	履修	卒業・作業療法士選択必修
ナンバリング	DP4-4-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	高齢社会を迎え、我が国では認知症を発症する人は今後も増加すると考えられており、認知症の方への適切なケア、ケアを行う方への指導・管理を行える人材の育成など、介護・医療現場では認知症ケアに携わる方の専門性向上が求められ、作業療法士への期待も大きいと考える。認知症や認知症ケアを学び、認知症の方やそのご家族に適切指導を行い、尊厳、安心を提供できるよう知識・技術を教授する。また「認知症ケア指導管理士」の資格取得の支援を行う。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	1.認知症高齢者の現状を理解する 2.知症の医学・心理について理解する 3.認知症の日常生活支援ができる 4.認知症への薬物療法・非薬物療法について理解する 5.家族支援・社会資源について理解する		
授業計画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1	オリエンテーション・認知症ケア指導管理士とは(深町)	事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと(20分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(25分)	
2	認知症高齢者の現状(深町)	事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと(20分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(25分)	
3	認知症の医学的理解(深町)	事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと、小テスト対策(20分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(25分)	
4	認知症の心理的理解(青山)	事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと(20分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(25分)	
5	認知症ケアの理念(青山)	事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと(20分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(25分)	
6	認知症ケアの実践(青山)	事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと、小テスト対策(20分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(25分)	
7	認知症の人の日常生活を知る(深町)	事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと(20分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(25分)	
8	認知症の日常生活支援(青山)	事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと(20分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(25分)	
9	認知症への薬物療法(深町)	事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと、小テスト対策(20分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(25分)	
10	認知症への非薬物療法(青山)	事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと(20分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(25分)	
11	認知症家族への支援(青山)	事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと(20分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(25分)	

12	認知症ケアにおける社会資源(青山)	事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと、小テスト対策(20分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(25分)
13	認知症ケアにおける社会資源活用の実際(深町)	事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと(20分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(25分)
14	応用問題(時事問題など)(深町)	事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと(20分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(25分)
15	重要ポイントの再確認(深町)	事前:教科書の該当箇所を通読しておくこと、小テスト対策(20分) 事後:講義の要点・ポイントについてまとめること(25分)
準備学習・事後学習等についての補足説明		
成績評価の方法[評価項目と割合]※上段:評価項目、下段:割合(%)		
定期試験	小テスト	
50%	50%	
使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
認知症ケア指導管理士試験(初級)公式テキスト	一般財団法人職業技能振興会	株式会社紀伊國屋書店
参考書又は参考資料等		
その他[受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて]		
担当教員の連絡先等		
教員 E-mail	その他	

授業科目名	パラスポーツ		
担当者名	時任 真幸	実務家教員	○
授業コード	1200117001	授業形態	演習
学年	カリキュラムにより異なります。	開講期	後期
単位数	1 単位	履修	卒業・作業療法士選択必修
ナンバリング	DP4-4-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	スポーツ活動は障がいのある人個人にとって様々な意義があり、治療的要素とともに健康維持・向上、対人交流、社会参加などの役割を担っている。この授業では、障がい者福祉政策、各障がいの理解、パラスポーツのルール・指導方法を学習し、グループディスカッションやディベートを取り入れながら考察する。また、スポーツの見学・実践を、パラスポーツ支援の意義や理学療法士の役割について学んで頂きます。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	1) パラスポーツ支援の意義・概要について説明できる。 2) 三障がいの概要および障がい者の高齢化や障がいの重度化について説明できる。 3) パラスポーツ支援における理学療法士の役割について説明できる。 4) 障がいに応じた工夫・支援方法について説明できる。 5) 安全管理に留意して障がいに応じたパラスポーツ指導案の作成、実践ができる。		
授業計画	準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間		
1	スポーツのインテグリティと指導者に求められる資質	事前:「スポーツ・インテグリティ」「スポーツ指導者に求められる資質」の概要を調べる(25分) 事後:講義内で出てきた内容を復習する(20分)	
2	障がい者スポーツの意義と理念	事前:「障がい者スポーツの影響」「医師グッドマン博士の考え方」を調べる(25分) 事後:講義内で出てきた内容を復習する(20分)	
3	コミュニケーションスキルの基礎 ※講義およびロールプレイによる演習	事後:インタビュートレーニング後のコメントシートを完成させる(45分)	
4	障がい者福祉政策とパラスポーツパラリンピックについて	事前:「パラスポーツ」「パラリンピック」「障がい者福祉政策」の概要を調べる(25分) 事後:講義内で出てきた内容を復習する(20分)	
5	安全管理について※ディベートおよびグループ別発表を行う	事前:ディベートに向け、スポーツにおける安全管理について情報を収集する(25分) 事後:講義内で出てきた内容を復習する(20分)	
6	障がいの理解とスポーツ:身体障がい (肢体不自由・内部障がい)	事前:「肢体不自由・内部障がい」の概要を調べる(25分) 事後:講義内で出てきた内容を復習する(20分)	
7	障がいに応じたスポーツの工夫:ボッチャ	事前:「ボッチャ」の概要を調べる(25分) 事後:講義内で出てきた内容を復習する(20分)	
8	障がいの理解とスポーツ:知的障がい	事前:「知的障がい」の概要を調べる(20分) 事後:講義内で出てきた内容を復習する(25分)	
9	障がいの理解とスポーツ:精神障がい	事前:「精神障がい」の概要を調べる(25分) 事後:講義内で出てきた内容を復習する(20分)	
10	障がいの理解とスポーツ:視覚障がい・聴覚／音声障がい	事前:「視覚障がい・聴覚／音声障がい」の概要を調べる(25分) 事後:講義内で出てきた内容を復習する(20分)	

11	障がいに応じたスポーツの工夫:フライングディスク	事前:「フライングディスク」の概要を調べる(25分) 事後:講義内で出てきた内容を復習する(20分)
12	障がいに応じたスポーツの工夫:バレーボール	事前:「バレーボール」を知的障がい・精神障がい・聴覚障がいにおいてどう指導するか考える(25分) 事後:講義内で出てきた内容を復習する(20分)
13	障がいのある人との交流:車いすバスケットボール北九州チャンピオンズカップの試合観戦(後日観戦)	事後:大会観戦後、レポート作成(45分)
14	パラスポーツ推進の取り組みフクオカ・パラスター・プロジェクトについて	事前:フクオカ・パラスター・プロジェクトの概要と実施プログラムを調べる(25分) 事後:講義内で出てきた内容を復習する(20分)
15	全国障害者スポーツ大会・障がい者スポーツ指導者制度※ディベートおよびグループ別発表を行う	事前:ディベートに向け、「全国障害者スポーツ大会・障がい者スポーツ指導者制度」について調べる(25分) 事後:講義内で出てきた内容を復習する(20分)

準備学習・事後学習等についての補足説明

事前学習では講義のキーワードをもとに各自で予習を行い、事後学習では講義内容を復習して下さい。
講義時には講義開始時および講義終了時に小テストを実施します。ディベートにおいては発表資料を作成していただきます。また、レポートは見学内容・感想を各自でまとめ提出して頂きます。授業では代表的なパラスポーツを紹介・実施します。事前に大まかなルール等を確認し、授業後には対象者に指導できるレベルまで到達できるようになりましょう。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)

授業・実習姿勢(小テスト含む)	発表内容	レポート課題	
50%	20%	30%	

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
改訂版 障がいのある人のスポーツ指導教本(初級・中級)2020年改訂カリキュラム対応	(公財)日本パラスポーツ協会[編]	株式会社ぎょうせい
全国障害者スポーツ大会競技規則集(解説付)―令和6年度版― (令和6年4月1日発行)	(公財)日本パラスポーツ協会[編]	(公財)日本パラスポーツ協会

参考書又は参考資料等

その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕

担当教員の連絡先等

教員 E-mail	その他

授業科目名	福祉住環境演習		
担当者名	村田 奈保子	実務家教員	
授業コード	1220118001	授業形態	演習
学年	4年	開講期	後期
単位数	1単位	履修	卒業・作業療法士選択必修
ナンバリング	DP4-4-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	障がい者および高齢者の生活環境について、障害別・生活場面別の生活用具・環境整備の視点や考え方について学ぶ。また、住宅構造の概略や改修のあり方等について学ぶ。福祉住環境コーディネーター2級レベルの知識を修得する。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	1) 障がい者および高齢者の在宅生活の課題について説明できる 2) 課題に対する支援方法を列挙できる 3) 課題に対する支援方法を具体化した企画を提案できる 4) 他領域の専門職とのチームでの共通言語を使うことができる 5) 福祉住環境コーディネーター2級を取得する		
授業計画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1	オリエンテーション 高齢者を取り巻く社会状況と住環境	予習:福祉住環境コーディネーター検定試験について調べる(30分) 復習:練習問題(60分)	
2	障害者を取り巻く社会状況と住環境	予習:提示課題について調べる(30分) 復習:練習問題(60分)	
3	在宅介護での自立支援のあり方	予習:提示課題について調べる(30分) 復習:練習問題(60分)	
4	疾患別・障害別にみた福祉住環境整備(CVA)	予習:提示課題について調べる(30分) 復習:練習問題(60分)	
5	疾患別・障害別にみた福祉住環境整備(認知症)	予習:提示課題について調べる(30分) 復習:練習問題(60分)	
6	疾患別・障害別にみた福祉住環境整備(RA)	予習:提示課題について調べる(30分) 復習:練習問題(60分)	
7	疾患別・障害別にみた福祉住環境整備(パーキンソン病)	予習:提示課題について調べる(30分) 復習:練習問題(60分)	
8	疾患別・障害別にみた福祉住環境整備(心筋梗塞)	予習:提示課題について調べる(30分) 復習:練習問題(60分)	
9	疾患別・障害別にみた福祉住環境整備(視覚障害)	予習:提示課題について調べる(30分) 復習:練習問題(60分)	
10	疾患別・障害別にみた福祉住環境整備(肢体不自由)	予習:提示課題について調べる(30分) 復習:練習問題(60分)	
11	相談援助の考え方と福祉住環境整備の進め方	予習:提示課題について調べる(30分) 復習:練習問題(60分)	
12	福祉住環境整備の共通基本事項	予習:提示課題について調べる(30分) 復習:練習問題(60分)	

13	生活行為別福祉住環境整備の手法	予習:提示課題について調べる(30分) 復習:練習問題(60分)
14	福祉住環境正義の実践に必要な基礎知識	予習:提示課題について調べる(30分) 復習:練習問題(60分)
15	在宅生活における福祉用具の活用	予習:提示課題について調べる(30分) 復習:練習問題(60分)
準備学習・事後学習等についての補足説明		
事後学習の練習問題で分からない箇所があれば次回授業で質問し解決する事		
成績評価の方法[評価項目と割合]※上段:評価項目、下段:割合(%)		
課題	小テスト	
70%	30%	
使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
資料を配布する		
参考書又は参考資料等		
福祉住環境コーディネーター検定試験 2級公式テキスト 改訂6版:東京商工会議所編		
その他[受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて]		
担当教員の連絡先等		
教員 E-mail	その他	

授業科目名	作業療法総合研究		
担当者名	吉岡 奈々、四元 孝道、佐野 幹剛、 村田 奈保子、青山 克実、深町 晃次、 平澤 勉、久保 拓哉	実務家教員	○
授業コード	1220119001	授業形態	演習
学年	4年	開講期	通年
単位数	2単位	履修	選択
ナンバリング	DP3-4-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	作業療法総合研究は「作業療法研究法」で作成した研究計画書に沿って実施する。研究論文作成に向けて、前期はパイロットスタディ、後期は本調査を実施しながら、研究の基本的な手順と科学的視点で考察できるよう演習する。これまで取り組んできた研究テーマの集大成であり、学生は学習した理論と実践の体系付けに務めること。研究内容は実務経験のある教員に指導を受け、規定に沿ってまとめ提出すること。完成後は学会形式で研究発表会を行う。発表に当たっては、規定に従って運営も行う。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	1) 研究テーマを持つことができる。 2) 研究計画書及びパイロットスタディに沿って、本調査を実施することができる。 3) 本調査の結果を、適切な統計学的手法を用いて分析することができる。 4) 分析結果を考察し、一定の示唆を示すことができる。 5) 研究結果をプレゼンテーションすることができる。 6) 本調査の結果を分析し、論文規定に基づいて研究論文を作成することができる。		
授業計画			
作業療法総合研究担当教員のもと、以下の内容を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・研究の心得 ・研究計画書作成 ・研究方法論の検討 ・パイロットスタディ ・研究方法論の見直し ・本調査 ・中間報告 ・抄録作成 ・発表資料作成 ・卒業研究発表会 ・論文の修正 			
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段：評価項目、下段：割合(%)			
ゼミへの貢献度	プレゼンテーション	研究論文(様式は別途提示する)	
20%	30%	50%	
使用テキスト			
書籍名	著者	出版社	
作業療法研究法	竹田徳則、大浦智子	医歯薬出版	

参考書又は参考資料等	
石黒 圭:この1冊できちんと書ける! 論文・レポートの基本. 日本実業出版社, 2012 授業中にも紹介する	
その他[受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて]	
担当教員の連絡先等	
教員 E-mail	その他

授業科目名	地域作業療法学		
担当者名	四元 孝道、青山 克実	実務家教員	○
授業コード	1220085001	授業形態	講義
学年	3年	開講期	前期
単位数	2単位	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP2-3-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	この講義では、地域作業療法の実務経験のある教員が教授する。病気や障害があつて地域でその人らしく暮らすには医療保健福祉教育の連携と多職種連携が必要である。そのために必要となる基礎知識と事例を通して関わり方のポイントについて講義し、地域で活動できる作業療法士を目指す。授業形態は講義である。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	1. 地域における作業療法の展開、実践の場と活動；地域作業療法の範囲を理解し、説明できるようになる。 2. 医療福祉介護領域ごとで実施される基礎知識を理解し、作業療法を説明できるようになる。		
授業計画		準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間	
1	地域作業療法の基盤：地域リハビリテーションとは、地域作業療法の概念(四元)	事前：事前配布資料を通読し予習する(90分) 事後：地域作業療法の基盤と背景の理解を深める(90分)	
2	地域作業療法を支える制度 P39～P65(四元)	事前：教科書該当箇所を通読し予習する(90分) 事後：地域作業療法を支える制度の理解を深める(90分)	
3	地域作業療法を支える社会生活支援・連携 P66～P83(四元)	事前：教科書該当箇所を通読し予習する(90分) 事後：社会生活支援や多職種連携・協働の理解を深める(90分)	
4	地域作業療法の評価の視点 P94-108(四元)	事前：教科書該当箇所を通読し予習する(90分) 事後：地域作業療法の評価の視点の理解を深める(90分)	
5	住環境の改善から街づくり P109-122(四元)	事前：教科書該当箇所を通読し予習する(90分) 事後：住環境の改善から街づくりの理解を深める(90分)	
6	支援プログラムとマネジメント P123-144(青山)	事前：教科書該当箇所を通読し予習する(90分) 事後：ワークノートの整理と授業の振り返り学習(90分)	
7	医療保険施設(病院：身体機能領域等)での作業療法 P155-158、P176-181(青山)	事前：教科書該当箇所を通読し予習する(90分) 事後：ワークノートの整理と授業の振り返り学習(90分)	
8	医療保険施設(病院：精神機能領域等)での作業療法 P155-158、P182-188(青山)	事前：教科書該当箇所を通読し予習する(90分) 事後：ワークノートの整理と授業の振り返り学習(90分)	
9	介護保険施設(老人保健施設、通所リハ等)での作業療法 P159-162、(青山)	事前：教科書該当箇所を通読し予習する(90分) 事後：ワークノートの整理と授業の振り返り学習(90分)	
10	介護保険施設(訪問リハ、特別養護老人施設等)での作業療法 P159-162、(青山)	事前：教科書該当箇所を通読し予習する(90分) 事後：ワークノートの整理と授業の振り返り学習(90分)	
11	介護保険施設(介護予防事業、地域包括支援センター等)での作業療法 P159-162、(青山)	事前：教科書該当箇所を通読し予習する(90分) 事後：ワークノートの整理と授業の振り返り学習(90分)	
12	障害福祉(地域生活移行等)の作業療法 P158-159(青山)	事前：教科書該当箇所を通読し予習する(90分) 事後：ワークノートの整理と授業の振り返り学習(90分)	
13	教育(特別支援学校等) P164-165(青山)	事前：教科書該当箇所を通読し予習する(90分) 事後：ワークノートの整理と授業の振り返り学習(90分)	

14	就労支援(高次脳機能・精神機能領域等)P166-167 (青山)地域において事業所の企業	事前:教科書該当箇所を通読し予習する(90分) 事後:ワークノートの整理と授業の振り返り学習(90分)	
15	リスク管理(感染・急変対応等)P149-154(四元)	事前:教科書該当箇所を通読し予習する(90分) 事後:ワークノートの整理と授業の振り返り学習(90分)	
準備学習・事後学習等についての補足説明			
小テストを実施し成績対象とします。事後の振りかえり学習を行ってください(四元)			
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)			
定期試験	課題レポート・ワークノートの 完成度	小テスト	
60%	20%	20%	
使用テキスト			
書籍名	著者	出版社	
標準作業療法学地域作業療法第4版	小川恵子編集	医学書院	
参考書又は参考資料等			
田中康之・清水順市編集:地域包括ケアにおけるPT・OTの役割,文光堂,東京,2016			
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕			
担当教員の連絡先等			
教員 E-mail	その他		

授業科目名	地域マネジメント演習		
担当者名	吉岡 奈々、佐野 幹剛、平澤 勉	実務家教員	○
授業コード	1220120001	授業形態	演習
学年	3年	開講期	前期
単位数	1単位	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP3-3-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	地域において対象者に関わる際、生活を構成する諸要素が課題となる。このような課題に対し他の職種とともに解決する多職種連携・協働が不可欠である。この多職種連携・協働の概要を理解し、実践に求められる能力について演習を通して学ぶ。また、実践現場での流れや課題について事例検討を通して理解する。これらは実務家教員により行う演習である。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	1.地域における作業療法展開を理解できる。 2.地域作業療法における多職種連携の重要性を理解できる。 3.事例を通して、地域作業療法における多職種連携の実際について考え理解できる。		
授業計画		準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間	
1	オリエンテーション地域における多職種連携の概要 (吉岡)	事前:標準作業療法学地域作業療法第2版 p2～p33を読んでおく。(20分) 事後:地域リハビリテーション、地域作業療法の理解を深める。(25分)	
2	多職種連携と各職種の役割(吉岡)	事前:標準作業療法学地域作業療法第2版 p79～83を読んでおく。(20分) 事後:地域作業療法における多職種連携について理解を深める。(25分)	
3	急性期病院における連携(吉岡)	事前:事前配布資料を読み、概要を把握しておく。(20分) 事後:授業中のディスカッションをもとにレポート作成する。 (25分)	
4	回復期リハ病院における連携(吉岡)	事前:事前配布資料を読み、概要を把握しておく。(20分) 事後:授業中のディスカッションをもとにレポート作成する。 (25分)	
5	介護保険における連携(通所リハにおける連携) (吉岡)	事前:事前配布資料を読み、概要を把握しておく。(20分) 事後:授業中のディスカッションをもとにレポート作成する。 (25分)	
6	介護保険における連携(訪問リハにおける連携) (吉岡)	事前:事前配布資料を読み、概要を把握しておく。(20分) 事後:授業中のディスカッションをもとにレポート作成する。 (25分)	
7	精神科領域の地域移行における連携(平澤)	事前:事前配布資料を読み、概要を把握しておく。(20分) 事後:授業中のディスカッションをもとにレポート作成する。 (25分)	
8	精神科領域の就労における連携(平澤)	事前:事前配布資料を読み、概要を把握しておく。(20分) 事後:授業中のディスカッションをもとにレポート作成する。 (25分)	

9	肢体不自由児の就学支援における連携(佐野)	事前:事前配布資料を読み、概要を把握しておく。(20分) 事後:授業中のディスカッションをもとにレポート作成する。(25分)
10	発達障害児・者の就学支援における連携(佐野)	事前:事前配布資料を読み、概要を把握しておく。(20分) 事後:授業中のディスカッションをもとにレポート作成する。(25分)
11	高次脳機能障害者の生活支援における連携(吉岡)	事前:事前配布資料を読み、概要を把握しておく。(20分) 事後:授業中のディスカッションをもとにレポート作成する。(25分)
12	高次脳機能障害者の就労支援における連携(吉岡)	事前:事前配布資料を読み、概要を把握しておく。(20分) 事後:授業中のディスカッションをもとにレポート作成する。(25分)
13	地域での OT 活動における連携①(吉岡)	事前:事前配布資料を読み、概要を把握しておく。(20分) 事後:授業中のディスカッションをもとにレポート作成する。(25分)
14	地域での OT 活動における連携②(吉岡)	事前:事前配布資料を読み、概要を把握しておく。(20分) 事後:授業中のディスカッションをもとにレポート作成する。(25分)
15	地域における作業療法士の実践事例検討(吉岡)	事前:これまでの事例を読み直しておく。(20分) 事後:各事例における多職種連携の理解を深める。(25分)

準備学習・事後学習等についての補足説明

指定教科書はありません。事前に資料を配布しますので、熟読して授業に備えてください。授業中は資料をもとにディスカッションします。ディスカッションをもとに授業中にレポートを作成します。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)

授業貢献度	レポート完成度		
30%	70%		

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
資料を授業都度事前配布		

参考書又は参考資料等

標準作業療法学地域作業療法第2版

その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕

担当教員の連絡先等

教員 E-mail	その他

授業科目名	職業関連支援		
担当者名	平澤 勉	実務家教員	○
授業コード	1220062001	授業形態	演習
学年	3年	開講期	前期
単位数	1単位	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP2-3-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	作業療法士として就労支援経験のある教員が、職業リハビリテーションの実際を解説し、障害を持ちながら働くことについての理解を深める。職業リハビリテーションに関する制度や支援機関、職業関連評価について説明する。就労支援における作業療法の役割を、実例を通して考察する。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職業リハビリテーションの動向、支援制度について説明することができる。 2. 就労に関する評価について説明することができる。 3. 疾患や障害像に応じた就労支援のポイントを説明することができる。 		
授業計画	準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間		
1	オリエンテーション、障害者の雇用状況 4/17 水	事前:障害者雇用について調べる(20分) 小テストに備えて、学んだことを整理する(25分)	
2	障害者の就労支援に関わる制度・関連諸機関 4/24 水	事前:小テストに備えて、前回の内容を復習する(20分) 事後:小テストに備えて、学んだことを整理する(25分)	
3	就労支援現場による特別講義 5/1 水	事後:特別講義を受けてのレポート作成(45分)	
4	障害者雇用現場の見学実習 5/8 水	事前:見学施設について予習する(20分) 事後:見学を受けてのレポート作成(25分)	
5	特別講義・工場見学を受けての演習 5/15 水	事前:特別講義・工場見学を受けてのレポート作成(20分) 事後:学んだことを書き出す(25分)	
6	「働く」に必要な個人の評価 5/22 水	事前:小テストに備えて、前回の内容を復習する(20分) 事後:小テストに備えて、学んだことを整理する(25分)	
7	各種評価法・検査法(VPI, GATB, ワークサンプル法など) 5/29 水	事前:小テストに備えて、前回の内容を復習する(20分) 事後:小テストに備えて、学んだことを整理する(25分)	
8	環境の評価, マッチング 6/5 水	事前:小テストに備えて、前回の内容を復習する(20分) 事後:小テストに備えて、学んだことを整理する(25分)	
9	就労支援の実際① 身体障害(脳卒中, 脊髄損傷) 6/12 水	事前:身体障害領域の作業療法を復習する(20分) 事後:小テストに備えて、学んだことを整理する(25分)	
10	就労支援の実際② 高次脳機能障害 6/19 水	事前:小テストに備えて、前回の内容を復習する(20分) 事後:小テストに備えて、学んだことを整理する(25分)	
11	就労支援の実際④ リワーク支援 6/26 水	事前:小テストに備えて、前回の内容を復習する(20分) 事後:小テストに備えて、学んだことを整理する(25分)	
12	就労支援の実際⑤ 精神障害 7/3 水	事前:小テストに備えて、前回の内容を復習する(20分) 事後:小テストに備えて、学んだことを整理する(25分)	
13	就労支援の実際⑥ 知的障害 7/10 水	事前:小テストに備えて、前回の内容を復習する(20分) 事後:小テストに備えて、学んだことを整理する(25分)	
14	就労支援の実際⑦ 発達障害 7/17 水	事前:小テストに備えて、前回の内容を復習する(20分) 事後:小テストに備えて、学んだことを整理する(25分)	

15	「働く」について演習 7/24 水	事前:小テストに備えて、前回の内容を復習する(20分) 事後:学んだことを書き出す(25分)	
準備学習・事後学習等についての補足説明			
障害者雇用現場の見学後と特別講義後にレポートを作成します。 レポートは学んだことの記載と、興味をもったことについての調べ学習を含みます。			
成績評価の方法[評価項目と割合]※上段:評価項目、下段:割合(%)			
小テスト	課題		
50%	50%		
使用テキスト			
書籍名	著者	出版社	
使用しない(都度資料を配布)			
参考書又は参考資料等			
適宜資料を配布する			
その他[受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて]			
担当教員の連絡先等			
教員 E-mail	その他		

授業科目名	臨床実習 I		
担当者名	佐野 幹剛、平澤 勉、四元 孝道、 村田 奈保子、青山 克実、深町 晃次、 吉岡 奈々、久保 拓哉	実務家教員	○
授業コード	1220121001	授業形態	実習
学年	2年	開講期	後期
単位数	2単位	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP1^2-2B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	病院・施設での作業療法士の評価・治療・指導を行っている臨床場面を見学し、対象者の障害像と作業療法士の役割について理解を深める。また臨床場面の見学・体験した内容をデイリーノートに専門用語を用いて記録する。さらに疾患に関する調べ学習等のレポートなどをまとめる。実習においては対象者及び施設職員に対し、社会人として適切な言動や、主体的・積極的・計画的に学修することを心がける。授業形態は実習である。作業療法を十分に経験した実務家教員指導の下に学ぶ。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習指導者・対象者に対し社会人・医療人としての言動ができる。 2. 見学や経験した内容について専門用語を用いて記録することができる。 3. 作業療法評価や治療場面を見学し、作業療法の目的や疾患に伴う障害像を推察できる。 4. 実習場面から疑問点や自己の考えを指導者や教員に積極的に表出できる。 5. 実習での記録物・自己学習資料を実習ごとにファイリングし、確実に整理・管理できる。 		
授業計画			
<p>学内で実習前の準備・演習と施設実習後の体験内容を振り返り全員で経験を共有する。</p> <p>医療施設・福祉施設で治療場面の見学と評価を経験する1日実習を行う。</p> <p>身体障害領域・精神科領域・高齢期障害領域の3領域において、3回を1クールとして実習を行い、合計で9回病院や施設での実習を経験する。</p> <p>【実習内容】</p> <p>施設実習前:学内でのオリエンテーションと実習の準備(医療安全管理や個人情報の取り扱い等)、評価実技演習</p> <p>10月初旬～12月上旬:施設実習を、1施設3回で1クール×3クール(実習時間は1日:1回/週) 合計9回</p> <p>施設実習後:学内実習として施設実習の振り返りとグループ発表</p> <p>【教員からの指導内容】</p> <p>実習での見学実習記録や調べ学習のチェックや添削を行い、修正すべき点などフィードバックを記載する。</p> <p>修正指示がある場合は速やかに修正し再提出を行い事後学習として活用する。</p>			
準備学習・事後学習等についての補足説明			
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)			
ポートフォリオ	見学実習記録	実習指導報告書	
40	30	30	
使用テキスト			
書籍名	著者	出版社	
授業中に資料を配布する。			
参考書又は参考資料等			
能登 真一, 山口昇, 玉垣努・編:作業療法評価学 第3版(標準作業療法学 専門分野), 医学書院, 2017.			

その他[受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて]	
担当教員の連絡先等	
教員 E-mail	その他

授業科目名	臨床実習Ⅱ		
担当者名	平澤 勉、四元 孝道、佐野 幹剛、 村田 奈保子、深町 晃次、吉岡 奈々、 青山 克実、久保 拓哉	実務家教員	○
授業コード	1220122001	授業形態	実習
学年	3年	開講期	後期
単位数	4単位	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP1^4-3-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	作業療法を十分に経験した実務家教員指導の下、施設実習を通して、臨床実習指導者のチームに参加し、その指導・監督の下、作業療法に必要な基本的評価技術を繰り返し経験する。さらに指導者の臨床思考過程をもとに、評価結果から対象者の問題点や目標設定、治療計画を考え説明できるようになることを目的とする。授業形態は実習である。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	1.医療人として望ましい態度や行動をとることができる。 2.対象者の作業療法評価を計画・実施し、評価結果から全体像をまとめ、将来像を予想することができる。 3.対象者の作業療法計画を立案できる。 4.個人情報の保護に配慮した記録・報告ができる。		
授業計画			
後期(10～11月)に医療施設・福祉施設の1施設で23日間の評価実習を行う。 <実習内容> 医療人としての望ましい態度や行動を身につけ、個人情報の保護に配慮した記録・報告を行い、作業療法評価を計画・実施する。評価結果から全体像をまとめ、将来像を予想し、作業療法計画を立案するといったプロセスを実習する。なお施設実習前には各担当のもとOSCE(Objective Structured Clinical Examination)を合格まで実施し、実習後にも再度OSCEを実施する。施設実習前後の基礎知識学習としてCBT(Computer Based Testing)を実施する。 <実習後セミナー> 全体ディスカッション、実習分野別グループディスカッション、実習報告書の作成、実習報告会後のフィードバック(場合によっては客観的な臨床演習の実施を含む)を実施する。			
準備学習・事後学習等についての補足説明			
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)			
臨床実習指導報告書	実習前後評価(OSCE等)	実習報告会	提出物
50%	20%	20%	10%
使用テキスト			
書籍名	著者	出版社	
臨床実習録	九州栄養福祉大学・編		
参考書又は参考資料等			
事例研究報告書作成指針(ICFモデル)学内授業中に、適宜紹介する			
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕			

担当教員の連絡先等	
教員 E-mail	その他

授業科目名	臨床実習Ⅲ		
担当者名	平澤 勉、四元 孝道、佐野 幹剛、 村田 奈保子、深町 晃次、吉岡 奈々、 青山 克実、久保 拓哉	実務家教員	○
授業コード	1220123001	授業形態	実習
学年	3年	開講期	後期
単位数	8単位	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP1^4-3-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	作業療法を十分に経験した実務家教員指導の下、施設実習を通して、臨床実習指導者のチームに参加し、偏りなく各疾患、各病期、各年齢層の対象者について身体的、心理的、社会状況を十分把握する。また、臨床実習指導者の指導・監督の下、作業療法の臨床推論を学び、見学・模倣・実施を繰り返すことによって臨床経験を多く積むことを目的とする。授業形態は実習である。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療人として望ましい態度や行動をとることができる。 2. 対象者の全体像を把握できる。 3. 対象者の作業療法計画を立案できる。 4. 対象者へ治療・指導・援助を実施することができる。 5. 作業療法の成果を確認し、必要に応じて作業療法計画を見直すことができる。 6. 記録・報告をすることができる。 7. 管理・運営について理解することができる。 		
授業計画			
<p>後期(1～3月)に医療施設・福祉施設で45日間の評価及び作業療法実施の実習を行う。</p> <p><実習内容>医療人としての望ましい態度や行動を身につけ、対象者の全体像を把握し、作業療法計画の立案、実施・指導・援助を体験する。また、作業療法の成果を確認し作業療法計画を見直し、記録・報告及び管理・運営が理解できるまでのプロセスを実習する。なお施設実習前には各担当のもとOSCE(Objective Structured Clinical Examination)を合格まで実施し、実習後にも再度OSCEを実施する。施設実習前後の基礎知識学習としてCBT(Computer Based Testing)を実施する。</p> <p><実習後セミナー>実習後セミナーでは、全体ディスカッション、実習分野別グループディスカッション、実習報告書の作成、実習報告会後のフィードバック(場合によっては客観的な臨床演習の実施を含む)を実施する。</p>			
準備学習・事後学習等についての補足説明			
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)			
臨床実習指導報告書	実習前後評価(OSCE等)	実習報告会	提出物
50%	20%	20%	10%
使用テキスト			
書籍名	著者	出版社	
臨床実習録	九州栄養福祉大学・編		
参考書又は参考資料等			
事例研究報告書作成指針(ICFモデル)学内授業中に、適宜紹介する			
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕			

担当教員の連絡先等	
教員 E-mail	その他

授業科目名	臨床実習Ⅳ		
担当者名	吉岡 奈々、平澤 勉、四元 孝道、 佐野 幹剛、村田 奈保子、青山 克実、 深町 晃次、久保 拓哉	実務家教員	○
授業コード	1220124001	授業形態	実習
学年	4年	開講期	前期
単位数	8単位	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DPI~4-4A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	作業療法を十分に経験した実務家教員指導の下、施設実習を通して、臨床実習指導者のチームに参加し、偏りなく各疾患、各病期、各年齢層の対象者について身体的、心理的、社会状況を十分把握する。また、臨床実習指導者の指導・監督の下、作業療法の臨床推論を学び、見学・模倣・実施を繰り返すことによって臨床経験を多く積むことを目的とする。授業形態は実習である。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療人として望ましい態度や行動をとることができる。 2. 対象者の全体像を把握できる。 3. 対象者の作業療法計画を立案できる。 4. 対象者へ治療・指導・援助を実施することができる。 5. 作業療法の成果を確認し、必要に応じて作業療法計画を見直すことができる。 6. 記録・報告をすることができる。 7. 管理・運営について理解することができる。 		
授業計画			
<p>後期(5～7月)に医療施設・福祉施設で40日間の評価及び作業療法実施の実習を行う。</p> <p><実習内容>医療人としての望ましい態度や行動を身につけ、対象者の全体像を把握し、作業療法計画の立案、実施・指導・援助を体験する。また、作業療法の成果を確認し作業療法計画を見直し、記録・報告及び管理・運営が理解できるまでのプロセスを実習する。なお施設実習前には各担当のもとOSCE(Objective Structured Clinical Examination)を合格まで実施し、実習後にも再度OSCEを実施する。施設実習前後の基礎知識学習としてCBT(Computer Based Testing)を実施する。</p> <p><実習後セミナー>実習後セミナーでは、全体ディスカッション、実習分野別グループディスカッション、実習報告書の作成、実習報告会後のフィードバック(場合によっては客観的な臨床演習の実施を含む)を実施する。</p>			
準備学習・事後学習等についての補足説明			
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)			
臨床実習指導報告書	実習前後評価(OSCE等)	実習報告会	提出物
50%	20%	20%	10%
使用テキスト			
書籍名	著者	出版社	
臨床実習録	九州栄養福祉大学・編		
参考書又は参考資料等			
学内授業中に、適宜紹介する			
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕			

担当教員の連絡先等	
教員 E-mail	その他

授業科目名	臨床実習Ⅴ		
担当者名	吉岡 奈々、平澤 勉、四元 孝道、 佐野 幹剛、村田 奈保子、青山 克実、 深町 晃次、久保 拓哉	実務家教員	○
授業コード	1220125001	授業形態	実習
学年	4年	開講期	前期
単位数	1単位	履修	卒業・作業療法士必修
ナンバリング	DP1~4-4-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	地域作業療法を十分に経験した実務家教員指導の下、施設実習を通して、臨床実習指導者のチームに参加し見学する。本実習は、通所リハビリテーション・訪問リハビリテーションにおける作業療法に参加し、作業療法目標設定・プログラムの立案・実施のプロセス等を通して、地域における作業療法について学習する。実習後は実習で得た経験を実習報告会にて発表し、地域における作業療法の理解を深める。授業形態は実習である。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療人として望ましい態度や行動をとることができる。 2. 地域包括ケアシステムの概要について説明できる。 3. 地域作業療法における作業療法の役割を説明できる。 4. 記録・報告をすることができる。 		
授業計画			
後期(7～8月)に通所リハビリテーション事業所、訪問リハビリテーション事業所、精神科デイケアいずれか1施設で5日間の見学実習を行う。 <実習内容> 地域包括ケアシステムにおける、通所施設および訪問における地域作業療法の実際を見学する。 <実習後セミナー> 実習後セミナーでは、全体ディスカッション、グループディスカッション、実習報告書の作成、実習報告会後のフィードバックを実施する。			
準備学習・事後学習等についての補足説明			
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)			
臨床実習指導報告書	ポートフォリオ	実習報告会	
20%	50%	30%	
使用テキスト			
書籍名	著者	出版社	
臨床実習録	九州栄養福祉大学・編		
参考書又は参考資料等			
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕			
担当教員の連絡先等			
教員 E-mail	その他		

授業科目名	園芸概論		
担当者名	小浦 誠吾	実務家教員	
授業コード	1230001001	授業形態	講義
学年	1年	開講期	前期
単位数	2単位	履修	選択・園芸療法士必修
ナンバリング	DP1-1-A		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	あたりまえと思われがちな「人間と植物の関係」が、実際には医療などの人間を対象とする職業人にとっても大切なものであることを、本講義によって再認識し自然の摂理を理解する。具体的には、植物の生命性、継続性および自然性を意識して園芸活動に取り組むことが、日常生活をより豊かなものにできることを理解する。「園芸療法の基礎」や「園芸療法実習」の講義につながる学際的な園芸学の基礎的知識を身につけ、社会に有為な人材になるための基礎力の修得を目指す。医療者にとっても大切となるコミュニケーション力の向上も目指すことを本科目の方針としており、アクティブラーニングとしてのグループディスカッションや意見の異なる2グループのディベートの時間を頻りに設けることとし、医療人の中での園芸の可能性に関する考察を深める。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	単に園芸植物の栽培技術を習得することではなく、園芸活動や園芸活動が有する文化的・社会的・人類学的などの学際性豊かな特徴に関しても学修する。また、本講義で習得した考え方や指針を社会人基礎力につなげることを到達目標とする。さらに、園芸学を活用した医療の可能性についてのPDCAサイクルを確認することで、多様な患者の症状や人間性に対抗できるスキルを習得する。		
授業計画		準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間	
1	人間と植物・自然との関わり: 節季行事、七草、人間と植物の関りの基礎	テキストの予習(90分) 身近な自然の日々の変化に着目し、僅かな変化を五感で感じておき、その感覚を講義に役立てる準備をしておく(90分)	
2	人間と植物・自然との関わり: 精神科医療、療法と園芸の関係性アクティブラーニングとしてのグループディスカッションを実施する	テキストの予習と今回の講義資料の確認(90分) 身近な自然の日々の変化に着目し、僅かな変化を五感で感じておき、その感覚を講義に役立てる準備をしておく(90分)	
3	園芸とは何か: 農学から見た園芸学と医療者から見た園芸の相違点	アクティブラーニングの内容を再確認しておく(90分) 身近な自然の日々の変化に着目し、僅かな変化を五感で感じておき、その感覚を講義に役立てる準備をしておく(90分)	
4	園芸と人間の関係: 作業療法・理学療法につながる園芸を探求	テキストの予習と今回の講義資料の確認(90分) 身近な自然の日々の変化に着目し、僅かな変化を五感で感じておき、その感覚を講義に役立てる準備をしておく(90分)	
5	園芸用語の起源: Gardening(ガーデニング)とHorticulture(ホーティカルチャ)の違いアクティブラーニングとしてのグループディスカッションを実施する	テキストの予習と今回の講義資料の確認(90分) 身近な自然の日々の変化に着目し、僅かな変化を五感で感じておき、その感覚を講義に役立てる準備をしておく(90分)	
6	花栽培の原点: 花の庭栽培のきっかけと現代のSDGsの考えとの比較検討	アクティブラーニングの内容を再確認しておく(90分) 身近な自然の日々の変化に着目し、僅かな変化を五感で感じておき、その感覚を講義に役立てる準備をしておく(90分)	
7	花の心理的効果: 花の心理的機能の利用の歴史と人間の進化の関係	テキストの予習と今回の講義資料の確認(90分) 身近な自然の日々の変化に着目し、僅かな変化を五感で感じておき、その感覚を講義に役立てる準備をしておく(90分)	

8	蔬菜園芸学1: 蔬菜園芸と生活	テキストの予習と今回の講義資料の確認(90分) 身近な自然の日々の変化に着目し、僅かな変化を五感で感じておき、その感覚を講義に役立てる準備をしておく(90分)
9	蔬菜園芸学2: 蔬菜園芸と園芸療法の関係	テキストの予習と今回の講義資料の確認(90分) 身近な自然の日々の変化に着目し、僅かな変化を五感で感じておき、その感覚を講義に役立てる準備をしておく(90分)
10	果樹園芸学1: 果樹園芸と生活	テキストの予習と今回の講義資料の確認(90分) 身近な自然の日々の変化に着目し、僅かな変化を五感で感じておき、その感覚を講義に役立てる準備をしておく(90分)
11	果樹園芸学2: 果樹園芸と園芸療法の関係	テキストの予習と今回の講義資料の確認(90分) 身近な自然の日々の変化に着目し、僅かな変化を五感で感じておき、その感覚を講義に役立てる準備をしておく(90分)
12	社会園芸学1: 社会園芸学の誕生と発展	テキストの予習と今回の講義資料の確認(90分) 身近な自然の日々の変化に着目し、僅かな変化を五感で感じておき、その感覚を講義に役立てる準備をしておく(90分)
13	社会園芸学2: 暮らしの中の園芸と植物	テキストの予習と今回の講義資料の確認(90分) 身近な自然の日々の変化に着目し、僅かな変化を五感で感じておき、その感覚を講義に役立てる準備をしておく(90分)
14	国内のガーデン: 国内のガーデンコンテストとガーデン ホスピタルガーデンの必要性についてのディベートを 実施する	テキストの予習と今回の講義資料の確認(90分) 身近な自然の日々の変化に着目し、僅かな変化を五感で感じておき、その感覚を講義に役立てる準備をしておく(90分)
15	世界のガーデン: 世界最古のガーデンフラワーショウの 価値	ディベート内容を再吟味しておく(90分) 身近な自然の日々の変化に着目し、僅かな変化を五感で感じておき、その感覚を講義に役立てる準備をしておく(90分)

準備学習・事後学習等についての補足説明

- ・大学内の自然環境・植物と人間の関係性について考察しておくこと
- ・通学時の自然の変化に気を配る工夫をしてください
- ・配布の資料・参考文献を熟読しておく・総合試験に向けてのまとめ

成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段: 評価項目、下段: 割合(%)

授業態度	試験		
30%	70%		

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
資料配布		

参考書又は参考資料等

(参考文献) 植物分類学、ISBN978-4-13-062221-9、伊藤元己 園芸リハビリテーション 山根 博

その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕

担当教員の連絡先等

教員 E-mail	その他
非公開とする。	

授業科目名	園芸療法の基礎		
担当者名	深町 晃次、廣滋 恵一、佐野 幹剛	実務家教員	
授業コード	1230002001	授業形態	講義
学年	1年	開講期	後期
単位数	2単位	履修	選択・園芸療法士必修
ナンバリング	DP1-1-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	園芸療法には様々な解釈があるが、本講義では園芸の捉え方を広義に捉え、広義の園芸を多面的に有効活用した医療・保健・福祉分野における園芸療法の可能性や本質を修得する。農学の一部としての園芸学の視点に捉われず、治療の目的や療法の評価を実施するための基礎知識を修得する必要がある。園芸療法を実践に向けて、自らプログラム立案し、その園芸療法実践計画の準備ができるための技法の理解を深める。授業形態は講義である。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	リハビリテーション分野での園芸療法の実践場面の解説や多面的な視点を学ぶことで、なぜ理学療法、作業療法などのリハビリテーションの中で園芸技法が活用されているかを理解し、園芸療法の役割を理解する。		
授業計画	準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間		
1	【園芸療法の基礎】:園芸療法の歴史と時代背景の修得(深町)	シラバスの精読と園芸療法の起源について調べる(90分) 講義に役立つ医療基礎を復習しておく(90分)	
2	【園芸療法の基礎】:園芸福祉と園芸療法の理解(深町)	園芸福祉について調べる(90分) 資料の見直しと園芸福祉のまとめる(90分)	
3	【身体障害分野の園芸療法】:内部疾患の園芸療法の実際(佐野)	資料に示した内部疾患について調べる(90分) 資料の見直しと園芸療法の効果についてまとめる(90分)	
4	【身体障害分野の園芸療法】:高次脳機能障害の園芸療法(佐野)	高次脳機能について調べる(90分) 資料の見直しと園芸療法の効果についてまとめる(90分)	
5	【精神障害分野の園芸療法】:依存症における園芸療法の実際(深町)	依存症について調べる(90分) 資料の見直しと園芸療法の効果についてまとめる(90分)	
6	【精神障害分野の園芸療法】:抑うつ、老人性うつ症状の具体的事例(深町)	うつ病について調べる(90分) 資料の見直しと園芸療法の効果についてまとめる(90分)	
7	【発達障害分野の園芸療法】:知的障害における園芸療法(佐野)	知的障害について調べる(90分) 資料の見直しと園芸療法の効果についてまとめる(90分)	
8	【高齢者の園芸療法】:地域在住高齢者の園芸療法の実際(佐野)	高齢者の園芸療法について調べる(90分) 資料の見直しと園芸療法の効果についてまとめる(90分)	
9	【認知症の園芸療法】:国内の認知症に対する園芸療法(佐野)	認知症について調べる(90分) 資料の見直しと園芸療法の効果についてまとめる(90分)	
10	【認知症の園芸療法】:世界の認知症に対する園芸療法(佐野)	国内認知症に対する園芸療法の現状を見直す(90分) 国内外の認知症に対する園芸療法の違いをまとめる(90分)	
11	【老年期障害の園芸療法】:老年期障害の現状と園芸療法(深町)	老年期障害について調べる(90分) 資料の見直しと園芸療法の効果についてまとめる(90分)	
12	【ストレスマネジメントと園芸療法】:ストレスマネジメントとしての園芸療法の実際(深町)	ストレスマネジメントについて調べる(90分) 資料の見直しと園芸療法の効果についてまとめる(90分)	
13	【園芸活動の紹介】:佐野 調べたことをグループディスカッションと発表	身近な園芸活動について調べる(90分) 資料の見直しと園芸活動の実際についてまとめる(90分)	

14	【園芸活動の紹介】:深町 調べたことをグループディスカッションと発表	住み慣れた街の中の園芸活動について調べる(90分) 資料の見直しと園芸活動の実際についてまとめる(90分)	
15	【園芸活動の紹介】:廣滋 調べたことをグループディスカッションと発表	大学周辺の園芸活動について調べる(90分) 資料の見直しと園芸活動の実際についてまとめる(90分)	
準備学習・事後学習等についての補足説明			
<ul style="list-style-type: none"> ・園芸概論の内容を再確認しておくこと ・配布の資料・参考文献を熟読しておく 			
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)			
ワークノートの完成度	課題の完成度	授業の貢献度	講義内容の理解度
20%	20%	30%	30%
使用テキスト			
書籍名	著者	出版社	
配布資料			
参考書又は参考資料等			
園芸リハビリテーション 山根 博 作業って何だろう「作業科学入門」 吉川ひろみ Horticulture as therapy Mitchell Hewson			
その他〔受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて〕			
<ul style="list-style-type: none"> ・理解できないことはその都度質問すること。 ・日本と世界の園芸療法の違いについて課題レポートを提出すること(佐野) ・認知症に対する園芸療法の実施計画について課題レポートを提出すること(佐野) ・講義内容の理解度は、小テストの結果を参考にする(深町) ・グループディスカッションと発表では各自が調べたことについて意見交換し、まとめについて発表する(佐野・廣滋・深町) 			
担当教員の連絡先等			
教員 E-mail	その他		

授業科目名	園芸療法実習		
担当者名	深町 晃次、佐野 幹剛、廣滋 恵一	実務家教員	
授業コード	1230003001	授業形態	実習
学年	2年	開講期	通年
単位数	2単位	履修	選択・園芸療法資格課程必修
ナンバリング	DP1-2-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	<p>医療や福祉の領域で支援を求める人たちへ、園芸活動を手段とした支援をするために、以下の内容の実習を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.園芸療法の実践環境の理解 2.園芸療法プログラムの体験 3.園芸療法プログラムの企画・実践 4.園芸療法プログラムの効果測定 <p>授業形態は実習である。</p>		
授業の到達目標 〔学習成果〕	リハビリテーション分野での園芸療法の実践方法を学び、支援を求める人に対して応用的活用を企画・実施することができるようになる。		
授業計画	準備学習(予習・復習 等)の具体的な内容及び必要時間		
1	コースガイダンス夏野菜用の畑づくり(佐野)		
2	屋外ガーデンの整備・水遣り当番決め(深町)		
3	夏野菜の苗植え支柱立て・ネット張り(佐野)		
4	ガーデニング見学(佐野・廣滋・深町) (北九州市立総合農事センター)		
5	ガーデニング見学(佐野・廣滋・深町) (北九州市立総合農事センター)		
6	住宅ガーデンのデザイン(深町)		
7	身体障がい分野の園芸療法計画(廣滋)		
8	身体障がい分野の園芸療法実施(廣滋)		
9	グループでのコンテナデザイン(深町)		
10	グループでのコンテナづくり(深町)		
11	車椅子利用者のための園芸実習①(廣滋)		
12	車椅子利用者のための園芸実習②(廣滋)		
13	本館前ガーデンの整備(深町)		
14	記念館前ガーデンの整備(廣滋)		
15	キッチンガーデンの整備(深町)		
16	本館玄関～階段ガーデン他の整備(佐野)		
17	ハーバリウムづくり①(深町)		
18	ハーバリウムづくり②(深町)		
19	日本人ガーデナーの映像学習(深町)		
20	夏野菜の収穫(佐野)		
21	籐細工を用いた園芸実習①(深町)		
22	籐細工を用いた園芸実習②(深町)		

23	籐細工を用いた園芸実習③(深町)	
24	籐細工を用いた園芸実習④(深町)	
25	籐細工を用いたフラワーアレンジメント(深町)	
26	民間病院における園芸療法の見学① (佐野・廣滋・深町)	
27	民間病院における園芸療法の見学② (佐野・廣滋・深町)	
28	園芸を用いたストレスコントロールについて(深町)	
29	藍染め体験(深町)	
30	園芸療法を用いたボランティア活動の案内と準備 (深町)(発達障がい分野)	
31	陶芸を用いた園芸療法実習素焼きの植木鉢づくりの (深町)	
32	司法領域における園芸療法の実際①(深町)	
33	司法領域における園芸療法の実際②(深町)	
34	英国ガーデンの映像学習(廣滋)	
35	園芸施設の見学①(佐野・廣滋・深町)	
36	園芸施設の見学②(佐野・廣滋・深町)	
37	陶芸を用いた園芸療法実習素焼きの鉢への苗植え (深町)	
38	発達障がい分野を題材にしたセラピストの関わり方に 関する映像学習(佐野)	
39	グループでの温室園芸①(佐野)	
40	グループでの温室園芸②(佐野)	
41	発達障がい分野の園芸療法計画(佐野)	
42	発達障がい分野の園芸療法実施(佐野)	
43	精神・老年期障がい分野の園芸療法計画(深町)	
44	精神・老年期障がい分野の園芸療法実施(深町)	
45	園芸療法実習の総括(深町)	

準備学習・事後学習等についての補足説明

各ガーデンやコンテナおよびプランター、畑の管理をグループで行う。毎回シラバスに沿って事前の自己学習を行い、事後は実習内容をまとめる。

成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)

授業への取組み	グループ企画・実施内容		
20%	80%		

使用テキスト

書籍名	著者	出版社
資料配布		

参考書又は参考資料等

山根 寛 他:園芸リハビリテーション 園芸療法の基礎と事例.医歯薬出版,2003

吉川ひろみ:「作業」って何だろう 第2版 作業科学入門.医歯薬出版,2017

その他[受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて]

実習が中心となるため、動きやすく汚れても良い服装とシューズで出席してください。

また、気温や湿度が高い日には、水筒やタオルを持参してください。

シラバス 4・5回は4/27(土)1・2時限目に予定、26・27回は前期の土曜日(午前中)、35・26回は後期の土曜日(午前中)に予定している。

担当教員の連絡先等

教員 E-mail

その他

--	--

授業科目名	ガーデニング		
担当者名	深町 晃次	実務家教員	○
授業コード	1230004001	授業形態	演習
学年	1年	開講期	後期
単位数	1単位	履修	選択・園芸療法士必修
ナンバリング	DP1-1-B		
授業の概要と方法 〔実務家教員についての特記事項含む〕	ガーデニングに必要な知識・技術を習得すると共に、考え方・視点を習得するために、2年次後期に開講される園芸療法実習と連続する形で実施する。また、実際にガーデニングにかかわることで、園芸療法を実践する楽しさを理解する。演習の際は、教員が臨床経験を踏まえた情報提供を行ないながら、グループ討議や発表を適宜取り入れる。		
授業の到達目標 〔学習成果〕	医療・福祉施設には、ガーデニング空間があることが多い。この空間は、患者のストレス軽減の効果にとどまらず、お見舞いのご家族や勤務している職員にも癒しの効果を与えていることが考えられる。そこで、対人援助職として人間と植物の関係について演習を通して理解する。		
授業計画	準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及び必要時間		
1	ガーデニングに対する考え方や役割を修得する学内・学外(近隣)の園芸資源の散策	事前:シラバスの通読	
2	屋外ガーデン実習	事前:配布資料の予習 事後:ガーデンづくりの振り返り	
3	ガーデニング見学(北九州市立総合農事センター)	事前:配布資料の予習 事後:ガーデニング見学の振り返り	
4	ガーデンのデザイン①<映像学習>	事後:映像学習の振り返り	
5	ガーデンのデザイン②<映像学習>	事後:映像学習の振り返り	
6	ガーデンのデザイン<屋外ガーデンの見学とデザイン>	事前:ガーデンデザインの予習 事後:ガーデンデザインの振り返り	
7	身体障がい分野におけるガーデニングの実践 1	事前:車いす利用者の園芸について予習 事後:水遣り当番などの実施	
8	身体障がい分野におけるガーデニングの実践 2	事前:配布資料の確認 事後:フラワーアレンジメントの振り返り	
9	精神障がい分野におけるガーデニングの実践 1	事前:季節感のある園芸材料探し 事後:クリスマス・リースデザイン	
10	精神障がい分野におけるガーデニングの実践 2	事前:採集した自然素材の管理 事後:作品づくりを題材にコミュニケーションをとる	
11	老年期障がい分野におけるガーデニングの実践 1	事前:採集した自然素材の管理 事後:作品づくりを題材にコミュニケーションをとる	
12	老年期障がい分野におけるガーデニングの実践 2	事後:映像学習の振り返り	
13	発達障がい分野におけるガーデニングの実践 1	事後:映像学習の振り返り	
14	発達障がい分野におけるガーデニングの実践 2	事後:ガーデン整備の振り返り	
15	健康増進分野におけるガーデニングの実践	事後:実習全体の振り返り	
準備学習・事後学習等についての補足説明			
①事前・事後の学習は合計で45分とする。			
成績評価の方法〔評価項目と割合〕※上段:評価項目、下段:割合(%)			
授業への取り組み	課題		
50%	50%		

使用テキスト		
書籍名	著者	出版社
資料配布		
参考書又は参考資料等		
山根 寛 他:園芸リハビリテーション 園芸療法の基礎と事例.医歯薬出版,2003		
吉川ひろみ:「作業」って何だろう 第2版 作業科学入門.医歯薬出版,2017		
その他[受講時の注意点、課題(レポート等)に対するフィードバックについて]		
実習が中心となるため、動きやすく汚れても良い服装とシューズで出席してください。 また、気温や湿度が高い日には、水筒やタオルを持参してください。		
担当教員の連絡先等		
教員 E-mail	その他	